

SR-20HD

Ver.2.1 以降

リファレンス・マニュアル



- SDXC ロゴ  は SD-3C, LLC の商標です。
- 本製品はオープン・ソース・ソフトウェアを使用しています。使用しているソフトウェアのソース・コードやライセンス文書などについては、以下（英文）をご参照ください。
<https://proav.roland.com/global/support/>
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

SR-20HD のシステム・プログラムを最新の状態にしてお使いください。システム・プログラムのバージョンアップ情報は、ローランドのホームページ（<https://proav.roland.com/jp/>）をご覧ください。
システム・プログラムのバージョンは、[MENU] ボタン → [System] → [Version] で確認できます。

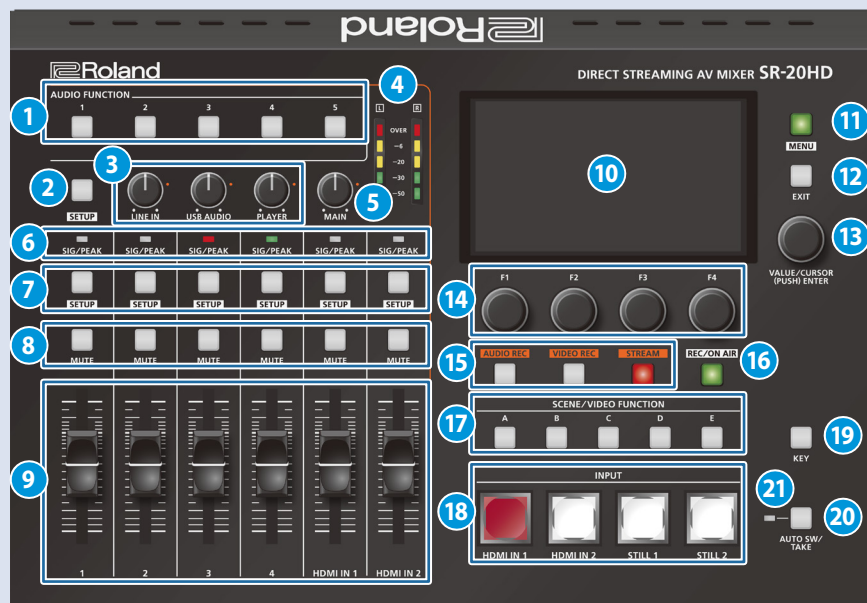
目次

各部の名称とはたらき.....	4
トップ・パネル.....	4
フロント・パネル.....	5
リア・パネル.....	6
基本操作.....	7
電源を入れる／切る.....	7
SD カードについて.....	7
SD カードを挿す.....	7
SD カードをフォーマットする.....	7
SD カードを抜く.....	7
基本画面.....	8
パラ미터・エリアの操作.....	8
メニューを操作する.....	9
日付と時刻を設定する.....	9
映像の入出力設定.....	10
対応映像フォーマット一覧.....	10
入力フォーマット (EDID) を設定する.....	10
出力映像を調整する.....	11
入力映像を調整する.....	11
映像の操作.....	12
ボタン操作で映像を切り替える.....	12
自動的に映像を切り替える (オート・スイッチング).....	12
オート・スイッチングをオン／オフする.....	12
動作モードを設定する.....	13
2 つの映像を組み合わせて表示する (シーン).....	14
シーンを登録する.....	14
シーンを呼び出す.....	16
シーンをコピーする.....	16
キーで映像を合成する.....	17
ロゴや画像を合成する (ルミナンス・キー).....	17
被写体と背景を合成する (クロマ・キー).....	18
静止画／動画を使う.....	19
静止画をインポートして使う.....	19
動画をインポートして使う.....	20
静止画をキャプチャーする.....	22
静止画／動画を削除する.....	22
SRT 映像を使う.....	23
必要なネットワーク環境.....	23
SRT 対応機器を接続して SRT 映像を入力する.....	23
VIDEO FUNCTION ボタンを使う.....	25
VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる.....	25
Video Function をコピーする.....	25
メイン出力映像をフェード・イン／アウトさせる.....	26
選んだ映像をすぐに最終出力する (PGM ダイレクト).....	26
音声の操作.....	27
マイクの入力ゲイン (感度) を調節する.....	27
音量バランスを調整する.....	27
入出力チャンネルのパラ미터を設定する.....	28
入力音声にエフェクトをかける.....	30
ロード・プリセットを使う.....	31
出力音声にエフェクトをかける.....	31
映像と音声のズレを補正する (ディレイ).....	32
特定の音声だけを消音する (ミュート).....	32
出力端子に音声バスを割り当てる.....	33
映像の切り替えに音声の出力を連動させる (オーディオ・フォロー).....	34
音量を自動的に制御する (オート・ミキシング).....	34
音量配分の優先度を設定する.....	34
オーディオ・ファイルを使う.....	35
オーディオ・ファイルをインポートする.....	35
オーディオ・ファイルを再生する.....	35
オーディオ・ファイルを削除する.....	36

AUDIO FUNCTION ボタンを使う.....	37
AUDIO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる.....	37
Audio Function をコピーする.....	37
ライブ配信／録音／録画.....	38
ライブ配信をする前に.....	38
必要なネットワーク環境.....	38
配信／録画モードの設定.....	38
ライブ配信時の注意.....	39
配信・録音・録画のスタート／ストップ.....	39
配信・録音・録画のオン／オフ.....	39
YouTube Live で配信する.....	40
Facebook Live で配信する.....	41
Twitch で配信する.....	42
カスタム設定で配信する.....	43
SRT で配信する.....	44
必要なネットワーク環境.....	44
SRT 対応機器を接続して SRT 映像を出力する.....	44
テザリング.....	46
配信中の偶発的なトラブルを回避する (セーフティー・ディレイ).....	47
配信ディレイ・タイムを設定する.....	47
VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる.....	47
その他の機能.....	48
SD カードに本体の設定を保存する.....	48
保存する.....	48
呼び出す.....	49
削除する.....	49
パネル操作を禁止する (パネル・ロック).....	50
工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット).....	50
メニュー一覧.....	51
Video Input.....	51
Video Output.....	54
Scene/Video Function.....	55
Transition.....	58
Key.....	58
Auto Switching.....	59
Import.....	60
Audio Input.....	61
Audio Output.....	65
Audio Follows Video.....	66
Auto Mixing.....	66
Audio Function.....	67
Network.....	68
Stream.....	69
Record.....	70
SD Card/USB Memory.....	70
System.....	71
資料.....	73
故障かな?と思ったら.....	73
主な仕様.....	74
外形寸法図.....	76
ビデオ・ブロック・ダイアグラム.....	77
オーディオ・ブロック・ダイアグラム.....	78

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 AUDIO FUNCTION

[1] ~ [5] ボタン

オーディオ関連の機能のオン/オフや機能の実行をします。各ボタンに別の機能を割り当てることもできます。

2 [SETUP] ボタン

7 [SETUP] ボタンで選んだ以外のオーディオ入出力のパラメーターをディスプレイ下部に表示します。

ボタンを押すたびに、表示対象のチャンネルが切り替わります。

LINE IN → USB AUDIO → PLAYER/SRT In →
HEADSET Mic → MAIN → Monitor → LINE IN → ...

3 [LINE IN] つまみ

LINE IN 端子からの入力音量を調節します。

[USB AUDIO] つまみ

USB VIDEO IN 端子に接続した機器から入力される USB オーディオの音量を調節します。

[PLAYER] つまみ

SD カードにあるオーディオ・ファイル (WAV) や動画ファイル (MP4) の再生音量を調節します。

4 レベル・メーター

メイン出力の音量を表示します。

5 [MAIN] つまみ

メイン出力の音量を調節します。

6 SIG/PEAK インジケーター

音声の入力を感じると点灯します。

消灯	-51dB 以下
緑点灯	-50 ~ -21dB
黄点灯	-20 ~ -1dB
赤点灯	0dB 以上 (音量過大)

7 [SETUP] ボタン

ボタンを押して選んだ入力チャンネルのパラメーターを、ディスプレイ下部に表示します。

8 [MUTE] ボタン

ボタンを押して選んだ入力チャンネルの音声を、ミュート (消音) します。

9 [1] ~ [4] フェーダー

AUDIO IN 1 ~ 4 端子からの入力音量を調節します。

[HDMI IN 1] [HDMI IN 2] フェーダー

HDMI IN 1、2 端子からの入力音量を調節します。

10 ディスプレイ

入出力映像や配信/録画の状態、パラメーターやメニューを表示します。

11 [MENU] ボタン

メニューの表示/非表示を切り替えます。

12 [EXIT] ボタン

メニューの階層を抜けたり、操作をキャンセルしたりします。

13 [VALUE/CURSOR] つまみ

回す	メニュー項目の選択、ディスプレイ下部に表示されるパラメーターの切り替え、設定値の変更をします。
押す	選んだメニュー項目や変更した設定値を決定します。

14 [F1] ～ [F4] つまみ

ディスプレイ下部に表示されるパラメーターの値を設定します。

15 [AUDIO REC] ボタン

録音の状態を表示します。

消灯	停止中で、ディスプレイ下部にパラメーターを表示していない
赤点灯	録音中
黄点滅	録音にエラーが発生

ボタンを押すと（緑点灯）、ディスプレイ下部に録音関連のパラメーターを表示します。

[VIDEO REC] ボタン

録画の状態を表示します。

消灯	停止中で、ディスプレイ下部にパラメーターを表示していない
赤点灯	録画中
黄点滅	録画にエラーが発生

ボタンを押すと（緑点灯）、ディスプレイ下部に録画関連のパラメーターを表示します。

[STREAM] ボタン

配信の状態を表示します。

消灯	停止中で、ディスプレイ下部にパラメーターを表示していない
赤点灯	配信中
黄点滅	配信にエラーが発生

ボタンを押すと（緑点灯）、ディスプレイ下部に配信関連のパラメーターを表示します。

16 [REC/ON AIR] ボタン

配信・録画・録音のスタート/ストップに関連するパラメーターを、ディスプレイ下部に表示します。

17 SCENE/VIDEO FUNCTION**[A] ～ [E] ボタン**

登録されている画面構成を呼び出したり、映像関連の機能を実行したりします。

各ボタンに別の機能を割り当てることもできます。

18 INPUT**[HDMI IN 1] [HDMI IN 2] [STILL 1] [STILL 2] ボタン**

ボタンを押して選んだ入力映像に切り替えます。

赤点灯	現在選ばれている映像（出力中の映像）
赤点滅	映像切り替え中
白点灯	有効な映像が入力されている
消灯	映像入力なし

19 [KEY] ボタン

キー合成をオン/オフします。

20 [AUTO SW/TAKE] ボタン

オート・スイッチング機能をオン/オフします。

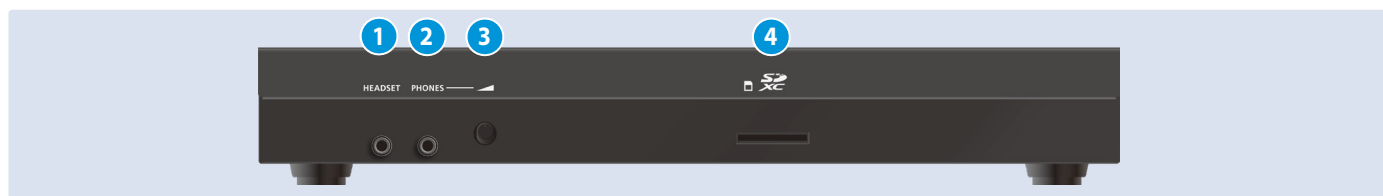
PGM Direct（選んだ映像をすぐに最終出力する機能：P.26）がオンのときは、あらかじめ設定している内容に従って、HDMI IN 1 ～ 2 の映像や STILL 1 ～ 2 の静止画、SCENE/VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンに登録されているシーン A ～ E を自動で切り替えます。

PGM Direct がオフのときは、[TAKE] ボタンとして最終出力を切り替えます。

21 AUTO SW インジケーター

オート・スイッチング機能による映像切り替えのタイミングで、緑点灯します。

フロント・パネル

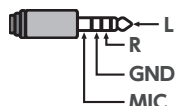
**1 HEADSET 端子**

ヘッドセットやヘッドホンを接続します。

注意

ヘッドセットは、CTIA 対応の 3.5mm ミニ・プラグ（4 極）のものをお使いください。

※ミニ・プラグ（4 極）のピン配置

**2 PHONES 端子**

ヘッドホンを接続します。

3 [PHONES] つまみ

HEADSET 端子／PHONES 端子に接続した、ヘッドセットとヘッドホンの音量を調節します。

※ HEADSET 端子と PHONES 端子には、同じ音声出力されます。

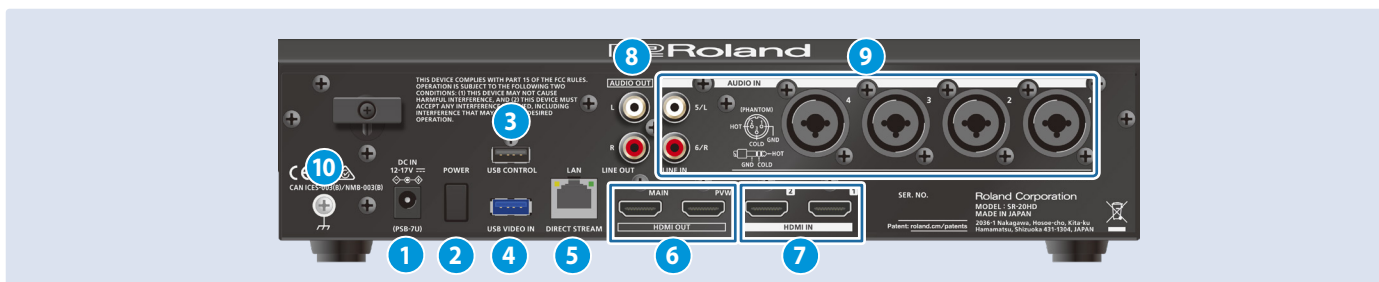
※ 個別に音量を調節することはできません。

4 SDXC カード・スロット

SD カードを差し込みます。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



1 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。

コード・フック



2 [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします。

3 USB CONTROL 端子

- スマートフォンを接続して、テザリングをします。
- USB メモリーを接続して静止画のインポートをしたり、USB キーボードを接続してテキスト入力したりします。

4 USB VIDEO IN 端子

本機で対応可能な USB STREAM 出力を備えた、ローランドのビデオ製品と接続します。

5 LAN (DIRECT STREAM) 端子

ネットワーク機器と接続して、ライブ配信をします。ネットワークに接続された SRT 対応機器と本機で、映像／音声の入出力をします。

注意

GbE 対応のため、CAT5e 以上の LAN ケーブルを使って接続してください。

6 HDMI OUT (MAIN、PVW) 端子

映像を出力します。外部ディスプレイやプロジェクターなどを接続します。

※ メニュー (P.9) の設定により、本体ディスプレイに表示されるメニューを、HDMI OUT PVW 端子に接続したディスプレイにも表示させることができます。

7 HDMI IN 1、2 端子

映像を入力します。HDMI 出力端子のあるビデオ・カメラやパソコンを接続します。

8 AUDIO OUT (LINE OUT) 端子

音声を出力します。オーディオ・レコーダーや、アンプ、スピーカーなどを接続します。

9 AUDIO IN 1～4 (XLR / TRS) 端子

音声を入力します。マイクやライン・レベルのアナログ・オーディオ機器を接続します。

※ AUDIO IN 1～4 (XLR / TRS) 端子のピン配置



※ ファンタム電源について

AUDIO IN 1～4 端子 (XLR) からは、ファンタム電源 (+48V) を供給することができます。ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使うときは、ファンタム電源をオンにしてください。

[MENU] ボタン → [Audio Input] → [AUDIO IN 1] ～ [AUDIO IN 4] → [Phantom +48 V] を [On] にします。

AUDIO IN 5/L、6/R (LINE IN) 端子

音声を入力します。オーディオ・ミキサーなどのアナログ・オーディオ機器を接続します。

10 接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

基本操作

電源を入れる／切る

- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ※ 電源が入っている状態で SD カードや USB メモリーを抜くときは、必ずイジェクト操作をしてください。
- ※ 電源を切るときは、必ずシャットダウン操作をしてください。
- ※ 本機は 1 か月を超える長期間の連続稼働をサポートしていません。長期間お使いになる場合は、定期的に電源の入切をしてお使いください。

電源を入れる

1. すべての機器の電源がオフになっていることを確認する。

2. SR-20HD の [POWER] スイッチをオンにして、電源を入れる。

3. ソース機器の電源を入れる。

ビデオ・カメラなど、SR-20HD の入力端子に接続したソース機器の電源を入れます。



4. 出力機器の電源を入れる。

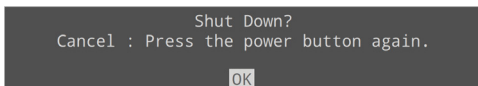
プロジェクターなど、SR-20HD の出力端子に接続した機器の電源を入れます。

電源を切る

1. 出力機器→ソース機器の順に電源を切る。

2. SR-20HD の [POWER] スイッチをオフにする。

以下のメッセージが表示されます。



3. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、シャットダウンを完了する。

キャンセルするときは、もう一度 [POWER] スイッチを押します。

[MENU] ボタン → [System] → [Shut Down] でも電源を切ることができます。

オート・オフ機能について

SR-20HD には、以下の状態のまま 20 分経過すると、自動的に電源が切れる「オート・オフ機能」が搭載されています。

- SR-20HD が何も操作されない
- 映像の入力がない
- HDMI OUT 端子に機器が接続されていない
- 配信、録画をしていない

工場出荷時、オート・オフ機能は、オフに設定されています。オート・オフ機能をオンにするときは、System メニューの [Auto Off] を [On] に設定します。

※ 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。

※ 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

SD カードについて

注意

SR-20HD を使うときには、常に SD カードが必要です。

SR-20HD で使用できる SD カードについて



SR-20HD は、SDXC カードに対応しています。

SD カードのメーカーや種類によっては、SR-20HD で正しく録画／録音ができないことがあります。

最新の動作確認情報はローランド・サポート・ページでご案内しています。

<https://roland.cm/sr-20hd>



注意

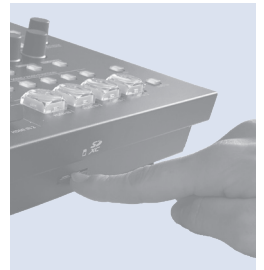
市販の SD カードを SR-20HD で使用するときには、最初に「SD カードをフォーマットする」の手順でフォーマットしてください。

SD カードを挿す

1. SD カードを、SDXC カード・スロットに「カチッ」と音がするまで差し込む。

注意

SD カードは挿入方向や裏表に注意して確実に奥まで差し込んでください。また、無理に差し込まないでください。



SD カードをフォーマットする

1. [MENU] ボタン → [SD Card/USB Memory] → [SD Card Format] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

SD カードがフォーマットされます。

注意

フォーマットすると、SD カード内のデータ（録画、録音データ）はすべて消えてしまいます。

SD カードを抜く

1. [MENU] ボタン → [SD Card/USB Memory] → [SD Card Eject] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ [EXIT] ボタンを押しながら [MENU] ボタンを押して、確認メッセージを表示させることもできます。

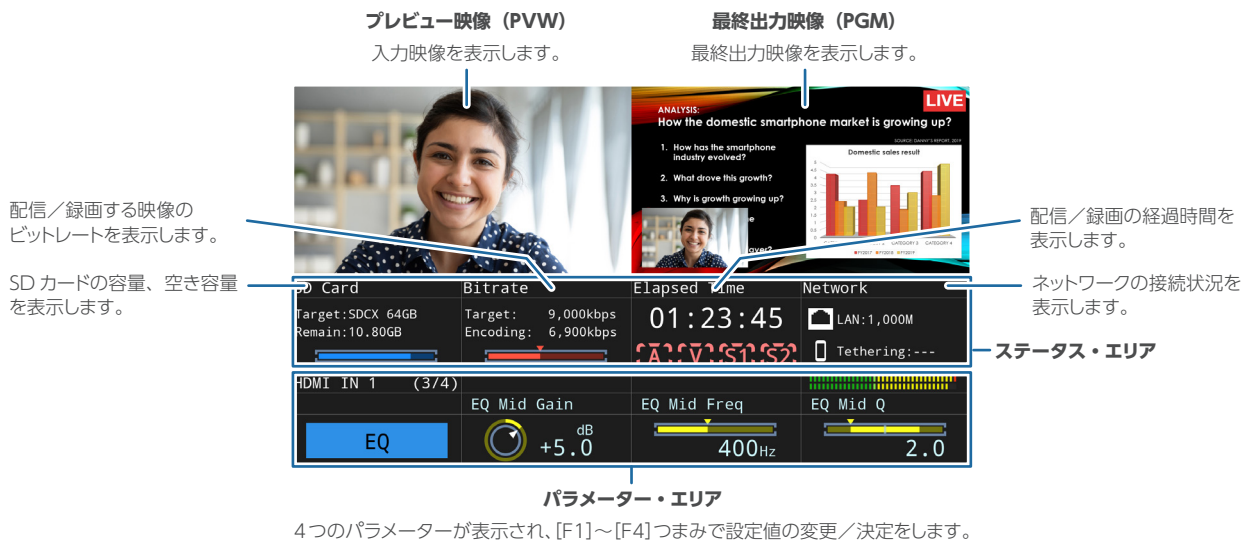
2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

画面に「The SD Card is safe to remove.」とメッセージが表示され、安全にカードを取り出せる状態になります。

3. SD カードを押し込む。

4. SD カードをつまんで手前に引っ張る。

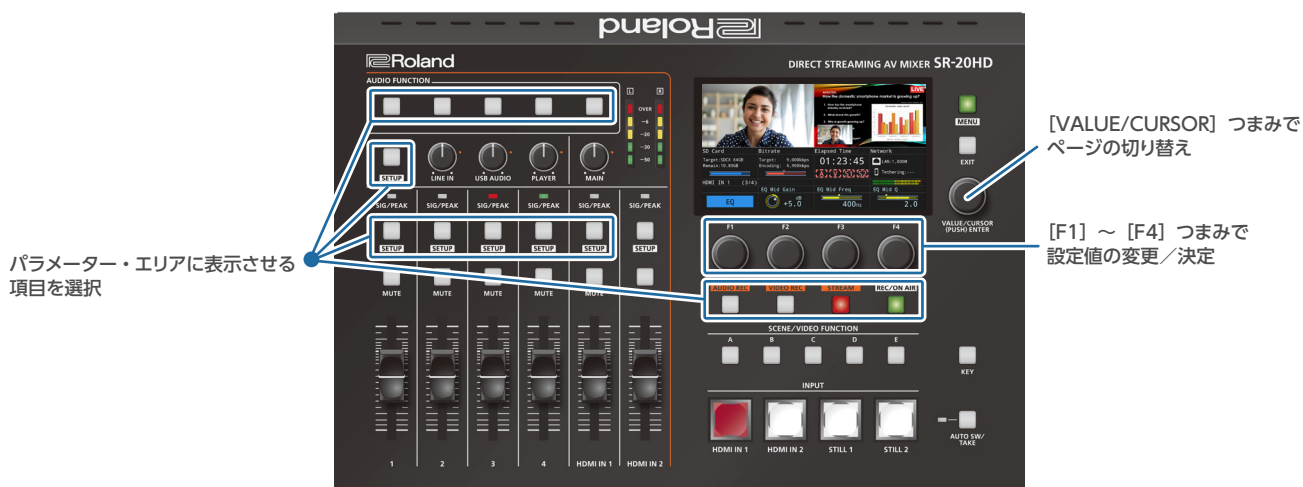
基本画面



パラメーター・エリアの操作

ディスプレイ下部のパラメーター・エリアには 4 つのパラメーターが表示され、[F1] ～ [F4] つまみで設定値の変更/決定をします。

- AUDIO IN 1 ～ 4 と HDMI IN 1 ～ 2 の[SETUP] ボタン、[AUDIO REC] [VIDEO REC] [STREAM] [REC/ON AIR] ボタンで、表示するパラメーターを切り替えます。
- AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンに、パラメーター・エリアに表示させたい機能（アナログ・ゲイン、ミュート、ディレイなど）を割り当てて使うことができます。
- 4 つ以上のパラメーターがあるときは、[VALUE/CURSOR] つまみでページを切り替えて、残りのパラメーターを表示させることができます。

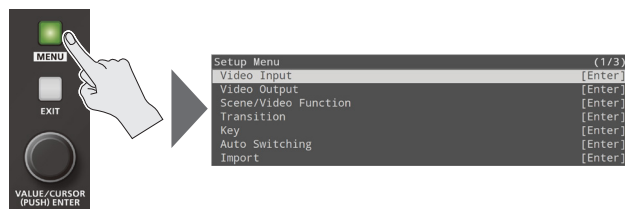


メニューを操作する

メニューを表示して、映像／音声／配信に関する設定や SR-20HD 本体の設定をします。

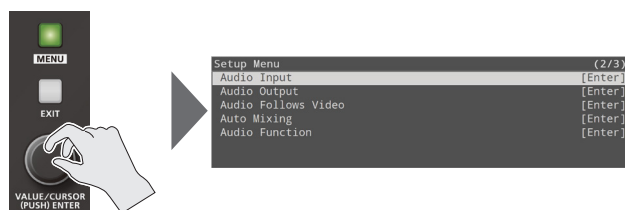
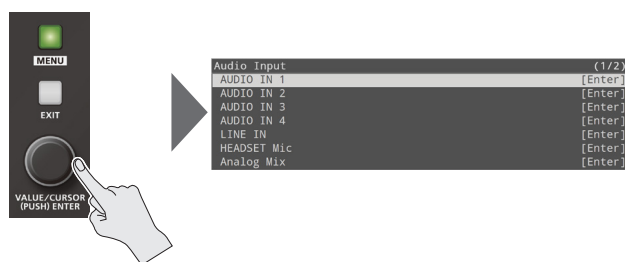
※ メニューは、HDMI OUT PVW 端子に接続したディスプレイにも表示させることができます。

1. [MENU] ボタンを押して、メニューを表示させる。



[MENU] ボタンが点灯し、メニューのカテゴリーが表示されます。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回してカテゴリーを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押して決定する。



選んだカテゴリーのメニュー項目が表示されます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押して決定する。

カーソルが設定値に移動します。

- メニュー階層が深い場合は、手順 3 を繰り返します。
- [EXIT] ボタンを押すと、1 つ上の階層に戻ります。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して、設定値を変更する。

- [VALUE/CURSOR] つまみを押しながら回すと、設定値を大きく変えることができます。
- [VALUE/CURSOR] つまみを長押しすると、設定中のメニュー項目が初期値に戻ります。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、設定を確定させる。

カーソルがメニュー項目に戻ります。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときは、次の手順で内蔵時計を設定してください。ここで設定した日時は、画面上に表示されるほか、録画したファイルの情報として利用されます。

注意

- 内蔵時計は電源を切った状態でも内部電池により動作します。
- 内部電池が切れた際には、「Battery Error」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、当社サポート窓口にご連絡ください。

1. [MENU] ボタン → [System] → [Date & Time Settings] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Manual」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Date」または「Time」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

ダイアログが表示されます。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して年／月／日または時／分／秒を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

変更対象の項目が点滅します。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して年／月／日または時／分／秒を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

6. 手順 4 ～ 5 を繰り返して、年／月／日または時／分／秒を設定する。

7. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、ダイアログを閉じる。

8. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Set」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定した値が確定します。

「Cancel」を選ぶと、設定した値はすべて破棄されて元の値に戻ります。

9. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Configure	手動 (Manual) で時刻を合わせるか、NTP サーバー (Using NTP) に問い合わせ時刻を合わせるかを選びます。
Time Zone	タイム・ゾーンを設定します。
Date Format	日付の表示形式を設定します。
NTP Server	NTP サーバーを設定します。

10. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

11. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

映像の入出力設定

対応映像フォーマット一覧

入力フォーマット

フレーム・レート	
[59.94Hz] 設定時	[50Hz] 設定時
720/59.94p	720/50p
1080/59.94i	1080/50i
1080/59.94p	1080/50p
SVGA (800×600/60Hz)	SVGA (800×600/60Hz)
XGA (1024×768/60Hz)	XGA (1024×768/60Hz)
WXGA (1280×800/60Hz)	WXGA (1280×800/60Hz)
SXGA (1280×1024/60Hz)	SXGA (1280×1024/60Hz)
FWXGA (1366×768/60Hz)	FWXGA (1366×768/60Hz)
SXGA+ (1400×1050/60Hz)	SXGA+ (1400×1050/60Hz)
UXGA (1600×1200/60Hz)	UXGA (1600×1200/60Hz)
FHD (1920×1080/60Hz)	FHD (1920×1080/60Hz)
WUXGA (1920×1200/60Hz)	WUXGA (1920×1200/60Hz)

音声フォーマット

HDMI IN 1、2 端子	リニア PCM、24 ビット、48kHz、ステレオ
----------------	---------------------------

出力フォーマット

HDMI OUT (MAIN、PVW) 端子

フレーム・レート	
[59.94Hz] 設定時	[50Hz] 設定時
1080/59.94p	1080/50p

音声フォーマット

HDMI OUT (MAIN、PVW) 端子	リニア PCM、24 ビット、48kHz、ステレオ
------------------------	---------------------------

入力フォーマット (EDID) を設定する

工場出荷時、EDID 情報は「Internal」（入力可能なすべてのフォーマットの EDID 情報が送信される設定）になっています。

特定の入力フォーマットの EDID 情報をソース機器に送りたい場合は、設定を変更します。

EDID とは？

EDID とは、SR-20HD をソース機器に接続したときに、SR-20HD からソース機器に送信されるデータです。EDID には、SR-20HD に入力できるフォーマット（解像度、カラー・スペース、色深度）や音声情報などのデータが記録されています。

ソース機器は、受信した EDID 情報を元に SR-20HD に最適な映像を出力します。

1. [MENU] ボタン → [Video Input] → [HDMI IN 1] または [HDMI IN 2] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

HDMI IN 1	(1/2)
Status	No Signal
EDID	Internal
Zoom	100.0%
Scaling Type	Full
Manual Size H	0
Manual Size V	0

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [EDID] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

HDMI IN 1	(1/2)
Status	No Signal
EDID	Internal
Zoom	100.0%
Scaling Type	Full
Manual Size H	0
Manual Size V	0

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して入力フォーマット (EDID) を設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値

Internal、720p、1080i、1080p、SVGA (800x600)、XGA (1024x768)、WXGA (1280x800)、FWXGA (1366x768)、SXGA (1280x1024)、SXGA+ (1400x1050)、UXGA (1600x1200)、Full HD (1920x1080)、WUXGA (1920x1200)

5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

出力映像を調整する

SR-20HD の出力を受ける機器に合わせて、出力映像を調整します。

1. [MENU] ボタン → [Video Output] → [HDMI OUT MAIN] または [HDMI OUT PVW] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

詳細メニューが表示されます。

HDMI OUT MAIN	(1/2)
Status	Not Connected
Color Space	YPbPr (4:4:4)
DVI-D/HDMI	HDMI

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して、メニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Status	HDMI OUT (MAIN、PVW) 端子の接続状態を表示します。
Color Space	カラー・スペース（映像の色を表現するための方式）を設定します。
DVI-D/HDMI	出力信号の種類を設定します。
Brightness	明るさを調節します。
Contrast	コントラストを調節します。
Saturation	彩度を調節します。
Red	赤レベルを調節します。
Green	緑レベルを調節します。
Blue	青レベルを調節します。
HDMI OUT PVW のみ	
Output Assign	HDMI OUT PVW 端子に割り当てる出力バスを設定します。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

ディスプレイの画質調整に便利なテスト・パターンを出力することができます。

[MENU] ボタン → [System] → [Test Pattern] で、テスト・パターンの種類を選びます。

入力映像を調整する

INPUT [HDMI IN 1] ～ [STILL 2] ボタンに割り当てられている映像／静止画の画質やスケーリングを調整します。

1. [MENU] ボタン → [Video Input] → [HDMI IN 1] ～ [STILL 2] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

詳細メニューが表示されます。

HDMI IN 1	(1/2)
Status	No Signal
EDID	Internal
Zoom	100.0%
Scaling Type	Full
Manual Size H	0
Manual Size V	0

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して、メニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
HDMI IN 1、2 のみ	
Status	入力映像の情報（映像フォーマットやサイズなど）を表示します。
Color Space	カラー・スペース（映像の色を表現するための方式）を設定します。 「AUTO」にすると、自動的に適切なカラー・スペースを適用します。
Flicker Filter	「ON」にすると、ちらつきを軽減します。
STILL 1 のみ	
Still Memory	静止画（1～8）を選びます。
HDMI IN 1 ～ STILL 2	
Zoom	拡大／縮小率を調節します。
Scaling Type	スケーリング・タイプを設定します。 ※ STILL 1/SRT In、STILL 2 のスケーリング・タイプは Full 固定です。
Manual Size H	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	垂直方向のサイズを調節します。
Position H	水平方向の位置を調節します。
Position V	垂直方向の位置を調節します。
Brightness	明るさを調節します。
Contrast	コントラストを調節します。
Saturation	彩度を調節します。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

USB VIDEO IN からの映像を使用する場合

以下の設定をします。

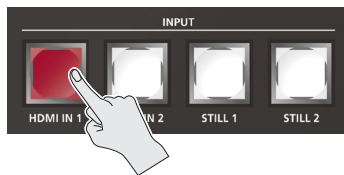
- [MENU] ボタン → [System] → [USB VIDEO IN Mode] を [Video Only] に設定します。
- [MENU] ボタン → [Video Input] → [STILL 1/SRT In] → [Type] を USB VIDEO IN に設定します。
- 接続する製品の USB STREAM を、720p29.97 または 720p25 に設定します。
※ UVC-01 を接続した場合は、自動的に 720p29.97 または 720p25 に設定されます。
- VR-4HD を接続する場合は、VR-4HD の SYSTEM FORMAT を 720p に設定してください。

映像の操作

ボタン操作で映像を切り替える

INPUT (HDMI IN 1 ～ 2、STILL 1/SRT In、STILL 2) の映像／静止画を、手で切り替えます。

1. INPUT [HDMI IN 1] ～ [STILL 2] ボタンを押して、映像を選ぶ。



ボタン	映像の状態
赤点灯	現在選ばれている映像（出力中の映像）
赤点滅	映像切り替え中
白点灯	有効な映像が入力されている
消灯	映像入力なし

選んだボタンが赤点滅し、徐々に映像が切り替わります。

映像が完全に切り替わると、赤点滅から赤点灯に変わります。

※ シーン (P.14) を選ぶと、入力映像の選択は解除されます。

■ 映像切り替え時間

映像切り替え時間は、[MENU] ボタン → [Transition] → [Time] で設定します。シーン (P.14) の切り替え時間と共通です。

■ 切り替え効果

映像が切り替わるときに、ミックス効果がかかります。2 つの映像が混ざり合いながら切り替わります。



以下の場合、カット（瞬時）切り替えになります。

- 映像切り替え時間を「0.0sec」にしたとき
- 映像の切り替わり中に、INPUT ボタンを押したりシーンを切り替えたりしたとき

■ [STILL 1] ボタンの映像ソース (P.19)

[STILL 1] ボタンには、SD カードに読み込んだ静止画／動画を割り当てることができます。

[MENU] ボタン → [Video Input] → [STILL 1/SRT In] → [Type] で設定します。

設定値	説明
Still	SD カードに読み込んだ静止画
Video Player	SD カードに読み込んだ動画

■ [STILL 2] ボタンの映像ソース (P.22)

[STILL 2] ボタンには、HDMI IN 1 ～ 2、STILL 1/SRT In の映像ソースからキャプチャーした静止画が割り当てられます。

[MENU] ボタン → [Import] → [Input Capture] で静止画をキャプチャーします。

- キャプチャーできる静止画は、1 つです。
- キャプチャーした静止画は、縮小できません。
- キャプチャーした静止画は、電源を切ると失われます。
[STILL 2] ボタンを使うときは、起動後にキャプチャーをする必要があります。

自動的に映像を切り替える（オート・スイッチング）

INPUT (HDMI IN 1 ～ 2、STILL 1/SRT In、STILL 2) の映像／静止画やシーン (P.14) を自動的に切り替えます（オート・スイッチング機能）。

映像／静止画を自動的に切り替えることで、オペレーションを省力化することができます。

※ PGM Direct (P.26) [Off] のときは、オート・スイッチング機能を使うことができません。

オート・スイッチングの動作モード

オート・スイッチングには、状況に合わせて選べる「オート・スキャン」「ビデオ・フォロー・オーディオ」の 2 つの動作モードが用意されています。

指定した間隔で切り替える（オート・スキャン）

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に映像を切り替えます。映像ごとに表示時間を変えたり、映像をランダムに切り替えたりすることもできます。

複数のカメラ映像を切り替えて、弾き語りをライブ配信するときなどに便利です。

※ INPUT (HDMI IN 1 ～ 2、STILL 1/SRT In、STILL 2) は、映像入力がないとスキップされます。

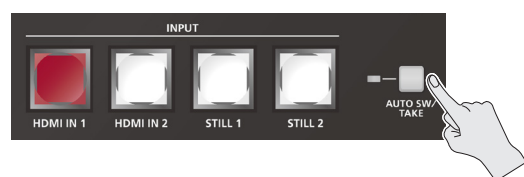
マイクの音量に応じて切り替える（ビデオ・フォロー・オーディオ）

マイクから入力される音声を検出し、音量に応じて任意の映像に自動的に切り替えます。

トーク番組や対談で、演者が話しているときは演者のクローズアップ映像、トークの合間には演者二人のワイドショット映像に切り替えるといった演出をすることができます。

オート・スイッチングをオン／オフする

1. [AUTO SW/TAKE] ボタンを押して、オート・スイッチングをオン（点灯）にする。



2. オート・スイッチングをオフにするときは、もう一度 [AUTO SW/TAKE] ボタンを押す。

動作モードを設定する

オート・スキャン

1. [MENU] ボタン → 「Auto Switching」 → 「Type」 を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Auto Scan」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明	
Sequence		映像を表示する順番を設定します。
	Normal	HDMI IN 1 ～ STILL 2 → シーン A ～ E の順に切り替わります。
	Random	ランダムに切り替わります。
Video Input Duration	映像の表示時間を設定します。 「Off」 にすると、映像切り替えの対象になりません。	
HDMI IN 1、2		
STILL 1/SRT In、STILL 2		
Scene Duration		
Scene A ～ E		

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

ビデオ・フォロー・オーディオ

1. [MENU] ボタン → 「Auto Switching」 → 「Type」 を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Video Follows Audio」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して、メニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Time	マイク音声を検出し、映像／シーンが切り替わったあと、再び音声の検出を始めるまでの時間を設定します。
Mic A、B Source	Mic A と Mic B に、オート・スイッチングの対象になる音声入力を設定します。
Mic A、B Sense	Mic A、B から入力される音声の検出レベルを設定します。レベルが高いほど、音声を検出しやすくなります。
Mic A、B Select	Mic A、B で音声を検出したときに出力する映像／シーンを設定します。
Mic A + Mic B Select	Mic A と Mic B の両方で音声を検出したときに出力する映像／シーンを設定します。
Silent Select	Mic A と Mic B の両方で音声入力がないときに出力する映像／シーンを設定します。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

2つの映像を組み合わせて表示する（シーン）

画面構成を「シーン」に登録することで、2つの映像を組み合わせて表示させることができます。あらかじめお好みの画面構成をシーンに登録しておけば、SCENE/VIDEO FUNCTION ボタンを押すだけで、素早く画面構成を切り替えられます。

SR-20HD には、最大で5つのシーンを登録することができます。

画面構成のタイプ

シーンに登録できる画面構成には、以下の3種類があります。

ピクチャーインピクチャー（PinP）

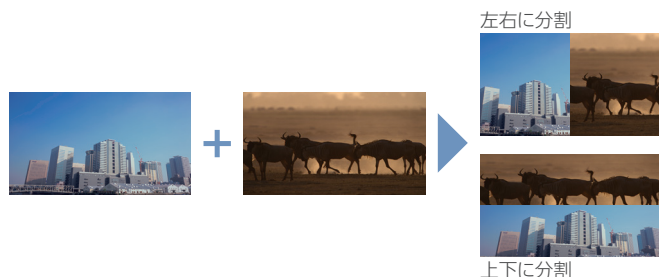
背景映像の上に子画面（小さい別の画面）の映像を重ねます。

子画面のサイズや位置を自由に変更することができます。



スプリット（Split）

画面を左右／上下2分割にして2つの映像を表示します。



ピクチャーバイピクチャー（PbyP）

2つの画面を並べて表示します。それぞれの画面のサイズや位置を自由に変更することができます。



シーンを登録する

ピクチャーインピクチャー（PinP）

1. [MENU] ボタン → [Scene/Video Function] → [Scene/Video Function A ~ E] → [Mode] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Scene] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Type] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [PinP] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



5. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
LED Color	SCENE [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Background Ch	背景映像を設定します。
Window Ch	子画面の映像を設定します。
Window Pos H	子画面の水平方向の位置を調節します。
Window Pos V	子画面の垂直方向の位置を調節します。
Window Aspect	子画面のアスペクト比を設定します。
Window Size	子画面のサイズを調節します。
Window Crop H	子画面の水平方向のサイズを調節します。
Window Crop V	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
View Pos H	子画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
View Pos V	子画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
View Zoom	子画面に表示される映像の拡大率を調節します。

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

[STILL 2] ボタンに割り当てた静止画（P.22）は、縮小できません。子画面に静止画を表示した場合、子画面サイズに合わせてリサイズ（縮小）されずに、静止画の一部が切り出されます。

スプリット (Split)

1. [MENU] ボタン → 「Scene/Video Function」 → 「Scene/Video Function A ~ E」 → 「Mode」 を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Scene」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Type」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Split」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して、メニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
LED Color	SCENE [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Pattern	スプリットの分割パターンを設定します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> V.Center : </div> <div style="text-align: center;"> H.Center : </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> V.Stretch : </div> <div style="text-align: center;"> H.Stretch : </div> </div>
Center	画面を分割する位置を調節します。
A Ch (Left/Upper)	左または上側に表示される映像を設定します。
B Ch (Right/Lower)	右または下側に表示される映像を設定します。
A-Center (*1)	左側／上側に表示される映像の水平／垂直方向の位置を調節します。
B-Center (*1)	右／下側に表示される映像の水平／垂直方向の位置を調節します。

(*1) 「Pattern」が「V.Center」または「H.Center」のときに有効です。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

[STILL 2] ボタンに割り当てた静止画 (P.22) は、縮小できません。
「V.Stretch」や「H.Stretch」で静止画を表示した場合、静止画の解像度や画面の表示範囲によっては、ストレッチ効果が正しくかからないことがあります。

ピクチャーバイピクチャー (PbyP)

1. [MENU] ボタン → 「Scene/Video Function」 → 「Scene/Video Function A ~ E」 → 「Mode」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Scene」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Type」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「PbyP」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して、メニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
LED Color	SCENE [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
A Ch	各ウィンドウ (A 画面、B 画面) の映像を設定します。
B Ch	
Layer Order	A 画面と B 画面の重なり順 (前面／背面) を設定します。
A Ch	
Position H	A 画面の水平方向の位置を調節します。
Position V	A 画面の垂直方向の位置を調節します。
Aspect	A 画面のアスペクト比を設定します。
Size	A 画面のサイズを調節します。
Cropping H	A 画面の水平方向のサイズを調節します。
Cropping V	A 画面の垂直方向のサイズを調節します。
View Pos H	A 画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
View Pos V	A 画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
View Zoom	A 画面に表示される映像の拡大率を調節します。
B Ch	
Position H	A 画面と同様に、B 画面を調整します。
Position V	
Aspect	
Size	
Cropping H	
Cropping V	
View Pos H	
View Pos V	
View Zoom	

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

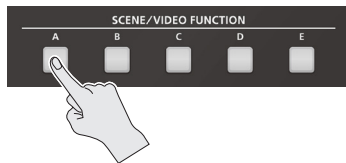
7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

[STILL 2] ボタンに割り当てた静止画 (P.22) は、縮小できません。
静止画を表示した場合、A 画面または B 画面のサイズに合わせてリサイズ (縮小) されずに、静止画の一部が切り出されます。

シーンを呼び出す

登録したシーンを呼び出します。

1. シーンを登録した SCENE [A] ～ [E] ボタンを押す。



シーンが呼び出され、画面構成が切り替わります。選ばれたボタンは、赤点灯します。

※ INPUT (HDMI IN 1 ～ 2, STILL 1/SRT In, STILL 2) を選ぶと、シーンの選択は解除されます。

- シーンの切り替え時間は、映像切り替え時間と共通です。
[MENU] ボタン → [Transition] → [Time] の設定が適用されます。
- シーンの切り替え効果を変更することができます。
[MENU] ボタン → [Transition] → [Scene Transition] で設定します。

設定値	説明
Black Fade	黒画面をはさむフェード効果を付けます。 すべての画面が同時に切り替わります。
Mix Fade	フェード効果を付けます。画面ごとに切り替わります。
Motion	各画面が、動きながら切り替わります。

シーンをコピーする

シーンに登録されている設定を、別のシーンにコピーします。

1. [MENU] ボタン → [Scene/Video Function] → [Scene/Video Function Copy] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Scene/Video Function Copy メニューが表示されます。

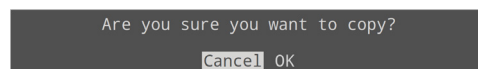
Scene/Video Function Copy	(1/1)
Source	Scene/Video Function A
Destination	Scene/Video Function B
Copy	[Exec]

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Source	コピー元のシーンを設定します。
Destination	コピー先のシーンを設定します。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してコピー元／コピー先のシーンを設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Copy」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

キーで映像を合成する

映像の一部を透明にして、背景映像と合成します。黒または白背景のルミナンス・キー、青または緑背景のクロマ・キーを使うことができます。

ロゴや画像を合成する（ルミナンス・キー）

明るさを基準に、黒または白部分を透明にしてロゴや画像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。

シーン（P.14）を背景映像にすることもできます。



合成具合を調整する

1. 背景映像にしたい映像を出力します。
2. [MENU] ボタン → 「Key」 → 「SW」 を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「On」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

合成結果が出力されます。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Key Source Ch」 「Key Color」 「Key Level」 または 「Key Gain」 を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



■Key Source Ch

上に重ねるロゴや画像のソースを選びます。

設定値	説明
HDMI IN 1、2	HDMI IN 1、2 端子から入力される映像
STILL 1/SRT In、STILL 2	本体に読み込んだ静止画（P.19、P.22）

■Key Color

「Black」または「White」に設定します。

設定値	説明
Black	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。
White	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、白い部分を透明にします。
Green 1～3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、緑色を透明にします。
Blue 1～3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、青色を透明にします。

■Key Level

キーの抜け具合を調節します。

■Key Gain

キーのエッジのぼかし具合を調節します。

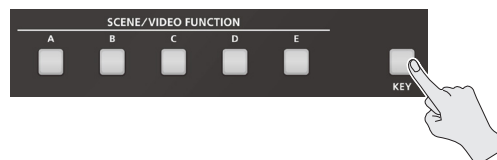
5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

合成結果を確認しながら、各メニュー項目を設定します。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

キー合成する

1. [KEY] ボタンを押して、キー合成をオン（点灯）にする。



合成結果がカットで表示されます。

2. キー合成をオフにするときは、もう一度 [KEY] ボタンを押す。

カットで背景映像に戻ります。

ロゴや画像のサイズを変更する

キー合成時、上に重ねたロゴや画像のサイズや位置を変更することができます。以下の Key メニューで設定します。

設定値	説明
Source Zoom	拡大／縮小率を設定します。
Source Scaling Type	スケーリング・タイプを設定します。
Manual Size H	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	垂直方向のサイズを調節します。
Source Pos H	水平方向の位置を調節します。
Source Pos V	垂直方向の位置を調節します。

被写体と背景を合成する（クロマ・キー）

青または緑部分を透明にして映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。ブルー・バックやグリーン・バックで撮影した被写体を合成することができます。

シーン（P.14）を背景映像にすることもできます。



合成具合を調整する

1. 背景映像にしたい映像を出力します。

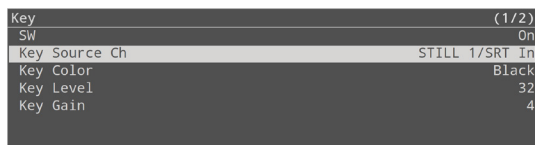
2. [MENU] ボタン → [Key] → [SW] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「On」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

合成結果が出力されます。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Key Source Ch」[Key Color] [Key Level] または「Key Gain」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



■Key Source Ch

上に重ねる映像を選びます。

設定値	説明
HDMI IN 1、2	HDMI IN 1、2 端子から入力される映像
STILL 1/SRT In、STILL 2	本体に読み込んだ静止画（P.19、P.22）

■Key Color

「Green 1～3」または「Blue 1～3」に設定します。1～3の中から最も適切に合成できるプリセットを選びます。

設定値	説明
Black	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。
White	ルミナンス・キーで合成します。 明るさを基準にして、白い部分を透明にします。
Green 1～3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、緑色を透明にします。
Blue 1～3	クロマ・キーで合成します。 色味を基準にして、青色を透明にします。

■Key Level

キーの抜け具合を調節します。

■Key Gain

キーのエッジのぼかし具合を調節します。

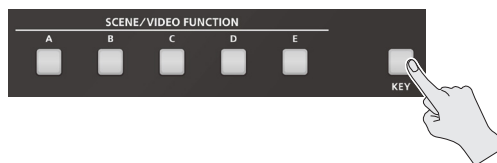
5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

合成結果を確認しながら、各メニュー項目を設定します。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

キー合成する

1. [KEY] ボタンを押して、キー合成をオン（点灯）にする。



合成結果がカットで表示されます。

2. キー合成をオフにするときは、もう一度 [KEY] ボタンを押す。

カットで背景映像に戻ります。

ロゴや画像のサイズを変更する

キー合成時、上に重ねたロゴや画像のサイズや位置を変更することができます。以下の Key メニューで設定します。

設定値	説明
Source Zoom	拡大／縮小率を設定します。
Source Scaling Type	スケーリング・タイプを設定します。
Manual Size H	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	垂直方向のサイズを調節します。
Source Pos H	水平方向の位置を調節します。
Source Pos V	垂直方向の位置を調節します。

静止画／動画を使う

USB メモリーから静止画／動画を SD カードに読み込んで（インポート）、「STILL 1」の映像ソースとして使うことができます。
静止画については、本体内蔵のサンプル・ファイルを SD カードにインポートして使うこともできます。

注意

- SD カードを初めて使うときは、必ず SR-20HD でフォーマットしてください（P.7）。
- SD カード／USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。
- 「Processing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カード／USB メモリーを抜いたりしないでください。

静止画をインポートして使う

インポート対応フォーマット

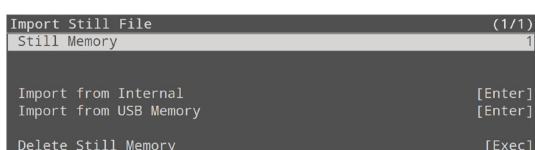
フォーマット	PNG File (.png)、24 ビットカラー
	※ PNG αチャンネルは非対応
解像度	JPEG File (.jpg .jpeg)、24 ビットカラー
	最大 1920 × 1080 ピクセル
ファイル名	半角英数、拡張子を含め 32 文字以内

インポート

USB メモリーからインポートする場合

1. USB メモリーのルート・ディレクトリーに静止画を保存する。
2. USB MEMORY 端子に、静止画を保存した USB メモリーを接続する。

1. SD カードを挿す（P.7）。
2. [MENU] ボタン → [Import] → [Import Still File] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



3. [Still Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して静止画を保存するメモリー（1～8）を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
 - [Safety Image] を選ぶと、セーフティー・ディレイ機能（P.47）を使ったときに切り替わる静止画としてインポートされます。
 - 静止画があるメモリー番号には、[*] マークが表示されます。

サンプル・ファイルをインポートする場合

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Import from Internal] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

USB メモリーからインポートする場合

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Import from USB Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

静止画が一覧表示されます。

Still File List (1/1)			
LIVE_blk_txt_red_logo_blk_bg.png	30KB	2022/05/02	16:01
LIVE_blk_txt_wht_logo_blk_bg.png	30KB	2022/05/26	15:23
LIVE_wht_txt_blk_logo_wht_bg.png	34KB	2022/05/26	15:24
LIVE_wht_txt_red_logo_blk_bg.png	30KB	2022/06/02	15:58
Safety_blu_hex_bg.png	399KB	2022/05/26	15:22

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回してインポートする静止画を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

Are you sure you want to import?
00:00:03 / 00:02:18

中止するときは、「Cancel」を選びます。

- [Preview] を選ぶと、静止画の確認ができます。
静止画は HDMI OUT PVW に出力されます。

7. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
インポートが完了すると、「Completed」と表示されます。

8. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

[STILL 1] ボタンの映像ソースを静止画にする

1. [MENU] ボタン → [Video Input] → [STILL 1/SRT In] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

STILL 1/SRT In (1/2)		
SRT In		Disable
Type		Still
Still Memory		1
Zoom		100.0%
Scaling Type		Full
Manual Size H		0
Manual Size V		0

2. [Type] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Still] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Still Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して STILL 1 で使う静止画（1～8）を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

VIDEO FUNCTION ボタンに、STILL 1 で使う静止画を切り替える機能を割り当てることができます。
詳しくは「VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる」（P.25）をご覧ください。

動画をインポートして使う

USB メモリーから動画をインポートします。

また、ライブ配信 (P.38) 時に SD カードに録画した動画を使うこともできます。

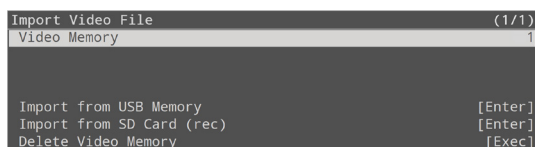
インポート対応フォーマット

フォーマット	MP4 File (.mp4) H.264、AAC (48kHz)、 平均ビットレート 10,000kbps 以下
解像度	最大 1080p29.97
ファイル名	半角英数、拡張子を含め 32 文字以内

インポート

1. USB メモリーのルート・ディレクトリーに動画を保存する。
2. USB MEMORY 端子に、動画を保存した USB メモリーを接続する。
3. SD カードを挿す (P.7)。

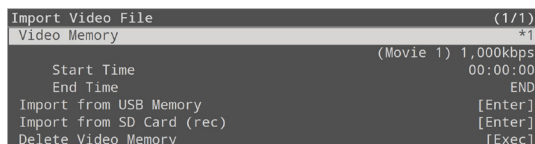
4. [MENU] ボタン → [Import] → [Import Video File] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



5. [Video Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して動画を保存するメモリー (1 ~ 8) を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
動画があるメモリー番号には、[*] マークが表示されます。

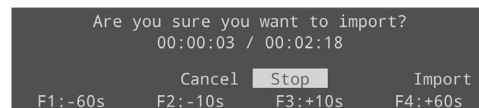
7. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Import from USB Memory] または [Import from SD Card (rec)] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

動画が一覧表示されます。



8. [VALUE/CURSOR] つまみを回してインポートする動画を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、[Cancel] を選びます。

- [Preview] を選ぶと、動画の確認ができます。動画は HDMI OUT PVW に出力されます。
再生中は、[F1] ~ [F4] つまみで動画をスキップさせることができます。

[F1] :-60s	60 秒前にスキップ
[F2] :-10s	10 秒前にスキップ
[F3] :+10s	10 秒後にスキップ
[F4] :+60s	60 秒後にスキップ

- 動画の音声は Audio Input の PLAYER/SRT In チャンネルに送られます。PLAYER/SRT In チャンネルの MAIN Mute や Monitor Mute (P.32) が [On] のときは、音声は出力されません。

9. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

インポートが完了すると、[Completed] と表示されます。

■Start Time、End Time

インポート完了後は、インポートした動画の再生開始/終了ポイントを設定することができます。

10. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Start Time] または [End Time] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
11. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
12. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

[STILL 1] ボタンの映像ソースを動画にする

1. [MENU] ボタン → 「Video Input」 → 「STILL 1/SRT In」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

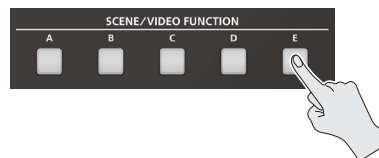
STILL 1/SRT In	(1/2)
SRT In	Disable
Type	Still
Still Memory	1
Zoom	100.0%
Scaling Type	Full
Manual Size H	0
Manual Size V	0

2. 「Type」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Video Player」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

動画の再生／停止

1. [STILL 1] ボタンを押す。
2. 「Video Player」を割り当てた VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンを押す。

ボタンが点滅し、動画が再生されます。



3. 動画の再生を停止させるときは、もう一度同じボタンを押す。

VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる

[STILL 1] ボタンに割り当てた動画の再生／停止は、動画の再生／停止の機能を割り当てた VIDEO FUNCTION ボタンを使います。

1. [MENU] ボタン → 「Scene/Video Function」 → 「Scene/Video Function A ～ E」 → 「Mode」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Scene/Video Function A	(1/3)
Mode	Scene
Type	PinP
LED Color	Red
Background Ch	HDMI IN 1

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Video Function」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Type」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Video Player」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Scene/Video Function A	(1/1)
Mode	Video Function
Type	Video Player
LED Color	Red
Video Memory	1
Repeat	On

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Video Memory	再生する動画のメモリー番号を選びます。
Repeat	リピート再生のオン／オフを設定します。

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

静止画をキャプチャーする

[STILL 2] ボタンに割り当てる静止画を、HDMI IN 1 ～ 2、STILL 1 / SRT In の映像ソースからキャプチャーします。

注意

- キャプチャー中は、すべての音声が始まります。
- 入力映像のフォーマットによっては、キャプチャーの完了までに時間がかかります。

1. [MENU] ボタン → [Import] → [Input Capture] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Capture Source] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してキャプチャー対象の映像ソースを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値

HDMI IN 1、HDMI IN 2、STILL 1/SRT In

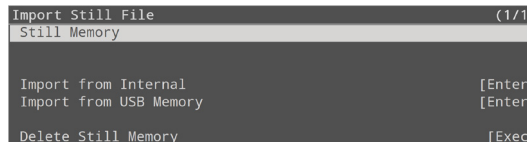
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Exec] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
キャプチャーが完了すると、「Capture completed.」と表示されます。
5. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、メッセージを閉じる。
6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

VIDEO FUNCTION ボタンに、静止画キャプチャーの機能を割り当てることができます。
詳しくは「VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる」(P.25)をご覧ください。

静止画／動画を削除する

静止画を削除する

1. [MENU] ボタン → [Import] → [Import Still File] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

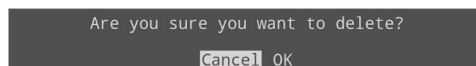


2. [Still Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して静止画を削除するメモリー (1 ～ 8) を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

静止画があるメモリーの番号には、「*」マークが表示されます。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Delete Still Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

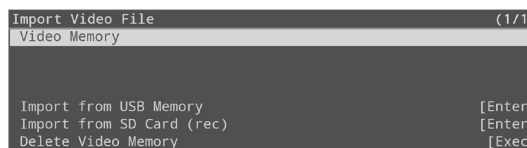
5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

削除が完了すると、「Completed」と表示されます。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

動画を削除する

1. [MENU] ボタン → [Import] → [Import Video File] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



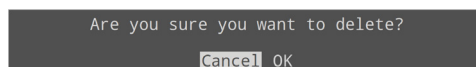
2. [Video Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して動画を削除するメモリー (1 ～ 8) を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

動画があるメモリーの番号には、「*」マークが表示されます。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Delete Video Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

削除が完了すると、「Completed」と表示されます。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

SRT 映像を使う

SR-20HD は、SRT 映像の入力に対応しています。ネットワーク経由で送られてきた SRT 映像を SR-20HD に入力し、映像の 1 つとして扱うことができます。

ここでは、LAN 接続された SRT 映像出力機器を例に、接続方法と SRT 入力の手順を説明します。

※ [MENU] ボタン→ [System] → [Stream/Rec Mode] が [Standard] または [SRT In Only] の場合に、SRT 受信機能を使うことができます。

※ SRT 映像は INPUT [STILL 1] ボタンに割り当てられます。

※ SRT 映像を入力するときは、静止画、動画、USB VIDEO IN は使用できません。

必要なネットワーク環境



LAN 接続



SR-20HD

※ ネットワーク経由で映像を入力するには、IP アドレス/サブネット・マスク/デフォルト・ゲートウェイの設定が必要です。

これらの設定は、通常 DHCP サーバーから取得され、割り当てられます。

SRT 対応機器を接続して SRT 映像を入力する

SRT は、映像信号の向きにかかわらず、送信機器と受信機器どちらからも接続することができます。

接続の待ち受け側を Listener モード、接続する側を Caller モードと呼び、機器によって片方または両方のモードに対応しています。

SR-20HD では Listener モード、Caller モードの両方に対応しています。

Caller モードで接続する

Caller モードでは、送信機器の設定に合わせた受信側 (SR-20HD) の設定をします。

SR-20HD から送信機器へ SRT 接続し、SR-20HD に映像を入力します。

1. 送信機器の SRT モードを Listener モードに設定し、その他の設定項目を入力する。

※ 設定や操作方法については、送信機器の取扱説明書をご覧ください。

2. [MENU] ボタン→ [Video Input] → [STILL 1/SRT In] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

STILL 1/SRT In	(3/4)
SRT In	Enable
Mode	Caller
Remote IP Address	0 . 0 . 0 . 0
Remote Port	5000
Latency	80ms

3. [VALUE/CURSOR] つまみで以下のように設定する。

パラメーター	説明
SRT In	Enable
Mode	Caller
Remote IP Address	SRT 送信機器の IP アドレスを設定します。
Remote Port	SRT 送信機器のポート番号を設定します。
Latency	SRT の再送用バッファの長さ (遅延時間) を設定します。受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。必要に応じて設定してください。
Stream ID	送信側でストリーム ID が設定されている場合は、送信側と同じストリーム ID を設定します。 ※ 送信側と受信側でストリーム ID が一致しないと、映像の送受信はできません。
Passphrase	送信側で暗号化の設定がされている場合は、送信側と同じパスフレーズを設定します。 ※ 送信側と受信側でパスフレーズが一致しないと、映像の送受信はできません。

Web アプリを使って設定することもできます。

Web アプリを使用する場合は、あらかじめ SR-20HD をインターネットに接続しておきます。

1. [VALUE/CURSOR] つまみで [Use Web App] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。

2. パソコンまたはスマートフォンで、表示された URL を開く。

3. パソコンまたはスマートフォンで項目を設定して、[SUBMIT] ボタンを押す。

SR-20HD に設定が反映されます。

4. 送信機器を SRT の待ち受け状態にする。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Start/Stop] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Start] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

7. INPUT [STILL 1] を押す。

送信側から送られてきた映像が表示されます。

Listener モードで接続する

Listener モードでは、SR-20HD で SRT 接続の待ち受け設定をします。
送信機器から SR-20HD へ SRT 接続し、SR-20HD に映像を入力します。

1. [MENU] ボタン → [Video Input] → [STILL 1/SRT In] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみで以下のように設定する。

パラメーター	説明
SRT In	Enable
Mode	Listener
Local Port	SRT 接続に使用するポート番号を設定します。
Latency	SRT の再送用バッファの長さ（遅延時間）を設定します。受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。 必要に応じて設定してください。
Passphrase	送信側で暗号化の設定がされている場合は、送信側と同じパスフレーズを設定します。 ※ 送信側と受信側でパスフレーズが一致しないと、映像の送受信はできません。

※ Listener モードでは、「Stream ID」の設定は必要ありません。

Web アプリを使って設定することもできます。

Web アプリを使用する場合は、あらかじめ SR-20HD をインターネットに接続しておきます。

1. [VALUE/CURSOR] つまみで「Use Web App」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。
2. パソコンまたはスマートフォンで、表示された URL を開く。
3. パソコンまたはスマートフォンで項目を設定して、[SUBMIT] ボタンを押す。
SR-20HD に設定が反映されます。

3. 送信機器の SRT モードを Caller モードに設定する。

※ 設定や操作方法については、送信機器の取扱説明書をご覧ください。

4. 手順 2 の設定をもとに、送信機器の Caller モードの設定をする。

※ 送信機器に設定する IP アドレスは、[MENU] ボタン → [Network] → [Network Information] で確認します。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Start/Stop] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Start] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

SRT 接続の待ち受け状態になります。

7. 送信機器で接続操作をする。

[STILL 1] ボタンを押すと、送信側から送られてきた映像が表示されます。

SRT 接続を停止する

SRT 接続は、送信側と受信側のどちらからも停止することができます。
SR-20HD から停止するときは、以下の操作をします。

1. [MENU] ボタン → [Video Input] → [STILL 1/SRT In] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Start/Stop] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Stop] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

※ 送信機器から接続を停止する場合は、送信機器の取扱説明書をご覧ください。

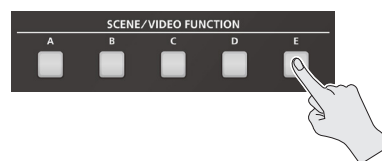
以下の方法で SRT 接続を開始／停止することもできます。

1. [SETUP] ボタンを何度か押して、「Player/SRT In」を表示させる。
ボタンを押すたびに、表示対象のチャンネルが切り替わります。
2. [F4] つまみを押して、SRT 接続を開始／停止する。
パラメーター・エリアに接続状況が表示されます。



VIDEO FUNCTION ボタンを使う

VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンに、映像関連の機能を割り当てて使うことができます。



VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる

1. [MENU] ボタン → [Scene/Video Function] → [Scene/Video Function A ～ E] → [Mode] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Video Function] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Type] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



4. [VALUE/CURSOR] つまみを回してボタンに割り当てたい機能を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値	説明
Video Player	STILL 1 で、動画を再生／停止します。
USB VIDEO IN	STILL 1 で、USB VIDEO IN に入力された映像または音声を使います。
Still	STILL 1 で、指定した静止画を表示します。
Prev Still	STILL 1 で、1 つ前の静止画を表示します。
Next Still	STILL 1 で、次の静止画を表示します。
Safety Image	セーフティー・ディレイ機能 (P.47) により、配信映像を静止画に切り替え、配信音声をミュートします。
Input Capture	静止画をキャプチャーして、STILL 2 に静止画を割り当てます。
Save Still	配信／録画ソースを静止画としてキャプチャーし、SD カードに JPEG ファイルとして保存します。 ※ Save Still が実行できるのは、配信／録画中のみです。
Output Fade	メイン出力映像をフェード・イン／アウトします。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

※ 機能 (Type) 別に設定するメニュー項目については、メニュー一覧の「Scene/Video Function」(P.55) をご覧ください。

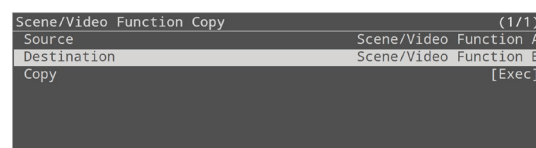
6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

Video Function をコピーする

Video Function の設定を、別の Video Function にコピーします。

1. [MENU] ボタン → [Scene/Video Function] → [Scene/Video Function Copy] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Scene/Video Function Copy メニューが表示されます。



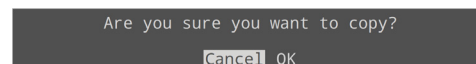
2. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Source	コピー元の Video Function を設定します。
Destination	コピー先の Video Function を設定します。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してコピー元／コピー先の Video Function を設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Copy] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メイン出力映像をフェード・イン／アウトさせる

メイン出力映像から黒／白画面へフェード・アウト、または黒／白画面からメイン出力映像へフェード・インします。

映像を出力したくない場面で、黒／白画面にすることができます。

※ フェード・イン／アウトの効果は、HDMI OUT PVW 端子から出力される映像には反映されません。

1. [MENU] ボタン → 「Transition」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Transition メニューが表示されます。

Transition (1/1)	
Scene Transition	Mix Fade
Time	1.0sec
Output Fade	
Off Color	Black
Audio Fade	On
PGM Direct	On

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Time	フェード・イン／アウトにかかる時間を設定します。 ※ シーンや映像の切り替え時間にも、この設定が適用されます。
Off Color	メイン出力映像をフェード・イン／アウトするときの背景色（黒または白）を設定します。
Audio Fade	Off 映像のみをフェード・イン／アウトします。 On 映像と音声を、同時にフェード・イン／アウトします。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

VIDEO FUNCTION ボタンに、フェード・イン／アウトの機能を割り当てることができます。

詳しくは「VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる」(P.25)をご覧ください。

選んだ映像をすぐに最終出力する (PGM ダイレクト)

PGM ダイレクト機能を使うと、選んだ映像をすぐに最終出力させることができます。

1. [MENU] ボタン → 「Transition」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Transition メニューが表示されます。

Transition (1/1)	
Scene Transition	Mix Fade
Time	1.0sec
Output Fade	
Off Color	Black
Audio Fade	On
PGM Direct	On

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「PGM Direct」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Transition (1/1)	
Scene Transition	Mix Fade
Time	1.0sec
Output Fade	
Off Color	Black
Audio Fade	On
PGM Direct	On

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「On」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

PGM Direct が「On」のとき

- 選んだ映像をすぐに最終出力します。
- INPUT [HDMI IN 1] ～ [STILL 2] ボタンの映像や SCENE [A] ～ [E] ボタンに登録されたシーンを選ぶと、Transition の Time で設定した時間が経過したあとで、出力映像（配信、録画ソース）が切り替わります。

PGM Direct が「Off」のとき

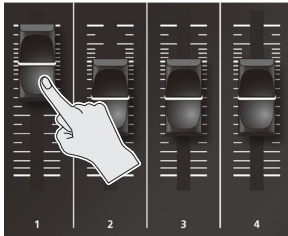
- オート・スイッチング機能 (P.12) を利用することができなくなり、[AUTO SW/TAKE] ボタンは [TAKE] ボタンとして、最終出力を切り替えます。
- INPUT [HDMI IN 1] ～ [STILL 2] ボタンの場合、次に出力される映像を PVW（プレビュー映像）で確認してから [TAKE] ボタンを押すと、Transition の Time で設定した時間が経過したあとで出力映像（配信、録画ソース）が切り替わります。
- SCENE [A] ～ [E] ボタンに登録されたシーンの場合、Transition の Time で設定した時間が経過したあとで出力映像（配信、録画ソース）が切り替わります。

音声の操作

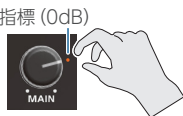
マイクの入力ゲイン（感度）を調節する

マイク音声に適正なレベルになるように、入力ゲインを調整します。

1. 入力ゲインを調節する [1] ～ [4] フェーダーを、
「太線」 (0dB) 付近に合わせます。



2. [MAIN] つまみを、指標 (0dB) 付近
に合わせます。



3. [MENU] ボタン → [Audio Input] → [AUDIO IN 1 ～ 4]
→ [Analog Gain] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみ
を押す。



4. [VALUE/CURSOR] つまみを反時計方向いっぱいに戻し
て、入力ゲインを最小に絞る。

5. 実際に入力する音声を出しながら [VALUE/CURSOR] つま
みを時計方向にゆっくり回して、入力ゲインを調節する。

最も大きな声量のときに、SIG/PEAK インジケーターが赤点灯しない範囲で、入力ゲインをできるだけ上げます。

6. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、設定を決定する。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

■ SIG/PEAK インジケーター表示

消灯	-51dB 以下
緑点灯	-50 ～ -21dB
黄点灯	-20 ～ -1dB
赤点灯	0dB 以上 (音量過大)

■ マイクの定位 (パン) 調整

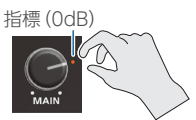
音声の左右の位置を定位 (パン) といいます。複数のマイクを使って演奏会の様子を配信するときなど、定位を左右に振ることで、音に広がりを持たせることができます。

[MENU] ボタン → [Audio Input] → [AUDIO IN 1 ～ 4] → [Pan] を調整します。

音量バランスを調整する

各入力の音量バランスと全体の音量を調整します。

1. [MAIN] つまみを、指標 (0dB) 付近
に合わせます。



2. スピーカーやヘッドホンで音声を聴きながら、各入力の音
量バランスを調整します。

たとえば、司会者用のマイクなど、強調したい音声の音量は上げて、他の音声の音量は下げます。音声の入力がないときや使わない音声は、音量を最小 (-INFdB) に絞ります。



■ HDMI IN 1、HDMI IN 2

[HDMI IN 1]、[HDMI IN 2] フェーダーで、HDMI IN 1、2 端子からの入力音量を調節します。

■ LINE IN

[LINE IN] つまみで、LINE IN 端子からの入力音量を調節します。

■ USB AUDIO

[USB AUDIO] つまみで、USB VIDEO IN 端子に接続した機器から入力される USB オーディオの音量を調節します。

USB オーディオを使用する場合は、以下の設定をします。

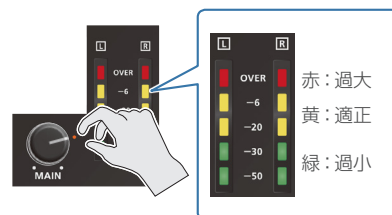
- [MENU] ボタン → [System] → [USB VIDEO IN Mode] を
「Audio Only」に設定します。
- [MENU] ボタン → [Video Input] → [STILL 1/SRT In] → [Type]
を「USB VIDEO IN」に設定します。

■ PLAYER/SRT In

[PLAYER] つまみで、SD カードにあるオーディオ・ファイル (WAV) や動画ファイル (MP4) や SRT 入力の音声の再生音量を調節します。

3. [MAIN] つまみで、メイン出力の音量を調節する。

レベル・メーターが黄点灯する程度が適正です。



音量の調節に便利なテスト・トーンを出力することができます。

[MENU] ボタン → [Audio Output] → [Test Tone] で、出力するテスト・トーンの種類を選びます。

入出力チャンネルのパラメーターを設定する

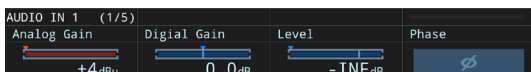
ディスプレイのパラメーター・エリアに、入出力チャンネルのパラメーターを表示させて設定します。

AUDIO IN 1 ～ HDMI IN 2 のパラメーター

1. AUDIO IN 1 ～ 4、HDMI IN 1 ～ 2 の [SETUP] ボタンを押す。



押したチャンネルのパラメーターが、パラメーター・エリアに表示されます。



2. [VALUE/CURSOR] を回して、ページを切り替える。



3. [F1] ～ [F4] つまみを回して設定値を変更し、[F1] ～ [F4] つまみを押す。



その他のチャンネルのパラメーター

1. [SETUP] ボタンを押す。



ボタンを押すたびに、表示対象のチャンネルが切り替わります。

LINE IN → USB AUDIO → PLAYER/SRT In →
HEADSET Mic → MAIN → Monitor → LINE IN → ...

2. [VALUE/CURSOR] を回して、ページを切り替える。
3. [F1] ～ [F4] つまみを回して設定値を変更し、[F1] ～ [F4] つまみを押す。

- パラメーター・エリアに表示させたいチャンネル／パラメーターに切り替える機能を、AUDIO FUNCTION ボタンに割り当てることができます。
[MENU] ボタン → 「Audio Function」 → 「Audio Function 1 ～ 5」で表示させたいパラメーターを設定してから、「Display Target」で表示させたいチャンネルを設定します。
- 入出力チャンネルのパラメーターは、メニューでも設定することができます。
[MENU] ボタン → 「Audio Input」 「Audio Output」 で設定します。

パラメーター・エリアに表示されるパラメーター

ページ チャンネル	1/5				2/5				3/5				4/5				5/5			
	Analog Gain	Digital Gain	Level	Phase	Main Mute	Monitor Mute	Rec Send	Pan	HPF 75Hz		GATE	COMPRESSOR	EQ	EQ Mid Gain	EQ Mid Freq	EQ Mid Q	EQ Low Gain	EQ Low Freq	EQ High Gain	EQ Hi Freq
AUDIO IN 1 ～ 4	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
LINE IN		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
USB AUDIO		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HEADSET Mic	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

ページ チャンネル	1/4				2/4				3/4				4/4			
	Analog Gain	Digital Gain	Level	Phase	Main Mute	Monitor Mute	Rec Send	Delay	EQ	EQ Mid Gain	EQ Mid Freq	EQ Mid Q	EQ Low Gain	EQ Low Freq	EQ High Gain	EQ Hi Freq
HDMI IN 1、2		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
PLAYER/SRT In		✓	✓		✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

ページ チャンネル	1/3				2/3				3/3			
	Level	Mute	LIMITER	Delay	EQ	EQ Mid Gain	EQ Mid Freq	EQ Mid Q	EQ Low Gain	EQ Low Freq	EQ High Gain	EQ Hi Freq
Main	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Monitor	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

入力音声にエフェクトをかける

入力音声にエフェクトをかけて、音質を調整します。使えるエフェクトは下表のとおりです。

入力音声	エフェクト			
	ハイパス・フィルター	ゲート	コンプレッサー	イコライザー
AUDIO IN 1 ～ 4	○	○	○	○
LINE IN	○	—	—	○
HEADSET Mic	○	○	○	○
HDMI IN 1、2	—	—	—	○
PLAYER/SRT In	—	—	—	○
USB AUDIO	—	○	○	○

AUDIO IN 1 ～ 4 では、エフェクト・プリセットを使うことができます。詳しくは、「ロード・プリセットを使う」(P.31) をご覧ください。

1. [MENU] ボタン → [Audio Input] → [AUDIO IN 1] ～ [PLAYER/SRT In] → エフェクトのメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



※ エフェクトの詳細については、次項をご覧ください。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

ハイパス・フィルター (HPF 75Hz)

不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、75Hz です。

メニュー項目	説明
HPF 75Hz	ハイパス・フィルターのオン／オフを設定します。

ゲート (Gate)

設定した基準レベル以下の音声を除去します。

残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。

メニュー項目	説明
Gate	ゲートのオン／オフを設定します。
Threshold	音声を除去するときの、基準レベルを設定します。
Release	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに音声が減衰しきるまでの時間を調節します。

コンプレッサー (Compressor)

設定した基準レベルを超える音声を圧縮します。

最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声聞き取りやすくなります。

メニュー項目	説明
Compressor	コンプレッサーのオン／オフを設定します。
Threshold	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。
Ratio	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。
Attack	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかかる時間を設定します。
Release	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに圧縮をやめるまでの時間を調節します。
Makeup Gain	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。

イコライザー (EQ)

帯域ごとに音質を調整します。

メニュー項目	説明
EQ	イコライザーのオン／オフを設定します。
Mid Gain	中域を増幅／減衰します。
Mid Freq	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	中域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調整します。
Lo Gain	低域を増幅／減衰します。
Lo Freq	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	高域を増幅／減衰します。
Hi Freq	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

ロード・プリセットを使う

SR-20HD には、マイク用のプリセットが用意されています。プリセットを選ぶだけで、目的に応じたエフェクトを簡単に適用することができます。

プリセットは、ゲイン／イコライザー／ハイパス・フィルターを組み合わせて作られています。

※ プリセットを変更すると、各エフェクトの設定が上書きされます。

1. [MENU] ボタン → [Audio Input] → [AUDIO IN 1 ~ 4] → [Load Preset] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

プリセット・リストが表示されます。

LOAD PRESET (AUDIO IN 1)	(1/1)
Line Level +4dBu	[Load]
Line Level -10dBu	[Load]
Condenser Mic Speech	[Load]
Condenser Mic Vocal	[Load]
Dynamic Mic Speech	[Load]
Dynamic Mic Vocal	[Load]

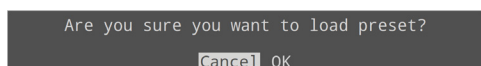
2. [VALUE/CURSOR] つまみを回してプリセットを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値	説明
Line Level +4dBu	既定入力レベルが +4dBu の、何も効果かけないフラットな設定です。
Line Level -10dBu	既定入力レベルが -10dBu の、何も効果かけないフラットな設定です。
Condenser Mic Speech	コンデンサー・マイク用のエフェクトで、話し声を聞き取りやすくします。
Condenser Mic Vocal	コンデンサー・マイク用のエフェクトで、歌声を際立たせるようにします。
Dynamic Mic Speech	ダイナミック・マイク用のエフェクトで、話し声を聞き取りやすくします。
Dynamic Mic Vocal	ダイナミック・マイク用のエフェクトで、歌声を際立たせるようにします。

注意

コンデンサー・マイク用のプリセットを読み込んでも、ファンタム電源はオンになりません。ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使うときは、「Phantom +48V」を「On」に設定して、ファンタム電源をオンにしてください。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
プリセットが読み込まれます。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、メッセージを閉じる。
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

出力音声にエフェクトをかける

出力音声にエフェクトをかけて、音質を調整します。

1. [MENU] ボタン → [Audio Output] → [MAIN Bus] または [Monitor Bus] → エフェクトのメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

MAIN Bus	(1/3)
Level	-10dB
Mute	Off
Limiter	Off
Threshold	-6dB
Delay	0.0ms (0.0frame)

※ エフェクトの詳細については、次項をご覧ください。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

リミッター (Limiter)

ミックスされる音声を設定した基準レベルを超えないように音声を圧縮します。

※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。

メニュー項目	説明
Limiter	リミッターのオン／オフを設定します。
Threshold	リミッターがかかる基準レベルを設定します。

イコライザー (EQ)

帯域ごとに音質を調整します。

メニュー項目	説明
EQ	イコライザーのオン／オフを設定します。
Mid Gain	中域を増幅／減衰します。
Mid Freq	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	中域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調整します。
Lo Gain	低域を増幅／減衰します。
Lo Freq	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	高域を増幅／減衰します。
Hi Freq	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調整します。

映像と音声のズレを補正する（ディレイ）

映像と音声にズレが発生したときに、音声を遅らせて出力することで、映像と音声の出力タイミングを調節します。

1. [MENU] ボタン → [Audio Input] → [Analog Mix] ~ [HDMI IN 2] → [Delay] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して入力音声の遅延時間を調節し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

MAIN バス (P.33) では、出力する音声の遅延時間を調節することができます。

[MENU] ボタン → [Audio Output] → [MAIN Bus] → [Delay] を調節します。

特定の音声だけを消音する（ミュート）

特定の入力音声や出力音声を、一時的に消音します（ミュート機能）。

入力音声をミュートする

1. [MENU] ボタン → [Audio Input] → [AUDIO IN 1] ~ [USB AUDIO] → ミュートのメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



メニュー項目	説明
MAIN Mute	「On」にすると、MAIN バスに送る音声をミュートします。
Monitor Mute	「On」にすると、Monitor バスに送る音声をミュートします。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

Monitor Mute の前段には、MAIN Mute とフェーダーがあります。MAIN Mute が「On」またはフェーダーで音量が絞られていると、Monitor バスに音声は送られません。

出力音声をミュートする

メイン出力（MAIN バス）や Monitor バスの音声をミュートします。

1. [MENU] ボタン → [Audio Output] → [MAIN Bus] または [Monitor Bus] → [Mute] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「On」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

AUDIO FUNCTION ボタンにミュート機能を割り当てて、オン/オフを切り替えることができます。

[MENU] ボタン → [Audio Function] → [Audio Function 1 ~ 5] → [Assign] を「Display Mute」に設定します。

出力端子に音声バスを割り当てる

SR-20HD には、4 種類の音声バスがあります。出力端子ごとに任意のバスを割り当てることができます。

MAIN バス

すべての入力音声をミックスして出力します。メイン出力と同一の音声です。

Monitor バス

主にヘッドホンで音声をモニターするときに使用します。

他のバスの音声をヘッドホンで聞くこともできます。

Monitor バスへ送る音声は、MAIN バスに送る音声（MAIN Mute / Audio Follows Video / フェーダー / Auto Mixing / Pan を通ったあとの音）と同じです。

Monitor バスに送るかどうかを、各音声入力の Monitor Mute (P.32) で設定することができます。

※ MAIN Mute (P.32) が「On」になっていたリフェーダーで音量を絞っていたりすると、Monitor バスに音声は送られません。

REC バス

主に Audio REC (WAV 録音) のソースとして使用します。

Monitor バスへは、MAIN Mute / フェーダーを通る前の音声がかかります。

MAIN Mute が「On」になっていたリフェーダーで音量を絞っていたりしても、音声を WAV ファイルに録音できます。

配信時の操作ミスがあったときでも、後編集で対応することが可能になります。

Test Tone

音量の調節に便利な、テスト・トーンの出力に使用します。

1. [MENU] ボタン → [Audio Output] → [Bus Select] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Bus Select (1/1)	
HDMI OUT MAIN	MAIN Bus
HDMI OUT PVW	MAIN Bus
LINE OUT	MAIN Bus
PHONES	Monitor Bus
VIDEO REC/STREAM	MAIN Bus
AUDIO REC	MAIN Bus

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して音声バスを割り当てる出力端子を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
HDMI OUT MAIN	HDMI OUT MAIN 端子に割り当てる音声バスを設定します。
HDMI OUT PVW	HDMI OUT PVW 端子に割り当てる音声バスを設定します。
LINE OUT	AUDIO OUT (LINE OUT) 端子に割り当てる音声バスを設定します。
PHONES	PHONES 端子に割り当てる音声バスを設定します。
VIDEO REC/STREAM	映像の配信／録画に使う音声バスを設定します。
AUDIO REC	音声の録音に使う音声バスを設定します。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して音声バスを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

- MAIN バスと Monitor バスの音声を調整することができます。
[MENU] ボタン → [Audio Output] → [MAIN Bus] または [Monitor Bus] で、各設定を変更します。
- 出力するテスト・トーンの種類を選ぶことができます。
[MENU] ボタン → [Audio Output] → [Test Tone] で、各設定を変更します。

映像の切り替えに音声の出力を連動させる（オーディオ・フォロー）

映像の切り替えに連動させて、音声の出力を自動的に切り替えます（オーディオ・フォロー機能）。

※ オート・スイッチング（P.12）の Type に「Video Follows Audio」が選ばれているときは、オーディオ・フォロー機能は無効になります。

1. [MENU] ボタン → 「Audio Follows Video」 → Audio Follow SW [HDMI IN 1] ～ [STILL 2] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Audio Follows Video (1/3)	
Audio Follow SW	
HDMI IN 1	On
HDMI IN 2	On
STILL 1/SRT In	On
STILL 2	On

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「On」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値	説明
On	HDMI 入力される映像と音声と一緒に切り替わります。
Off	入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

オーディオ・フォローの対象を追加する

HDMI IN 1 ～ STILL 2 以外の入力音声をオーディオ・フォローの対象にすることができます。

1. [MENU] ボタン → 「Audio Follows Video」 → 「Video Source Select」 でオーディオ・フォローの対象にする入力音声を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Audio Follows Video (2/3)	
Video Source Select	
AUDIO IN 1	Off
AUDIO IN 2	Off
AUDIO IN 3	Off
AUDIO IN 4	Off
LINE IN	Off
HEADSET Mic	Off

メニュー項目	説明
AUDIO IN 1 ～ 4	AUDIO IN 1 ～ 4 入力
LINE IN	LINE 入力
HEADSET Mic	ヘッドセットのマイク入力
HDMI IN 1, 2	HDMI IN 1, 2 入力
USB AUDIO	USB VIDEO IN 端子から入力される USB オーディオ
PLAYER/SRT In	SD カードにあるオーディオ・ファイル (WAV) や動画ファイル (MP4)、SRT 入力の音声

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「HDMI IN 1」～「STILL 2」のいずれかを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値	説明
HDMI IN 1～2、STILL 1/SRT In、STILL 2	各音声に対して、オーディオ・フォローを使う入力映像（HDMI IN 1 ～ STILL 2）を指定します。 指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。
Off	入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

音量を自動的に制御する（オート・ミキシング）

通常はオペレーターが操作する音量調整を、自動的に制御します（オート・ミキシング機能）。

音量調整の操作を SR-20HD に任せることができるため、専任のオペレーターがいない場面などで活用できます。

1. [MENU] ボタン → 「Auto Mixing」 → 「SW」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Auto Mixing (1/2)	
SW	Off
AUDIO IN 1	On
AUDIO IN 2	On
AUDIO IN 3	On
AUDIO IN 4	On
HEADSET Mic	On

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「On」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

オート・ミキシング機能がオンになります。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定の対象にする音声を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
AUDIO IN 1 ～ 4	AUDIO IN 1 ～ 4 入力
HEADSET Mic	ヘッドセットのマイク入力

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回してオート・ミキシングの対象（On）／非対象（Off）を設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

BGM など、オート・ミキシングが不要な音声は「Off」にします。

5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

音量配分の優先度を設定する

司会者用のマイクだけ音量を大きくしたいときなど、強調したい音声がある場合は、強調したい音声の優先度を上げて、他の音声の優先度を下げることができます。

エアコンなどのノイズが気になる場合は、優先度を低めに設定します。

1. [MENU] ボタン → 「Auto Mixing」 → 「Weight」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Auto Mixing (2/2)	
Weight	
AUDIO IN 1	100%
AUDIO IN 2	100%
AUDIO IN 3	100%
AUDIO IN 4	100%
HEADSET Mic	100%

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して音量配分の優先度（Weight）を設定する音声を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して音量配分の優先度を設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値
0 ～ 100%

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

オーディオ・ファイルを使う

本体内蔵のサンプル・ファイル、または USB メモリーに保存されているオーディオ・ファイル (.wav) を SD カードに読み込んで (インポート)、再生することができます。

ジングル／拍手などの効果音や BGM を再生して、配信や番組を楽しむ演出することができます。

注意

- SD カードを初めて使うときは、必ず SR-20HD でフォーマットしてください (P.7)。
- SD カード／USB メモリーによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。

再生できるオーディオ・ファイル

形式 (拡張子)	WAV (.wav)
サンプル・レート	44.1、48kHz
ビット数	16 ビット
チャンネル数	ステレオ (モノ非対応)
ファイル名	半角英数、拡張子を含め 32 文字以内

オーディオ・ファイルをインポートする

オーディオ・ファイルを、SD カードにインポートします。

USB メモリーからインポートする場合

1. USB メモリーのルート・ディレクトリにオーディオ・ファイルを保存する。
2. USB MEMORY 端子に、オーディオ・ファイルを保存した USB メモリーを接続する。

1. SD カードを挿す (P.7)。
2. [MENU] ボタン → [Import] → [Import Audio File] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



3. [Audio Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回してオーディオ・ファイルを保存するメモリー (1 ～ 8) を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

オーディオ・ファイルがあるメモリー番号には、[*] マークが表示されます。

サンプル・ファイルをインポートする場合

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Import from Internal] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

USB メモリーからインポートする場合

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Import from USB Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

オーディオ・ファイルが一覧表示されます。

Audio File List (1/1)			
Applause.wav	884KB	2020/11/09	15:14
BriskAfternoon.wav	1441KB	2020/11/09	15:14

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回してインポートするオーディオ・ファイルを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

Are you sure you want to import?
00:00:03 / 00:02:18

中止するときは、「Cancel」を選びます。

- 「Preview」を選ぶと、オーディオ・ファイルの試聴ができます。音声は、Audio Input の PLAYER/SRT In チャンネルに送られます。PLAYER/SRT In チャンネルの MAIN Mute や Monitor Mute (P.32) が「On」のときは、音声は出力されません。

7. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

インポートが完了すると、「Completed」と表示されます。

8. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

オーディオ・ファイルを再生する

オーディオ・ファイルの再生には、AUDIO FUNCTION ボタンを使います。

オーディオ・ファイルの再生／停止機能を、AUDIO FUNCTION ボタンに割り当てる必要があります。

AUDIO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる

1. [MENU] ボタン → [Audio Function] → [Audio Function 1 ～ 5] → [Assign] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Audio Player」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
SW Mode	AUDIO FUNCTION ボタンの動作を設定します。
	Momentary ボタンを押している間だけ、オーディオ・ファイルが再生されます。
	Latch ボタンを押すたびに、オーディオ・ファイルの再生／停止が切り替わります。
Audio Memory	再生するオーディオ・ファイルのメモリー番号 (1 ～ 8) を選びます。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

オーディオ・ファイルの再生／停止

1. オーディオ・ファイルの再生／停止機能を割り当てた AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンを押す。

ボタンが点滅し、音楽ファイルが再生されます。



※ 10ms（ミリ秒）以内の音楽ファイルは、正しく鳴らせないことがあります。

2. オーディオ・ファイルの再生を停止させるときは、もう一度同じボタンを押す。

- SW MODE が「Momentary」のときは、ボタンから指を離すと停止します。
- ループ再生をオフにしている場合、音楽ファイルの最後まで再生すると、自動的に停止します。

再生方法を設定する

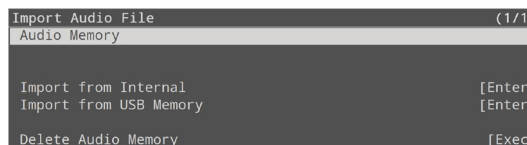
オーディオ・ファイルをループ再生させたり、フェード・イン／アウトさせたりすることができます。

[MENU] ボタン → [Audio Function] → [Audio Function 1 ～ 5] で「Audio Player」を選び、以下のメニュー項目を設定します。

メニュー項目	説明
Loop	ループ再生のオン／オフを設定します。
Level	オーディオ・ファイルの再生音量を調節します。
Fade In	オーディオ・ファイルのフェード・イン時間を設定します。
Fade Out	オーディオ・ファイルのフェード・アウト時間を設定します。

オーディオ・ファイルを削除する

1. [MENU] ボタン → [Import] → [Import Audio File] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



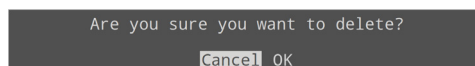
2. [Audio Memory] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してオーディオ・ファイルを削除するメモリー（1 ～ 8）を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

音声があるメモリーの番号には、[*] マークが表示されます。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Delete Audio Memory」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

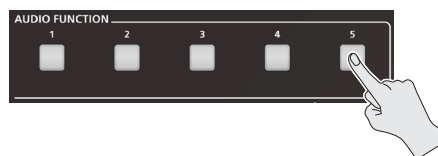
5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

削除が完了すると、「Completed」と表示されます。

6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

AUDIO FUNCTION ボタンを使う

AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンに、オーディオ関連の機能を割り当てて使うことができます。



AUDIO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる

1. [MENU] ボタン → [Audio Function] → [Audio Function 1 ～ 5] → [Assign] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回してボタンに割り当てたい機能を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値	説明
None	機能を割り当てません。
Auto Mixing	オート・ミキシング機能をオン／オフします。
Audio Player	オーディオ・ファイルを再生／停止します。
Display Analog Gain	Analog Gain 画面をパラメーター・エリアに表示させます。
Display Mute	Mute 画面をパラメーター・エリアに表示させます。
Display Delay	Delay 画面をパラメーター・エリアに表示させます。
Display Audio Setup	Audio Setup 画面をパラメーター・エリアに表示させます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

※ 機能別に設定するメニュー項目については、メニュー一覧の「Audio Function」(P.67) をご覧ください。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

Audio Function をコピーする

Audio Function の設定を、別の Audio Function にコピーします。

1. [MENU] ボタン → [Audio Function] → [Audio Function Copy] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Audio Function Copy メニューが表示されます。

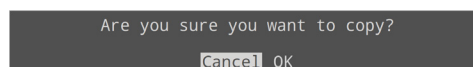


2. [VALUE/CURSOR] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

メニュー項目	説明
Source	コピー元の Audio Function を設定します。
Destination	コピー先の Audio Function を設定します。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してコピー元／コピー先の Audio Function を設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Copy」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

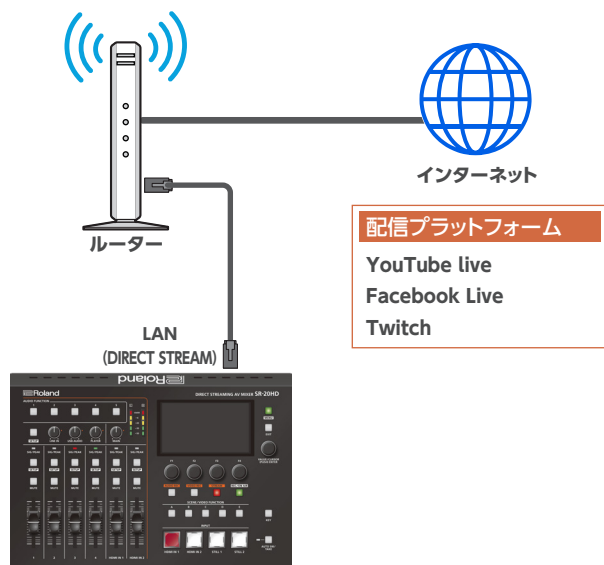


中止するときは、「Cancel」を選びます。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
6. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

ライブ配信をする前に

必要なネットワーク環境



DNS サーバーの設定を含むインターネット接続

- インターネットにアクセスするための、IP アドレス／サブネット・マスク／デフォルト・ゲートウェイの設定が必要です。
 - 配信サービスのサーバーにアクセスするために、サーバーのドメイン名と IP アドレスを変換する DNS サーバー（Domain Name System Server）への接続が必要です。
- ※ 上記設定は、通常 DHCP サーバーから取得され、割り当てられます。

継続的な TCP 通信

ライブ配信は、TCP を利用して RTMP または RTMPS プロトコルで送信されるため、遮断と制限のない、継続的な端末間通信が必要になります。

インターネット上のサーバーへ HTTPS 接続

Web アプリで配信の設定をするときは、インターネット上のサーバーへ HTTPS 接続する必要があります。

配信／録画モードの設定

ネットワーク環境や配信／録画する映像に合わせて、「Stream/Rec Mode」(P.71) を設定します。

モードには「Standard」と「High Quality」「SRT In Only」の 3 種類があり、以下のように対応しています。

		High Quality Mode Encode Only		SRT In Only Mode Decode SRT Only	Standard Mode Encode & Decode			
Parameter Setting	Streaming / Recording Format	1080p59.94/50 1080p29.27/25 720p59.94/50 720p29.97/25		-	1080p29.27/25 720p59.94/50 720p29.97/25			
	Target Video Bitrate	Up to 20,000 kbps		-	Up to 10,000 kbps			
	SRT In Enable	-		Enable	Disable		Enable	
	SRT Out Enable	Disable	Enable	-	Disable	Enable	Disable	Enable
2 x RTMP Streaming+Recording		✓	-	-	✓	-	✓	-
SRT Streaming+Recording		-	✓	-	-	✓	-	✓
InputSource	HDMI IN 1, HDMI IN 2, STILL 2		✓	✓	✓	✓		
	STILL 1/ SRT In	Still	✓	-	✓	-		
		USB VIDEO IN (UVC or UAC)	-	-	Max 720p29.97	-		
		Video Player	-	-	Max 1080p29.97 Up to 10,000 kbps	-		
		SRT In	-	Max 1080p60 Up to 20,000 kbps	-	Max 1080p30 Up to 10,000 kbps		

ライブ配信時の注意

インターネット回線の速度に応じた Video Bitrate (P.69) を設定してください。

[MENU] ボタン → [Stream] → [Video Bitrate]

Video Bitrate は、映像を圧縮（エンコード）するときのターゲット・ビットレートです。

複雑な映像などの場合は、設定値より 1.5 倍程度まで高いビットレートで配信されることがあります。

配信をスタートする前に、インターネット回線の上り方向のスピードを計測して、Video Bitrate の倍程度の帯域が確保できているかを確認しておくことをおすすめします。

Video Bitrate は、パラメーター・エリアで設定することもできます。
[STREAM] ボタンを押して、パラメーターを表示させます。

配信・録音・録画のスタート／ストップ

SR-20HD では、「配信」「録音」「録画」を同時にスタート／ストップします。個別にスタート／ストップさせることはできません。

※「配信」「録音」「録画」をするかどうかは、個別に設定することができます。

録画／録音される MP4 ファイル／WAV ファイルのファイル名には、開始時の日付と時刻が使用されます。

[MENU] ボタン → [System] → [Date & Time Settings] → [Time Zone] を設定することをおすすめします。

配信・録音・録画のオン／オフ

配信のオン／オフ

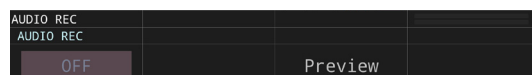
1. [MENU] ボタン → [Stream] → [Service RTMP 1、2] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して、配信するときはプラットフォームを、配信しないときは「Off」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

録音のオン／オフ

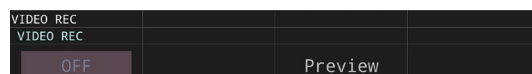
1. [AUDIO REC] ボタンを押す。
パラメーター・エリアに録音関連のパラメーターが表示されます。



2. [F1] (AUDIO REC) つまみを回して「ON」または「OFF」を選び、[F1] つまみを押す。

録画のオン／オフ

1. [VIDEO REC] ボタンを押す。
パラメーター・エリアに録画関連のパラメーターが表示されます。



2. [F1] (VIDEO REC) つまみを回して「ON」または「OFF」を選び、[F1] つまみを押す。

録音と録画のオン／オフは、メニューでも設定することができます。
[MENU] ボタン → [Record] → [AUDIO REC (WAV)] または [VIDEO REC (MP4)] を選びます。

YouTube Live で配信する

準備

- 事前に Google アカウントを作成しておいてください。
- SR-20HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、AUDIO REC と VIDEO REC をそれぞれ「On」に設定してください (P.39)。

1. [MENU] ボタン → [Stream] → [Service RTMP 1] または [Service RTMP 2] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [YouTube Live] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Use Web App] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



5. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザで、表示された URL のページを開く。
6. Google アカウントを選ぶ。
7. 以下の項目を設定する。

項目	説明
Title	配信タイトルを入力します。
Description	YouTube Live に表示する説明文を入力します。
Select privacy scope	配信を公開する範囲を選びます。
	Public 誰でも検索と視聴が可能
	Unlisted リンクを知っている人が視聴可能
Select latency Preference	レイテンシー設定を選びます。
	normal 通常の遅延
	low 低遅延
	ultralow 超低遅延

8. [CREATE BROADCAST AND GET STREAM KEY] をクリックする。
9. [SEND TO DEVICE] をクリックする。

送信が完了すると、「Success」とメッセージが表示されます。
SR-20HD に「URL」と「Stream Key」が反映されます。

10. [OK] をクリックする。

11. ページを閉じる。

12. [REC/ON AIR] ボタンを押す。

パラメーター・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート／ストップに関連するパラメーターが表示されます。



13. [F3] (STAND BY) または [F4] (ON AIR) つまみを押す。

配信がスタートします。

録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。

14. 配信を終了するときは、[F2] (STOP) つまみを押す。

「Are you sure you want to stop streaming?」と、メッセージが表示されます。

15. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

配信が終了します。

注意

- 取得したストリーム・キーには有効期限があるため、配信する前にストリーム・キーの取得が必要になります。
- ストリーム・キー取得時には「SELECT YOUR BROADCASTS」で、スケジュール設定済みのライブ配信を選ぶことができます。

[STAND BY] と [ON AIR]

STAND BY と ON AIR のどちらを選んでも、配信／録音／録画がスタートします。

STAND BY と ON AIR には、Audio Player、ビデオ入力選択、キー合成の状態を設定しておくことができますので、STAND BY (本番前) と ON AIR (本番) で配信の構成を変えることができます。

[MENU] ボタン → [Stream] → [STAND BY setting] [ON AIR setting] で設定します。

たとえば、STAND BY では静止画の表示と BGM のループ再生で本番前の待機状態にしておき、ON AIR では HDMI IN 1 からの映像を表示させながら効果音を再生し、LIVE ロゴをキー合成させて本番をスタートさせることができます。

Facebook Live で配信する

準備

- 事前に Facebook アカウントを作成しておいてください。
- SR-20HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、AUDIO REC と VIDEO REC をそれぞれ「On」に設定してください (P.39)。

1. [MENU] ボタン → [Stream] → [Service RTMP 1] または [Service RTMP 2] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Facebook Live] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Use Web App] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



5. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザで、表示された URL のページを開く。
6. Facebook にログインする。
7. 以下の項目を設定する。

項目	説明
Title	配信タイトルを入力します。
Description	Facebook Live に表示する説明文を入力します。
Select destination for live-streaming	配信先を選びます。
	Timeline 個人のタイムラインに配信します。
	Page Facebook ページに配信します。
Select privacy scope	配信を公開する範囲を選びます。
	SELF 本人のみ視聴可能
	ALL FRIENDS 友達のみ視聴可能
	EVERYONE 誰でも視聴可能

8. [SUBMIT TO DEVICE!] をクリックする。
送信が完了すると、「Success」とメッセージが表示されます。
SR-20HD に「URL」と「Stream Key」が反映されます。
9. [OK] をクリックする。
10. ページを閉じる。

11. [REC/ON AIR] ボタンを押す。

パラメーター・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート/ストップに関連するパラメーターが表示されます。



12. [F3] (STAND BY) または [F4] (ON AIR) つまみを押す。
配信がスタートします。
録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。

13. 配信を終了するときは、[F2] (STOP) つまみを押す。

「Are you sure you want to stop streaming?」と、メッセージが表示されます。

14. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

配信が終了します。

注意

- Facebook Live のストリーム・キーには有効期限があるため、配信する前にストリーム・キーの取得が必要になります。

[STAND BY] と [ON AIR]

STAND BY と ON AIR のどちらを選んでも、配信／録音／録画がスタートします。

STAND BY と ON AIR には、Audio Player、ビデオ入力選択、キー合成の状態を設定しておくことができるので、STAND BY (本番前) と ON AIR (本番) で配信の構成を変えることができます。

[MENU] ボタン → [Stream] → [STAND BY setting] [ON AIR setting] で設定します。

たとえば、STAND BY では静止画の表示と BGM のループ再生で本番前の待機状態にしておき、ON AIR では HDMI IN 1 からの映像を表示させながら効果音を再生し、LIVE ロゴをキー合成させて本番をスタートさせることができます。

Twitch で配信する

準備

- 事前に Twitch アカウントを作成しておいてください。
- SR-20HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、AUDIO REC と VIDEO REC をそれぞれ「On」に設定してください (P.39)。

1. [MENU] ボタン → [Stream] → [Service RTMP 1] または [Service RTMP 2] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Twitch」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Use Web App」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



5. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザで、表示された URL のページを開く。
6. Twitch にログインする。
7. [Select ingest server location] で、接続サーバーを選ぶ。

より安定した通信環境で配信できるように、お住まいに近い地域のサーバーを選びます。

※ どのサーバーを選んでも、配信はできます。

8. [SUBMIT TO DEVICE] をクリックする。
送信が完了すると、「Success」とメッセージが表示されます。
SR-20HD に「URL」と「Stream Key」が反映されます。

9. [OK] をクリックする。

10. ページを閉じる。

11. [REC/ON AIR] ボタンを押す。

パラメーター・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート／ストップに関連するパラメーターが表示されます。



12. [F3] (STAND BY) または [F4] (ON AIR) つまみを押す。

配信がスタートします。

録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。

13. 配信を終了するときは、[F2] (STOP) つまみを押す。

「Are you sure you want to stop streaming?」と、メッセージが表示されます。

14. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

配信が終了します。

[STAND BY] と [ON AIR]

STAND BY と ON AIR のどちらを選んでも、配信／録音／録画がスタートします。

STAND BY と ON AIR には、Audio Player、ビデオ入力選択、キー合成の状態を設定しておくことができるので、STAND BY（本番前）と ON AIR（本番）で配信の構成を変えることができます。

[MENU] ボタン → [Stream] → [STAND BY setting] [ON AIR setting] で設定します。

たとえば、STAND BY では静止画の表示と BGM のループ再生で本番前の待機状態にしておき、ON AIR では HDMI IN 1 からの映像を表示させながら効果音を再生し、LIVE ロゴをキー合成させて本番をスタートさせることができます。

カスタム設定で配信する

SR-20HD で選べるプラットフォームを使わずに、配信先をカスタムで設定することができます。

準備

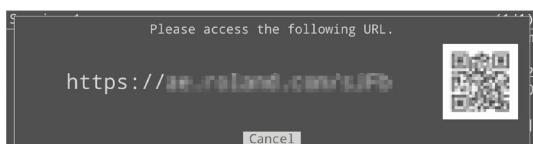
- SR-20HD をネットワーク機器に接続して、インターネットに接続できる状態にしてください。
- 録音／録画をするときは、AUDIO REC と VIDEO REC をそれぞれ「On」に設定してください (P.39)。

1. [MENU] ボタン → 「Stream」 → 「Service RTMP 1」または「Service RTMP 2」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Custom」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「Use Web App」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。



5. パソコンやスマートフォンのウェブ・ブラウザで、表示された URL のページを開く。
6. 「RTMP URL」と「Stream Key」を入力する。

メモ

- 「RTMP URL」と「Stream Key」は、使用する配信プラットフォームの WEB ページなどで確認することができます。
- USB CONTROL 端子に接続した USB キーボードを使って入力することができます。

7. [SUBMIT!] をクリックする。

送信が完了すると、「Success!」とメッセージが表示されます。

SR-20HD に「URL」と「Stream Key」が反映されます。

8. [OK] をクリックする。

9. ページを閉じる。

10. [REC/ON AIR] ボタンを押す。

パラメーター・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート/ストップに関連するパラメーターが表示されます。



11. [F3] (STAND BY) または [F4] (ON AIR) つまみを押す。

配信がスタートします。

録音／録画をオンにしているときは、配信のスタートと同時に録音／録画もスタートします。

12. 配信を終了するときは、[F2] (STOP) つまみを押す。

「Are you sure you want to stop streaming?」と、メッセージが表示されます。

13. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

配信が終了します。

[STAND BY] と [ON AIR]

STAND BY と ON AIR のどちらを選んでも、配信／録音／録画がスタートします。

STAND BY と ON AIR には、Audio Player、ビデオ入力選択、キー合成の状態を設定しておくことができるので、STAND BY (本番前) と ON AIR (本番) で配信の構成を変えることができます。

[MENU] ボタン → 「Stream」 → 「STAND BY setting」
「ON AIR setting」で設定します。

たとえば、STAND BY では静止画の表示と BGM のループ再生で本番前の待機状態にしておき、ON AIR では HDMI IN 1 からの映像を表示させながら効果音を再生し、LIVE ロゴをキー合成させて本番をスタートさせることができます。

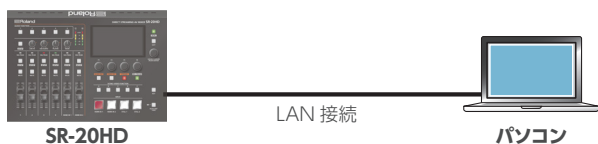
SRT で配信する

SR-20HD は、SRT 映像の出力に対応しています。ネットワーク接続された遠隔の SRT 対応機器へ SRT 映像を出力することができます。ここでは、LAN 接続された SRT 映像入力機器を例に、接続方法と SRT 出力の手順を説明します。

※ [MENU] ボタン→ [System] → [Stream/Rec Mode] が [Standard] または [High Quality] の場合に、SRT 送信機能を使うことができます。

※ SRT 映像を出力するときは、RTMP 配信できません。

必要なネットワーク環境



※ ネットワーク経由で映像を出力するには、IP アドレス／サブネット・マスク／デフォルト・ゲートウェイの設定が必要です。これらの設定は、通常 DHCP サーバーから取得され、割り当てられます。

SRT 対応機器を接続して SRT 映像を出力する

SRT は、映像信号の向きにかかわらず、送信機器と受信機器どちらからも接続することができます。

接続の待ち受け側を Listener モード、接続する側を Caller モードと呼び、機器によって片方または両方のモードに対応しています。

SR-20HD では Listener モード、Caller モードの両方に対応しています。

Caller モードで接続する

Caller モードでは、受信機器の設定に合わせた送信側（SR-20HD）の設定をします。

SR-20HD から受信機器へ SRT 接続し、SR-20HD から映像を出力します。

1. 受信機の SRT モードを Listener モードに設定し、その他の設定項目を入力する。

※ 設定や操作方法については、受信機器の取扱説明書をご覧ください。

2. [MENU] ボタン→ [Stream] → [SRT Out] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Enable] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Service SRT] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Service SRT (1/2)	
Mode	Caller
Remote IP Address	0 . 0 . 0 . 0
Remote Port	2000
Latency	80ms

5. [VALUE/CURSOR] つまみで以下のように設定する。

パラメーター	説明
Mode	Caller
Remote IP Address	SRT 受信機器の IP アドレスを設定します。
Remote Port	SRT 受信機器のポート番号を設定します。
Latency	SRT の再送信バッファの長さ（遅延時間）を設定します。受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。必要に応じて設定してください。
Stream ID	受信側でストリーム ID が設定されている場合は、受信側と同じストリーム ID を設定します。 ※ 送信側と受信側でストリーム ID が一致しないと、映像の送受信はできません。
Encryption	映像を暗号化する場合、暗号方式を設定します。受信側にも同じ暗号方式を設定します。 ※ 送信側と受信側で暗号方式が一致しないと、映像の送受信はできません。
Passphrase	映像を暗号化する場合に設定します。受信側にも同じパスフレーズを設定します。 ※ 送信側と受信側でパスフレーズが一致しないと、映像の送受信はできません。

Web アプリを使って設定することもできます。

Web アプリを使用する場合は、あらかじめ SR-20HD をインターネットに接続しておきます。

1. [VALUE/CURSOR] つまみで [Use Web App] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。

2. パソコンまたはスマートフォンで、表示された URL を開く。

3. パソコンまたはスマートフォンで項目を設定して、[SUBMIT] ボタンを押す。

SR-20HD に設定が反映されます。

6. 受信機器で SRT 接続の待ち受け状態にする。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

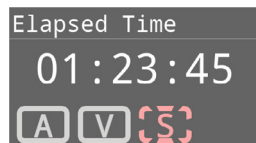
8. [REC/ON AIR] ボタンを押す。

パラメーター・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート／ストップに関連するパラメーターが表示されます。

9. [F3] (STAND BY) または [F4] (ON AIR) つまみを押す。

受信側で映像が表示されます。

GUI 画面で接続ステータスを確認することができます。



Listener モードで接続する

Listener モードでは、SR-20HD で SRT 接続の待ち受け設定をします。受信機器から SR-20HD へ SRT 接続し、SR-20HD から映像を出力します。

SR-20HD の Listener モードでは、最大 3 台の受信機器に SRT 映像を送信することができます。

1. [MENU] ボタン → [Stream] → [SRT Out] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Enable] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Service SRT] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



4. [VALUE/CURSOR] つまみで以下のように設定する。

パラメーター	説明
Mode	Listener
Local Port	SRT 接続の待ち受けに使用するポート番号を設定します。
Latency	SRT の再送用バッファの長さ（遅延時間）を設定します。受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。 必要に応じて設定してください。
Encryption	映像を暗号化する場合は、暗号方式を設定します。受信側にも同じ暗号方式を設定します。 ※ 送信側と受信側で暗号方式が一致しないと、映像の送受信はできません。
Passphrase	暗号方式を設定したときに、パスフレーズを設定します。受信側にも同じパスフレーズを設定します。 ※ 送信側と受信側でパスフレーズが一致しないと、映像の送受信はできません。

※ Listener モードでは、「Stream ID」の設定は必要ありません。

Web アプリを使って設定することもできます。

Web アプリを使用する場合は、あらかじめ SR-20HD をインターネットに接続しておきます。

1. [VALUE/CURSOR] つまみで「Use Web App」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
Web アプリの短縮 URL と QR コードが表示されます。
2. パソコンまたはスマートフォンで、表示された URL を開く。
3. パソコンまたはスマートフォンで項目を設定して、[SUBMIT] ボタンを押す。
SR-20HD に設定が反映されます。

5. 受信機器の SRT モードを Caller モードに設定する。

※ 設定や操作方法については、受信機器の取扱説明書をご覧ください。

6. 手順 4 の設定をもとに、受信機器の Caller モードの設定をする。

※ 受信機器に設定する IP アドレスは、[MENU] ボタン → [Network] → [Network Information] で確認します。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

8. [REC/ON AIR] ボタンを押す。

パラメーター・エリアに、「配信」「録音」「録画」のスタート/ストップに関連するパラメーターが表示されます。

9. [F3] (STAND BY) または [F4] (ON AIR) つまみを押す。

SRT 接続の待ち受け状態になります。

10. 受信機器で接続操作をする。

受信側で映像が表示されます。

GUI 画面で接続ステータスを確認することができます。



SRT 接続を停止する

SRT 接続は、送信側と受信側のどちらからも停止することができます。SR-20HD から停止するときは、以下の操作をします。

1. メニューが表示されている場合は、[MENU] ボタンを押してメニューを閉じる。
2. [F2] (STOP) つまみを押す。
「Are you sure you want to stop streaming?」と、メッセージが表示されます。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [OK] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

※ 受信機器から接続を停止する場合は、受信機器の取扱説明書をご覧ください。

テザリング

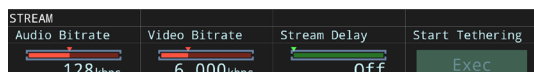
スマートフォンを接続して、テザリングをします。



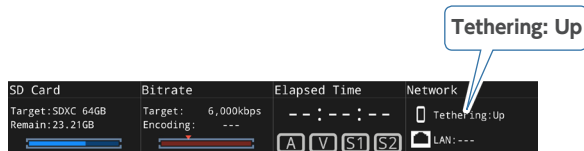
iPhone の場合

1. iPhone 付属の Lightning-USB A ケーブルで、iPhone を SR-20HD の USB CONTROL 端子に接続する。
2. iPhone で「設定」→「インターネット共有」を選び、「ほかの人の接続を許可」をオンにする。
3. 「このコンピューターを信頼しますか?」とメッセージが表示されたら、「信頼」をタップする。
4. 「このコンピューターを信頼するにはデバイスのパスコードを入力」とメッセージが表示されたら、パスコードを入力する。
5. SR-20HD の [STREAM] ボタンを押す。

パラメーター・エリアに、配信関連のパラメーターが表示されます。



6. [F4] つまみを押して、「Start Tethering」を実行させます。
ステータス・エリアの Network 表示が、「Tethering: ---」から「Tethering: Up」に変わったら、iPhone のモバイル回線を利用できます。



7. テザリングをストップさせるときは、もう一度 [F4] つまみを押して、「Stop Tethering」を実行させます。

テザリングのスタート/ストップは、メニューでも操作することができます。

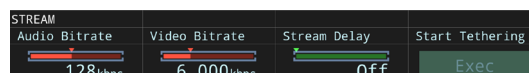
[MENU] ボタン → 「Network」 → 「Start Tethering」または「Stop Tethering」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押します。

Android 機器の場合

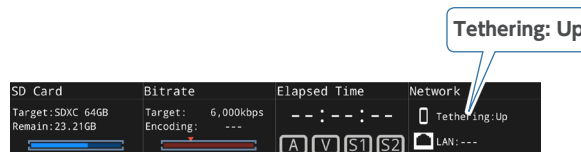
注意

スマートフォンの機種によっては、操作方法が異なる場合があります。お使いになる機器の取扱説明書で確認してください。

1. USB ケーブルで、スマートフォンを SR-20HD の USB CONTROL 端子に接続する。
スマートフォンの画面上部に通知が表示されます。
2. スマートフォンで、「設定」→「ネットワークとインターネット」→「アクセスポイントとテザリング」を選ぶ。
3. 「USB テザリング」をオンにする。
4. SR-20HD の [STREAM] ボタンを押す。
パラメーター・エリアに、配信関連のパラメーターが表示されます。



5. [F4] つまみを押して、「Start Tethering」を実行します。
ステータス・エリアの Network 表示が、「Tethering: ---」から「Tethering: Up」に変わったら、スマートフォンのモバイル回線を利用できます。



6. テザリングをストップさせるときは、もう一度 [F4] つまみを押して、「Stop Tethering」を実行させます。

テザリングのスタート/ストップは、メニューでも操作することができます。

[MENU] ボタン → 「Network」 → 「Start Tethering」または「Stop Tethering」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押します。

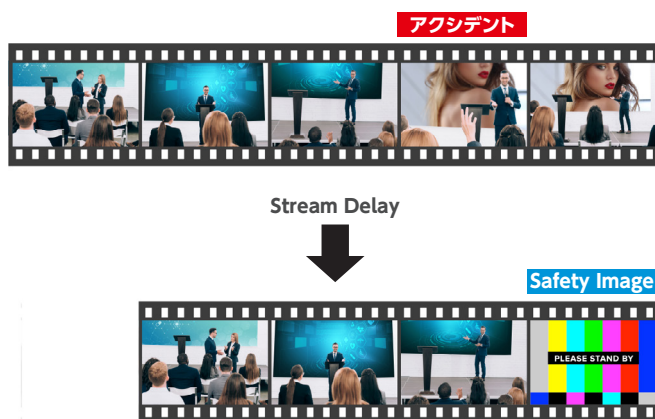
配信中の偶発的なトラブルを回避する（セーフティー・ディレイ）

SR-20HD は、配信中の予期せぬトラブルに備えた回避機能「セーフティー・ディレイ」を搭載しています。

セーフティー・ディレイ機能では、映像と音声のバッファ（配信ディレイ・タイム：Stream Delay）を設定することができます。

配信ディレイ・タイム内でアクシデントが発生した場合、1つのボタン操作で「静止画への切り替え」と「音声のミュート」をコントロールして、不適切なコンテンツが配信されることを防ぎます。

セーフティー・ディレイ機能を使えば、進行の台本などがないライブ・イベントでも安心して配信することができます。



- 配信ディレイ・タイムは、5秒間隔で最大60秒まで設定することができます。
- 「Safety Image」としてインポートした静止画に切り替わります。
- Safety Image への切り替えは配信中のみです。また、配信されている映像でのみ Safety Image への切り替えを確認することができます。本体ディスプレイや HDMI OUT 端子の映像出力は、Safety Image に切り替わりません。
- VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンに、静止画への切り替えと音声のミュートをコントロールする機能を割り当てて使います。

※ 工場出荷時は、VIDEO FUNCTION [E] ボタンに機能 (Safety Image) が割り当てられています。

配信ディレイ・タイムを設定する

1. [MENU] ボタン → [Stream] → [Stream Delay] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して配信ディレイ・タイムを設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値

Off、5sec ～ 60sec（5秒間隔）

3. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

Stream Delay は、パラメーター・エリアで設定することもできます。[STREAM] ボタンを押して、パラメーターを表示させます。

VIDEO FUNCTION ボタンに機能を割り当てる

1. [MENU] ボタン → [Scene/Video Function] → [Scene/Video Function A ～ E] → [Mode] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Video Function] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Type] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。



4. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [Safety Image] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値	説明
Safety Image	セーフティー・ディレイ機能により、配信映像を静止画に切り替え、配信音声をミュートします。

5. [VALUE/CURSOR] つまみを回して [LED Color] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

設定値	説明
Red、Green、Blue、Cyan、Magenta、Yellow	VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンの点灯色を設定します。

6. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定値を変更し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

7. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

その他の機能

SD カードに本体の設定を保存する

SD カードに、本体の設定を 1 つのファイル (.sr20) として保存することができます。保存した設定ファイルは、必要なときに SD カードから本体に呼び出して使うことができます。

※ メニュー (P.9) の設定は、自動的に SD カードに保存されます。

注意

- SD を初めて使うときは、必ず SR-20HD でフォーマットしてください (P.7)。
- 「Processing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。
- SD カードによっては、認識されるまでに時間がかかる場合があります。

保存する

新規保存する

1. [MENU] ボタン → [SD card/USB Memory] → [Save Setting as] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



Are you sure you want to save?

Cancel OK

中止するときは、「Cancel」を選びます。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
保存が完了すると、「Completed」と表示されます。
3. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、メッセージを閉じる。
4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

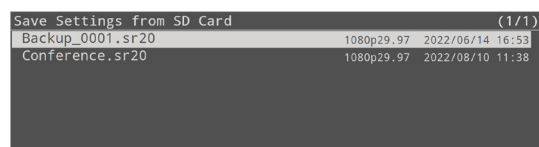
ファイルに保存されない内容

- System メニューの「Test Pattern」設定。常に「Off」で起動します。
- 本体に読み込んだ静止画。静止画のファイル名だけが保存されます。
- [ON AIR] ボタンの状態。
- 「Audio Player」を割り当てた AUDIO FUNCTION ボタンの状態。常にオフの状態で起動します。
- 音量つまみとフェーダーの位置。

上書き保存する

1. [MENU] ボタン → [SD card/USB Memory] → [Save Settings] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

SD カード内の設定ファイルが一覧表示されます。



2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して上書きしたい設定ファイルを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

Are you sure you want to save?

Cancel OK

中止するときは、「Cancel」を選びます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
上書き保存が完了すると、「Completed」と表示されます。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、メッセージを閉じる。
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

呼び出す

SD カードに保存されている本体の設定を呼び出します。設定を呼び出すと、現在の設定は上書きされます。

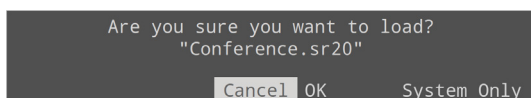
1. [MENU] ボタン → [SD card/USB Memory] → [Load Settings] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

SD カード内の設定ファイルが一覧表示されます。

Load Settings from SD Card (1/1)			
Backup_0001.sr20	1080p29.97	2022/06/14	16:53
Conference.sr20	1080p29.97	2022/08/10	11:38

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して呼び出したい設定ファイルを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

- 「System Only」を選ぶと、Network / Stream / Record / System の設定のみを呼び出すことができます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
呼び出しが完了すると、「Completed」と表示されます。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、メッセージを閉じる。
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

削除する

SD カードに保存されている本体の設定を削除します。

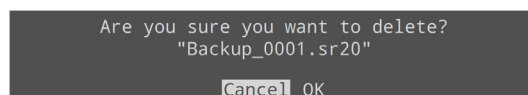
1. [MENU] ボタン → [SD card/USB Memory] → [Delete Settings] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

SD カード内の設定ファイルが一覧表示されます。

Delete Settings (1/1)			
Backup_0001.sr20	1080p29.97	2022/06/14	16:53
Conference.sr20	1080p29.97	2022/08/10	11:38

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して削除したい設定ファイルを選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは、「Cancel」を選びます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。
削除が完了すると、「Completed」と表示されます。
4. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、メッセージを閉じる。
5. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

パネル操作を禁止する（パネル・ロック）

操作パネルのボタンやつまみの操作を禁止して、誤操作を防ぐことができます（パネル・ロック機能）。

パネル・ロックの対象を選ぶ

※ [PHONES] つまみは、パネル・ロックの対象外です。

1. [MENU] ボタン → [System] → [Panel Lock] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

Panel Lock メニューが表示されます。

Panel Lock	Lock:[ENTER]+[MENU] (1/3)
All	Off
MENU	Off
VALUE	Off
F1-F4	Off
AUDIO REC/ VIDEO REC/STREAM	Off
REC/ON AIR	Off

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して設定の対象（ボタンやつまみ）を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

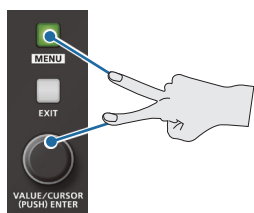
[All] を選ぶと、すべてのボタンとつまみを一括で設定できます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを回してパネル・ロックの対象（On）／非対象（Off）を設定し、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

操作パネルのロック／ロック解除をする

1. [VALUE/CURSOR] つまみを押しながら [MENU] ボタンを 3 秒以上長押しする。



2. ロックを解除するときは、もう一度 [VALUE/CURSOR] つまみを押しながら [MENU] ボタンを 3 秒以上長押しする。

[Lock Released.] と表示され、ロックが解除されます。

工場出荷時の状態に戻す（ファクトリー・リセット）

SR-20HD で設定した内容を工場出荷時の状態に戻します。

手順どおりに操作をしても、取扱説明書に記載されている内容と違う動作をするときは、ファクトリー・リセットを実行してみてください。

注意

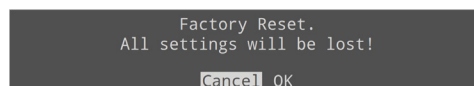
ファクトリー・リセットを実行すると、それまでに設定した内容がすべて失われます。

※ インポートした静止画／動画／オーディオ・ファイルは、ファクトリーリセットしても残ります。

1. [MENU] ボタン → [System] → [Factory Reset] を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

System	(3/4)
Auto Off	Off
Shut Down	[Enter]
Factory Reset	[Enter]
Version	



中止するときは、「Cancel」を選びます。

2. [VALUE/CURSOR] つまみを回して「OK」を選び、[VALUE/CURSOR] つまみを押す。

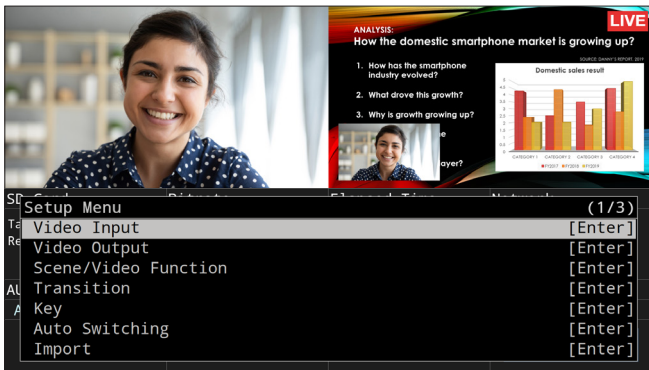
ファクトリー・リセットが完了すると、「Completed」と表示されます。

3. [VALUE/CURSOR] つまみを押して、メッセージを閉じる。

4. [MENU] ボタンを押して、メニューを閉じる。

メニュー一覧

[MENU] ボタンを押すと、ディスプレイにメニューが表示されます。



- [VALUE/CURSOR] つまみを押しながら回すと、設定値を大きく変えることができます。
- [VALUE/CURSOR] つまみを長押しすると、設定中のメニュー項目が初期値に戻ります。

Video Input

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
HDMI IN 1、2	HDMI IN 1、2 端子から入力される映像の調整をします。	
Status	—	入力映像の情報（映像フォーマットやサイズなど）を表示します。 映像が入力されていない場合は、「No Signal」と表示します。
EDID	Internal 、720p、1080i、1080p、 SVGA (800x600)、 XGA (1024x768)、 WXGA (1280x800)、 FWXGA (1366x768)、 SXGA (1280x1024)、 SXGA+ (1400x1050)、 UXGA (1600x1200)、 Full HD (1920x1080)、 WUXGA (1920x1200)	入力フォーマット（EDID）を設定します。 「Internal」にすると、SR-20HD に入力できるすべてのフォーマットの EDID 情報を送信します。 ※ 設定値の変更は、[VALUE/CURSOR] つまみを押して決定するまで反映されません。 EDID とは？ EDID とは、SR-20HD をソース機器に接続したときに、SR-20HD からソース機器に送信されるデータです。EDID には、SR-20HD に入力できるフォーマット（解像度、カラー・スペース、色深度）や音声情報などのデータが記録されています。 ソース機器は、受信した EDID 情報を元に SR-20HD に最適な映像を出力します。
Zoom	10.0 ～ 100.0 ～ 1000.0%	拡大／縮小率を設定します。
Scaling Type	スケーリング・タイプを設定します。	
	Full	入力映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
	Letterbox	アスペクト比を保持したまま、全画面が表示されるように、入力映像を拡大／縮小します。
	Crop	アスペクト比を保持したまま、出力映像に余白がないように、入力映像を拡大／縮小します。はみ出した映像は、カットされます。
	Dot By Dot	スケーリングをしません。
Manual Size H	-2000 ～ 0 ～ +2000 (*1)	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	-2000 ～ 0 ～ +2000 (*1)	垂直方向のサイズを調節します。
Position H	-1920 ～ 0 ～ +1920	水平方向の位置を調節します。
Position V	-1200 ～ 0 ～ +1200	垂直方向の位置を調節します。
Brightness	-64 ～ 0 ～ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ～ 0 ～ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ～ 0 ～ +63	彩度を調節します。
Color Space	RGB (0-255)、RGB (16-235)、YCC SD、YCC HD、 Auto	カラー・スペース（映像の色を表現するための方式）を設定します。 「Auto」にすると、自動的に適切なカラー・スペースを適用します。
Flicker Filter	Off 、On	「On」にすると、ちらつきを軽減します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
STILL 1/SRT In		
STILL 1/SRT In に割り当てられる映像の調整をします。		
SRT In = Disable のとき		
SRT In	Disable 、Enable	STILL 1 で静止画、動画、USB VIDEO IN を使用するときには Disable にします。
Type	STILL 1 に割り当てる映像ソースを設定します。	
	Still	SD カードにインポートした静止画
	USB VIDEO IN	USB VIDEO IN 端子に入力された映像または音声
	Video Player	SD カードにインポートした動画
Still Memory	1 ~ 8	静止画が保存されているメモリー番号を選びます。
Zoom	10.0 ~ 100.0 ~ 1000.0%	拡大／縮小率を設定します。
Scaling Type	Full	スケーリング・タイプを設定します。 STILL 1/SRT In のスケーリング・タイプは Full 固定です。
Manual Size H	-2000 ~ 0 ~ +2000	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	-2000 ~ 0 ~ +2000	垂直方向のサイズを調節します。
Position H	-1920 ~ 0 ~ +1920	水平方向の位置を調節します。
Position V	-1200 ~ 0 ~ +1200	垂直方向の位置を調節します。
Brightness	-64 ~ 0 ~ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ~ 0 ~ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ~ 0 ~ +63	彩度を調節します。
SRT In = Enable、Mode = Caller のとき		
SRT In	Disable 、Enable	STILL 1 で SRT In を使用するときには Enable にします。
Start/Stop	Stop 、Start	SRT 受信を開始／停止します。
Zoom	10.0 ~ 100.0 ~ 1000.0%	拡大／縮小率を設定します。
Scaling Type	Full	スケーリング・タイプを設定します。 STILL 1/SRT In のスケーリング・タイプは Full 固定です。
Manual Size H	-2000 ~ 0 ~ +2000	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	-2000 ~ 0 ~ +2000	垂直方向のサイズを調節します。
Position H	-1920 ~ 0 ~ +1920	水平方向の位置を調節します。
Position V	-1200 ~ 0 ~ +1200	垂直方向の位置を調節します。
Brightness	-64 ~ 0 ~ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ~ 0 ~ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ~ 0 ~ +63	彩度を調節します。
Mode	Caller 、Listener	SRT のモードを Caller に設定します。
Remote IP Address	0.0.0.0	SRT 送信機器 (Listener) の IP アドレスを設定します。
Remote Port	0 ~ 5000 ~ 65535	SRT 送信機器 (Listener) のポート番号を設定します。
Latency	80 ~ 8000ms	SRT の再送用バッファの長さ (遅延時間) を設定します。 受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。
Stream ID		SRT 送信機器 (Listener) と同じストリーム ID を設定します。
Passphrase		SRT 送信機器 (Listener) と同じパスフレーズを設定します。
Use Web App	[Enter]	Web アプリを使用して、SRT の上記内容を設定することができます。

※ USB CONTROL 端子に接続した USB キーボードで、Passphrase や Stream ID を入力することができます。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SRT In = Enable、Mode = Listener のとき		
SRT In	Disable 、Enable	STILL 1 で SRT In を使用するときには Enable にします。
Start/Stop	Stop 、Start	SRT 受信を開始／停止します。
Zoom	10.0 ～ 100.0 ～ 1000.0%	拡大／縮小率を設定します。
Scaling Type	Full	スケーリング・タイプを設定します。 STILL 1/SRT In のスケーリング・タイプは Full 固定です。
Manual Size H	-2000 ～ 0 ～ +2000	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	-2000 ～ 0 ～ +2000	垂直方向のサイズを調節します。
Position H	-1920 ～ 0 ～ +1920	水平方向の位置を調節します。
Position V	-1200 ～ 0 ～ +1200	垂直方向の位置を調節します。
Brightness	-64 ～ 0 ～ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ～ 0 ～ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ～ 0 ～ +63	彩度を調節します。
Mode	Caller 、Listener	SRT のモードを Listener に設定します。
Local Port	0 ～ 2000 ～ 65535	SRT 接続の待ち受けに使用するポート番号を設定します。
Latency	80 ～ 8000ms	SRT の再送用バッファの長さ (遅延時間) を設定します。 受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。
Passphrase		SRT 送信機器 (Caller) と同じパスワードを設定します。
Use Web App	[Enter]	Web アプリを使用して、SRT の上記内容を設定することができます。

※ USB CONTROL 端子に接続した USB キーボードで、Passphrase を入力することができます。

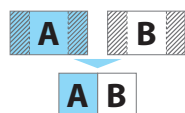
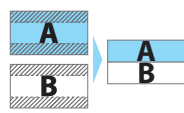
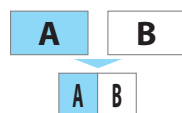
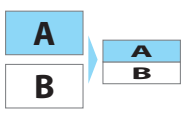
STILL 2 STILL 2 に割り当てられる静止画の調整をします。		
Zoom	100.0 ～ 1000.0%	拡大率を設定します。 ※ STILL 2 は縮小できません。
Scaling Type	スケーリング・タイプを設定します。STILL 2 のスケーリング・タイプは Full 固定です。 Full	入力映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
Manual Size H	-2000 ～ 0 ～ +2000 (*1)	水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	-2000 ～ 0 ～ +2000 (*1)	垂直方向のサイズを調節します。
Position H	-1920 ～ 0 ～ +1920	水平方向の位置を調節します。
Position V	-1200 ～ 0 ～ +1200	垂直方向の位置を調節します。
Brightness	-64 ～ 0 ～ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ～ 0 ～ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ～ 0 ～ +63	彩度を調節します。

(*1) 入出力フォーマットなどの条件によって、設定値の有効な範囲が変わります。設定値を変更しても映像に変化がない場合があります。

Video Output

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
HDMI OUT MAIN HDMI OUT MAIN 端子から出力される映像の調整をします。		
Status	—	HDMI OUT MAIN 端子の接続状況を表示します。 接続がない場合は、「Not Connected」と表示します。
Color Space	YPbPr (4:4:4) 、YPbPr (4:2:2)、 RGB (0-255)、RGB (16-235)	カラー・スペースを設定します。
DVI-D/HDMI	HDMI 、DVI-D	出力信号の種類を設定します。
Brightness	-64 ~ 0 ~ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ~ 0 ~ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ~ 0 ~ +63	彩度を調節します。
Red	-64 ~ 0 ~ +63	赤レベルを調節します。
Green	-64 ~ 0 ~ +63	緑レベルを調節します。
Blue	-64 ~ 0 ~ +63	青レベルを調節します。
HDMI OUT PVW HDMI OUT PVW 端子から出力される映像の調整をします。		
Status	—	HDMI OUT PVW 端子の接続状況を表示します。 接続がない場合は、「Not Connected」と表示します。
Color Space	YPbPr (4:4:4) 、YPbPr (4:2:2)、 RGB (0-255)、RGB (16-235)	カラー・スペースを設定します。
DVI-D/HDMI	HDMI 、DVI-D	出力信号の種類を設定します。
Output Assign	HDMI OUT PVW 端子から出力される映像を設定します。	
	PVW	プレビュー映像を出力します。
	Multi-View	マルチ・ビュー・モニターの映像を出力します。
Brightness	-64 ~ 0 ~ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ~ 0 ~ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ~ 0 ~ +63	彩度を調節します。
Red	-64 ~ 0 ~ +63	赤レベルを調節します。
Green	-64 ~ 0 ~ +63	緑レベルを調節します。
Blue	-64 ~ 0 ~ +63	青レベルを調節します。
PVW Source		
PVW Source	HDMI IN 1 、HDMI IN 2、 STILL 1/SRT In、STILL 2	HDMI OUT PVW に割り当てる映像ソースを設定します。

Scene/Video Function

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Scene/Video Function A ~ E		SCENE/VIDEO FUNCTION [A] ~ [E] ボタンの機能を設定します。 現在の設定が、画面右側に表示されます。
Mode	SCENE/VIDEO FUNCTION [A] ~ [E] ボタンの使いかたを設定します。	
	None	機能を割り当てません。
	Scene	SCENE ボタンとして、登録したシーンの呼び出しに使用します。
	Video Function	VIDEO FUNCTION ボタンとして、ボタンに割り当てた映像関連の機能を実行します。
Type	Mode = Scene のとき	SCENE ボタンとして使うときの機能を設定します。
	PinP	ピクチャーインピクチャー 背景映像の上に子画面 (小さい別の画面) の映像を重ねます。
	Split	スプリット 画面を左右 / 上下 2 分割にして 2 つの映像を表示します。
	PbyP	ピクチャーバイピクチャー 2 つの画面を並べて表示します。それぞれの画面のサイズや位置を自由に変更することができます。
	Mode = Video Function のとき	VIDEO FUNCTION ボタンとして使うときの機能を設定します。
	Video Player	STILL 1 で、動画を再生 / 停止します。
	USB VIDEO IN	STILL 1 で、USB VIDEO IN に入力された映像または音声を使用します。
	Still	STILL 1 で、指定した静止画を表示します。
	Prev Still	STILL 1 で、1 つ前の静止画を表示します。
	Next Still	STILL 1 で、次の静止画を表示します。
	Safety Image	セーフティー・ディレイ機能 (P.47) により、配信映像を Safety Image に切り替え、配信音声をミュートします。
	Input Capture	Input Capture を実行し、キャプチャーした静止画を割り当てます。
	Save Still	配信 / 録画ソースを静止画としてキャプチャーし、SD カードに JPEG ファイルとして保存します。
	Output Fade	最終出力映像をフェード・イン / アウトします。
	Type = PinP のとき	
LED Color	Red, Green, Blue, Cyan, Magenta, Yellow	SCENE [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Background Ch	HDMI IN 1 、HDMI IN 2、STILL 1/SRT In、STILL 2	背景映像を設定します。
Window Ch	HDMI IN 1、 HDMI IN 2 、STILL 1/SRT In、STILL 2	子画面の映像を設定します。(*2)
Window Pos H	-100.0 ~ 28.5 ~ 100.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
Window Pos V	-100.0 ~ 28.5 ~ 100.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
Window Aspect	1:1、4:3、3:2、 16:9	子画面のアスペクト比を設定します。
Window Size	10.0 ~ 30.0 ~ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
Window Crop H	0.0 ~ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
Window Crop V	0.0 ~ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
View Pos H	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	子画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
View Pos V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	子画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
View Zoom	100.0 ~ 1000.0%	子画面に表示される映像の拡大率を調節します。
Type = Split のとき		
LED Color	Red, Green, Blue, Cyan, Magenta, Yellow	SCENE [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Pattern	分割パターンを設定します。	
	<div>V.center 映像の中央部を垂直方向に切り出します。 </div> <div>H.center 映像の中央部を水平方向に切り出します。 </div> <div>V.stretch 映像を水平方向に縮めます。 (*2) </div> <div>H.stretch 映像を垂直方向に縮めます。 (*2) </div>	

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Center	0.0 ~ 50.0 ~ 100.0%	画面を分割する位置を調節します。
A Ch (Left/Upper)	HDMI IN 1 、HDMI IN 2、 STILL 1/SRT In、STILL 2	左または上側に表示される映像を設定します。
B Ch (Right/Lower)	HDMI IN 1、 HDMI IN 2 、 STILL 1/SRT In、STILL 2	右または下側に表示される映像を設定します。
A-Center	-25.0 ~ 0.0 ~ 25.0%	Pattern = V.center のとき 左側に表示される映像の水平方向の位置を調節します。 Pattern = H.center のとき 上側に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
B-Center	-25.0 ~ 0.0 ~ 25.0%	Pattern = V.center のとき 右側に表示される映像の水平方向の位置を調節します。 Pattern = H.center のとき 下側に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
Type = PbyP のとき		
LED Color	Red, Green, Blue, Cyan, Magenta, Yellow	SCENE [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
A Ch	HDMI IN 1 、HDMI IN 2、 STILL 1/SRT In、STILL 2	A 画面の映像を設定します。(*2)
B Ch	HDMI IN 1、 HDMI IN 2 、 STILL 1/SRT In、STILL 2	B 画面の映像を設定します。(*2)
Layer Order	A/B 、B/A	A 画面と B 画面の重ね順 (前面/背面) を設定します。
A Ch	A 画面を調整します。	
Position H	-100.0 ~ -25.0 ~ 100.0%	A 画面の水平方向の位置を調節します。
Position V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	A 画面の垂直方向の位置を調節します。
Aspect	1:1、4:3、3:2、 16:9	A 画面のアスペクト比を設定します。
Size	10.0 ~ 50.0 ~ 100.0%	A 画面のサイズを調節します。
Cropping H	0.0 ~ 100.0%	A 画面の水平方向のサイズを調節します。
Cropping V	0.0 ~ 100.0%	A 画面の垂直方向のサイズを調節します。
View Pos H	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	A 画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
View Pos V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	A 画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
View Zoom	100.0 ~ 1000.0%	A 画面に表示される映像の拡大率を調節します。
B Ch	B 画面を調整します。	
Position H	-100.0 ~ -25.0 ~ 100.0%	B 画面の水平方向の位置を調節します。
Position V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	B 画面の垂直方向の位置を調節します。
Aspect	1:1、4:3、3:2、 16:9	B 画面のアスペクト比を設定します。
Size	10.0 ~ 50.0 ~ 100.0%	B 画面のサイズを調節します。
Cropping H	0.0 ~ 100.0%	B 画面の水平方向のサイズを調節します。
Cropping V	0.0 ~ 100.0%	B 画面の垂直方向のサイズを調節します。
View Pos H	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	B 画面に表示される映像の水平方向の位置を調節します。
View Pos V	-100.0 ~ 0.0 ~ 100.0%	B 画面に表示される映像の垂直方向の位置を調節します。
View Zoom	100.0 ~ 1000.0%	B 画面に表示される映像の拡大率を調節します。
Type = Video Player のとき		
LED Color	Red, Green, Blue, Cyan, Magenta, Yellow	VIDEO FUNCTION [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Video Memory	1 ~ 8	動画が保存されているメモリの番号を選びます。
Repeat	Off、 On	リピート再生のオン/オフを設定します。
Type = USB VIDEO IN のとき		
LED Color	Red, Green, Blue, Cyan, Magenta, Yellow	VIDEO FUNCTION [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Type = Still のとき		
LED Color	Red, Green, Blue, Cyan, Magenta, Yellow	VIDEO FUNCTION [A] ~ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Still Memory	1 ~ 8	静止画が保存されているメモリの番号を選びます。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Type = Prev Still、Next Still、Safety Image、Input capture、Output Fade のとき		
LED Color	Red、Green、Blue、Cyan、Magenta、Yellow	VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Type = Save Still のとき		
LED Color	Red、Green、Blue、Cyan、Magenta、Yellow	VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンの点灯色を設定します。
Mode	静止画のキャプチャーのしかたを設定します。	
	One Shot	VIDEO FUNCTION [A] ～ [E] ボタンを押したタイミングで、静止画をキャプチャーします。
	Interval	指定した間隔で、静止画をキャプチャーします。
Interval	1 min ～ 10 min	Mode が Interval のときの、時間を指定します。
Scene/Video Function Copy		
Scene/Video Function の設定を、別の Scene/Video Function にコピーします。		
Source	Scene/Video Function A ～ E	コピー元の Scene/Video Function を設定します。(初期値：A)
Destination		コピー先の Scene/Video Function を設定します。(初期値：B)
Copy	[Exec]	コピーを実行します。

(*2) STILL 2 は、縮小できません。サイズ変更時に元の静止画より小さくなる場合は、リサイズ（縮小）されずに、静止画の一部が切り出されます。

Scene/Video Function A ～ E の工場出荷時の設定

A		B		C		D		E	
メニュー項目	設定値	メニュー項目	設定値	メニュー項目	設定値	メニュー項目	設定値	メニュー項目	設定値
Mode	Scene	Mode	Scene	Mode	Scene	Mode	Video Function	Mode	Video Function
Type	PinP	Type	Split	Type	PbyP	Type	Input Capture	Type	Safety Image
LED Color	Red	LED Color	Red	LED Color	Red	LED Color	Blue	LED Color	Yellow
Background Ch	HDMI IN 1	Pattern	V.Center	A Ch	HDMI IN 1				
Window Ch	HDMI IN 2	Center	50.0%	B Ch	HDMI IN 2				
Window Pos H	28.5%	A Ch (Left/Upper)	HDMI IN 1	Layer Order	A/B				
Window Pos V	28.5%	B Ch (Right/Lower)	HDMI IN 2	Position H	-25.0%				
Window Aspect	16:9	A-Center	0.0%	Position V	0.0%				
Window Size	30.0%	B-Center	0.0%	Aspect	16:9				
Window Crop H	0.0%			Size	50.0%				
Window Crop V	0.0%			A Ch Cropping H	0.0%				
View Pos H	0.0%			Cropping V	0.0%				
View Pos V	0.0%			View Pos H	0.0%				
View Zoom	100.0%			View Pos V	0.0%				
				View Zoom	100.0%				
				Position H	25.0%				
				Position V	0.0%				
				Aspect	16:9				
				Size	50.0%				
				B Ch Cropping H	0.0%				
				Cropping V	0.0%				
				View Pos H	0.0%				
				View Pos V	0.0%				
				View Zoom	100.0%				

Transition

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Scene Transition	シーンが切り替わるときの動作を設定します。	
	Black Fade	黒画面をはさむフェード効果を付けます。すべての画面が同時に切り替わります。
	Mix Fade	フェード効果を付けます。画面ごとに切り替わります。
	Motion	各画面が、動きながら切り替わります。
Time	0.0 ~ 1.0 ~ 5.0sec	シーンや映像の切り替え時間を設定します。
Output Fade	メイン出力映像のフェード・イン／アウトのしかたを設定します。	
Off Color	Black 、White	メイン出力映像をフェード・イン／アウトするときの背景色（黒、白）を設定します。
Audio Fade	Off	映像のみをフェード・イン／アウトします。
	On	映像と音声を同時にフェード・イン／アウトします。
PGM Direct	PGM Direct（選んだ映像をすぐに最終出力する機能）のオン／オフを設定します。	
	Off	INPUT [HDMI IN 1] ~ [STILL 2] ボタンの場合、次に出力される映像を PVW（プレビュー映像）で確認してから [TAKE] ボタンを押すと、Time で設定した時間が経過したあとで出力映像（配信、録画ソース）が切り替わります。 SCENE [A] ~ [E] ボタンに登録されたシーンの場合、Time で設定した時間が経過したあとで出力映像（配信、録画ソース）が切り替わります。 ※「Off」にすると、Auto Switching の設定は無効になります。
	On	選んだ映像をすぐに最終出力します。 INPUT [HDMI IN 1] ~ [STILL 2] ボタンの映像や SCENE [A] ~ [E] ボタンに登録されたシーンを選ぶと、Time で設定した時間が経過したあとで、出力映像（配信、録画ソース）が切り替わります。

Key

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SW	Off 、On	キー合成をオン／オフします。
Key Source Ch	HDMI IN 1、HDMI IN 2、STILL 1/SRT In、STILL 2	キー合成時、上に重ねるロゴや映像のソースを設定します。
Key Color	キー合成時のキー・タイプ（抜き色）を設定します。	
	Black	ルミナンス・キーで合成します。明るさを基準にして、黒色を透明にします。
	White	ルミナンス・キーで合成します。明るさを基準にして、白色を透明にします。
	Green 1 ~ 3	クロマ・キーで合成します。色味を基準にして、緑色を透明にします。 1 ~ 3の中から、最も適切に合成できるプリセットを選びます。
	Blue 1 ~ 3	クロマ・キーで合成します。色味を基準にして、青色を透明にします。 1 ~ 3の中から、最も適切に合成できるプリセットを選びます。
Key Level	0 ~ 32 ~ 127	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
Key Gain	0 ~ 4 ~ 16	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
Source Zoom	10.0 ~ 100.0 ~ 1000.0%	上に重ねたロゴや映像の拡大／縮小率を設定します。（*3）
Source Scaling Type	上に重ねたロゴや映像のスケーリング・タイプを設定します。（*3）	
	Full	ロゴや映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
	Letterbox	アスペクト比を保持したまま全画面が表示されるように、ロゴや映像を拡大／縮小します。
	Crop	アスペクト比を保持したまま、出力映像に余白がないように、ロゴや映像を拡大／縮小します。はみ出した映像は、カットされます。
	Dot By Dot	スケーリングをしません。
Manual Size H	-2000 ~ 0 ~ 2000 (*4)	上に重ねたロゴや映像の水平方向のサイズを調節します。
Manual Size V	-2000 ~ 0 ~ 2000 (*4)	上に重ねたロゴや映像の垂直方向のサイズを調節します。
Source Pos H	-1920 ~ 0 ~ 1920	上に重ねたロゴや映像の水平方向の位置を調節します。
Source Pos V	-1200 ~ 0 ~ 1200	上に重ねたロゴや映像の垂直方向の位置を調節します。

(*3) STILL 2 は、縮小できません。サイズ変更時に元の静止画より小さくなる場合は、リサイズ（縮小）されずに、静止画の一部が切り出されます。

(*4) 入出力フォーマットなどの条件によって、設定値の有効な範囲が変わります。設定値を変更しても映像に変化がない場合があります。

Auto Switching

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SW	Off 、On	オート・スイッチング機能のオン／オフを設定します。
Type	オート・スイッチングの動作モードを設定します。	
	Auto Scan	指定した間隔で映像が切り替わります。
	Video Follows Audio	音声を検出し、音量に応じて任意の映像に切り替わります。
Type = Auto Scan のとき		
Sequence	映像を表示する順番を設定します。	
	Normal	HDMI IN 1→HDMI IN2→STILL 1/SRT In→STILL 2→シーン A ～ E の順に切り替わります。
	Random	ランダムに切り替わります。
Video Input Duration	入力映像の表示時間を設定します。	
HDMI IN 1	Off、1 ～ 7 ～ 120sec	「Off」 にすると、映像切り替えの対象になりません。
HDMI IN 2		
STILL 1/SRT In		
STILL 2		
Scene Duration	シーンに登録されている映像の表示時間を設定します。	
Scene A	Off、1 ～ 120sec	「Off」 にすると、映像切り替えの対象になりません。
Scene B		
Scene C		
Scene D		
Scene E		
Type = Video Follows Audio のとき		
Time	1 ～ 2 ～ 120sec	音声を検出して映像／シーンが切り替わったあと、再び音声の検出を始めるまでの時間を設定します。
Mic A Source	AUDIO IN 1 ～ 4、LINE IN、HEADSET Mic、HDMI IN 1 ～ 2、USB AUDIO、PLAYER/SRT In	Mic A で検出する音声のソースを設定します。
Mic B Source	AUDIO IN 1、 AUDIO IN 2 ～ 4、LINE IN、HEADSET Mic、HDMI IN 1 ～ 2、USB AUDIO、PLAYER/SRT In	Mic B で検出する音声のソースを設定します。
Mic A Sense	0 ～ 50 ～ 100	Mic A から入力される音声の検出レベルを設定します。 レベルが高いほど、音声を検出しやすくなります。
Mic B Sense	0 ～ 50 ～ 100	Mic B から入力される音声の検出レベルを設定します。 レベルが高いほど、音声を検出しやすくなります。
Mic A Select	Off、 HDMI IN 1 、HDMI IN 2、STILL 1/SRT In、STILL 2、Scene A ～ E	Mic A で音声を検出したときに出力する映像／シーンを設定します。
Mic B Select	Off、HDMI IN 1、 HDMI IN 2 、STILL 1/SRT In、STILL 2、Scene A ～ E	Mic B で音声を検出したときに出力する映像／シーンを設定します。
Mic A+Mic B Select	Off、HDMI IN 1 ～ 2、STILL 1/SRT In、STILL 2、Scene A、 B ～ E	Mic A と B 両方で音声を検出したときに出力する映像／シーンを設定します。
Silent Select	Off 、HDMI IN 1 ～ 2、STILL 1/SRT In、STILL 2、Scene A ～ E	Mic A と B 両方で音声入力がないときに出力する映像／シーンを設定します。

Import

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Import Still File		
Still Memory	1 ~ 8、Safety Image	静止画をインポートするメモリーの番号を選びます。静止画があるメモリーの番号には、「*」マークが表示され、保存されている静止画のファイル名も表示されます。 「Safety Image」を選ぶと、セーフティー・ディレイ機能 (P.47) を使ったときに切り替わる静止画としてインポートされます。
Import from Internal	[Enter]	インポートするサンプル・ファイルの選択画面を表示します。
Import from USB Memory	[Enter]	インポートする静止画の選択画面を表示します。
Delete Still Memory	[Exec]	インポートした静止画を削除します。
Import Video File		
Video Memory	1 ~ 8	動画をインポートするメモリーの番号を選びます。動画があるメモリーの番号には「*」マークが表示され、保存されている動画のファイル名とビットレートが表示されます。
Start Time	00:00:00 ~ (ファイルの長さ)	インポートした動画の再生開始ポイントを設定します。
End Time	00:00:01 ~ END	インポートした動画の再生終了ポイントを設定します。
Import from USB Memory	[Enter]	インポートする動画の選択画面を表示します。
Import from SD card (rec)	[Enter]	インポートする動画 (SD カードに録画した動画) の選択画面を表示します。
Delete Video Memory	[Exec]	インポートした動画を削除します。
Import Audio File		
Audio Memory	1 ~ 8	オーディオ・ファイルをインポートするメモリーの番号を選びます。オーディオ・ファイルがあるメモリーの番号には「*」マークが表示され、保存されているオーディオ・ファイルの名前も表示されます。
Import from Internal	[Enter]	インポートするサンプル・ファイルの選択画面を表示します。
Import from USB Memory	[Enter]	インポートするオーディオ・ファイルの選択画面を表示します。
Delete Audio Memory	[Exec]	インポートしたオーディオ・ファイルを削除します。
Import Capture		
[STILL 2] ボタンに割り当てる静止画を、HDMI IN 1 ~ 2、STILL 1/SRT In の映像ソースからキャプチャーします。		
Capture Source	HDMI IN 1 、HDMI IN 2、STILL 1/SRT In	静止画をキャプチャーする映像ソースを選びます。
	[Exec]	選んだ映像ソースから静止画をキャプチャーします。

Audio Input

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUDIO IN 1 ~ 4	AUDIO IN 1 ~ 4 端子から入力される音声を調整します。	
Analog Gain	+4 ~ -38 dBu (PAD : On)、 -10 ~ -52 dBu (PAD : Off)	アナログ領域での入力ゲイン (感度) を調節します。
Digital Gain	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0 dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) での入力ゲイン (感度) を調節します。
Level	-INF 、-80.0 ~ 10.0 dB	入力音量を調節します。
Phase	Off 、On	音声信号の位相を反転します。
PAD	Off、 On	パッドのオン/オフを切り替えます。「On」にすると、プリアンプの入力感度が下がります。
Phantom +48V	Off 、On	ファンタム電源のオン/オフを設定します。「On」にすると、AUDIO IN 端子からファンタム電源が供給されます。
MAIN Mute	Off 、On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、MAIN バスへの音声を消音します。
Monitor Mute	Off 、On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、Monitor バスへの音声を消音します。
REC Send	-INF 、-80.0 ~ 10.0 dB	REC バスへの音声の送り量を調節します。
Pan	L50 ~ L1、 Center 、R1 ~ R50	定位 (パン) を調節します。
HPF 75Hz	Off 、On	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、75Hz です。
Gate	Off 、On	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。設定したレベル以下の音声を除去します。
Threshold	-80 ~ -50 ~ 0 dB	音声を除去するときの、基準レベルを設定します。スレッシュホールド以下の音声を除去します。
Release	30 ~ 860 ~ 5000 ms	音声スレッシュホールドを下回ったあとに音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
Compressor	Off 、On	コンプレッサーのオン/オフを設定します。設定したレベルを超えた音声を圧縮します。
Threshold	-50 ~ -8 ~ 0 dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
Ratio	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
Attack	0 ~ 3.0 ~ 100 ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの、圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
Release	30 ~ 250 ~ 5000 ms	音声スレッシュホールドを下回ったあとに圧縮をやめるまでの時間を調節します。
Makeup Gain	-40 ~ 0 ~ 40 dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
EQ	Off 、On	イコライザーのオン/オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	中域を増幅/減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5、 1.0 、2.0、4.0、8.0、16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	低域を増幅/減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ~ 100Hz ~ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	高域を増幅/減衰させます。
Hi Freq	1.0 ~ 10.0 ~ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Load Preset	プリセット (PAD、Analog Gain、HPF 75Hz、EQ の組み合わせ) のリストを表示します。プリセットを選ぶと、設定が上書きされます。	
	Line Level +4dBu	既定入力レベルが +4dBu の、何も効果をかけないフラットな設定です。
	Line Level -10dBu	既定入力レベルが -10dBu の、何も効果をかけないフラットな設定です。
	Condenser Mic Speech	コンデンサー・マイク用のエフェクトで、話し声を聞き取りやすくします。
	Condenser Mic Vocal	コンデンサー・マイク用のエフェクトで、歌声を際立たせるようにします。
	Dynamic Mic Speech	ダイナミック・マイク用のエフェクトで、話し声を聞き取りやすくします。
	Dynamic Mic Vocal	ダイナミック・マイク用のエフェクトで、歌声を際立たせるようにします。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
LINE IN	AUDIO IN 5/L、6/R (LINE IN) 端子から入力される音声を調整します。	
Mono	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	Off	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L Only	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R Only	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR Mix	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
Digital Gain	-42.0 ～ 0.0 ～ 42.0 dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) での入力ゲイン (感度) を調節します。
Level	-INF、-80.0 ～ 10.0 dB	入力音量を調節します。
Phase	Off、On	音声信号の位相を反転します。
MAIN Mute	Off、On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、MAIN バスへの音声を消音します。
Monitor Mute	Off、On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、Monitor バスへの音声を消音します。
REC Send	-INF、-80.0 ～ 10.0 dB	REC バスへの音声の送り量を調節します。
HPF 75Hz	Off、On	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、75Hz です。
EQ	Off、On	イコライザーのオン/オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ～ 0.0 ～ +15.0 dB	中域を増幅/減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5、 1.0 、2.0、4.0、8.0、16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ～ 0.0 ～ +15.0 dB	低域を増幅/減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ～ 100Hz ～ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ～ 0.0 ～ +15.0 dB	高域を増幅/減衰させます。
Hi Freq	1.0 ～ 10.0 ～ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
HEADSET Mic	HEADSET 端子 (ヘッドセットのマイク) から入力される音声を調整します。	
Analog Gain	-10 ～ -28 ～ -52 dBu	アナログ領域での入力ゲイン (感度) を調節します。
Digital Gain	-42.0 ～ 0.0 ～ 42.0 dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) での入力ゲイン (感度) を調節します。
Level	-INF、-80.0 ～ 0.0 ～ 10.0 dB	入力音量を調節します。
Phase	Off、On	音声信号の位相を反転します。
MAIN Mute	Off、 On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、MAIN バスへの音声を消音します。
Monitor Mute	Off、 On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、Monitor バスへの音声を消音します。
REC Send	-INF、-80.0 ～ 10.0 dB	REC バスへの音声の送り量を調節します。
Pan	L50 ～ L1、 Center 、R1 ～ R50	定位 (パン) を調節します。
HPF 75Hz	Off、On	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、75Hz です。
Gate	Off、On	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。設定したレベル以下の音声を除去します。
Threshold	-80 ～ -50 ～ 0 dB	音声を除去するときの、基準レベルを設定します。 スレッシュホールド以下の音声を除去します。
Release	30 ～ 860 ～ 5000 ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
Compressor	Off、On	コンプレッサーのオン/オフを設定します。設定したレベルを超えた音声を圧縮します。
Threshold	-50 ～ -8 ～ 0 dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。 スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
Ratio	1.00 : 1、1.12 : 1、1.25 : 1、1.40 : 1、1.60 : 1、1.80 : 1、2.00 : 1、 2.50 : 1 、3.20 : 1、4.00 : 1、5.60 : 1、8.00 : 1、16.0 : 1、INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。 圧縮していない状態を「1」と定義します。
Attack	0 ～ 3.0 ～ 100 ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの、圧縮を開始するまでにかかる時間を設定します。
Release	30 ～ 250 ～ 5000 ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに圧縮をやめるまでの時間を調節します。
Makeup Gain	-40 ～ 0 ～ 40 dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
EQ	Off , On	イコライザーのオン/オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	中域を増幅/減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5, 1.0 , 2.0, 4.0, 8.0, 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	低域を増幅/減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ~ 100Hz ~ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	高域を増幅/減衰させます。
Hi Freq	1.0 ~ 10.0 ~ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Analog Mix	AUDIO IN 1 ~ 4 / LINE IN / HEADSET Mic から入力される音声を一括で調整します。	
Delay	0.0 ~ 166.6 ms (0.0 ~ 9.9/8.3 frame) (*5)	音声の遅延時間を調節します。
HDMI IN 1, 2	HDMI IN 1、2 端子から入力される音声を調整します。	
Mono	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	Off	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L Only	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R Only	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR Mix	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
Digital Gain	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0 dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) での入力ゲイン (感度) を調節します。
Level	-INF , -80.0 ~ 10.0 dB	入力音量を調節します。
Phase	Off , On	音声信号の位相を反転します。
MAIN Mute	Off , On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、MAIN バスへの音声を消音します。
Monitor Mute	Off , On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、Monitor バスへの音声を消音します。
REC Send	-INF , -80.0 ~ 10.0 dB	REC バスへの音声の送り量を調節します。
Delay	0.0 ~ 83.3 ms (0.0 ~ 4.9/4.1 frame) (*5)	音声の遅延時間を調節します。
EQ	Off , On	イコライザーのオン/オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	中域を増幅/減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5, 1.0 , 2.0, 4.0, 8.0, 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	低域を増幅/減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ~ 100Hz ~ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	高域を増幅/減衰させます。
Hi Freq	1.0 ~ 10.0 ~ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

(*5) カッコ内のフレーム数は、System メニューの「Frame Rate」設定によって変わります。

PLAYER/SRT In	SD カードにあるオーディオ・ファイルや動画ファイルの再生音、SRT 入力の音声を調整します。	
Digital Gain	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0 dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) での入力ゲイン (感度) を調節します。
Level	-INF , -80.0 ~ 10.0 dB	入力音量を調節します。
MAIN Mute	Off , On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、MAIN バスへの音声を消音します。
Monitor Mute	Off , On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、Monitor バスへの音声を消音します。
REC Send	-INF , -80.0 ~ 10.0 dB	REC バスへの音声の送り量を調節します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
EQ	Off , On	イコライザーのオン/オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	中域を増幅/減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5, 1.0 , 2.0, 4.0, 8.0, 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	低域を増幅/減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ~ 100Hz ~ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	高域を増幅/減衰させます。
Hi Freq	1.0 ~ 10.0 ~ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

USB AUDIO		USB VIDEO IN 端子から入力される音声を調整します。
Digital Gain	-42.0 ~ 0.0 ~ 42.0 dB	デジタル領域 (アナログからデジタルに変換後) での入力ゲイン (感度) を調節します。
Level	-INF , -80.0 ~ 10.0 dB	入力音量を調節します。
Phase	Off , On	音声信号の位相を反転します。
MAIN Mute	Off , On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、MAIN バスへの音声を消音します。
Monitor Mute	Off , On	ミュート機能のオン/オフを設定します。「On」にすると、Monitor バスへの音声を消音します。
REC Send	-INF , -80.0 ~ 10.0 dB	REC バスへの音声の送り量を調節します。
HPF 75Hz	Off , On	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。不要な低域をカットします。カットオフ周波数は、75Hz です。
Gate	Off , On	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。設定したレベル以下の音声を除去します。
Threshold	-80 ~ -50 ~ 0 dB	音声を除去するときの、基準レベルを設定します。スレッシュホールド以下の音声を除去します。
Release	30 ~ 860 ~ 5000 ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
Compressor	Off , On	コンプレッサーのオン/オフを設定します。設定したレベルを超えた音声を圧縮します。
Threshold	-50 ~ -8 ~ 0 dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
Ratio	1.00 : 1, 1.12 : 1, 1.25 : 1, 1.40 : 1, 1.60 : 1, 1.80 : 1, 2.00 : 1, 2.50 : 1 , 3.20 : 1, 4.00 : 1, 5.60 : 1, 8.00 : 1, 16.0 : 1, INF : 1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
Attack	0 ~ 3.0 ~ 100 ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの、圧縮を開始するまでにかかる時間を設定します。
Release	30 ~ 250 ~ 5000 ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに圧縮をやめるまでの時間を調節します。
Makeup Gain	-40 ~ 0 ~ 40 dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
EQ	Off , On	イコライザーのオン/オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	中域を増幅/減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5, 1.0 , 2.0, 4.0, 8.0, 16.0	中域を増幅/減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	低域を増幅/減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ~ 100Hz ~ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	高域を増幅/減衰させます。
Hi Freq	1.0 ~ 10.0 ~ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

Audio Output

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Bus Select	各端子に割り当てる音声バスを設定します。	
HDMI OUT MAIN	MAIN Bus 、Monitor Bus、 REC Bus、Test Tone ※ PHONES : Monitor Bus 、 AUDIO REC : Main Bus	HDMI OUT MAIN 端子に割り当てる音声バスを設定します。
HDMI OUT PVW		HDMI OUT PVW 端子に割り当てる音声バスを設定します。
LINE OUT		AUDIO OUT (LINE OUT) 端子に割り当てる音声バスを設定します。
PHONES		PHONES 端子に割り当てる音声バスを設定します。
VIDEO REC/STREAM		映像の配信／録画に使う音声バスを設定します。
AUDIO REC		音声の録音に使う音声バスを設定します。

バス	説明
MAIN Bus	すべての入力音声をミックスして出力します。メイン出力と同一の音声です。
Monitor Bus	主にヘッドホンで音声をモニターするときに使用します。 他のバスの音声をヘッドホンで聴くこともできます。 Monitor Bus へ送る音声は、MAIN Bus に送る音声 (MAIN Mute / Audio Follow / フェーダー / Auto Mixing / Pan を通ったあとの音) と同じです。 Monitor Bus に送るかどうかを、各音声入力の Monitor Mute (P.63) で設定することができます。 ※ MAIN Mute (P.63) が「On」になっていたリフェーダーで音量を絞っていたりすると、Monitor Bus に音声は送られません。
REC Bus	主に Audio REC (WAV 録音) のソースとして使用します。 Monitor Bus へは、MAIN Mute / フェーダーを通る前の音声を送られます。 MAIN Mute が「On」になっていたリフェーダーで音量を絞っていたりしていても、音声を WAV ファイルに録音できます。配信時の操作ミスがあったときでも、後編集で対応することが可能になります。
Test Tone	音量の調節に便利な、テスト・トーンの出力に使用します。

MAIN Bus		MAIN バスの音声を調整します。
Level	-INF、-80.0 ~ 10.0 dB	出力音量を調節します。
Mute	Off、On	ミュート機能のオン／オフを設定します。 「On」にすると、一時的に出力音声をミュートします。
Limiter	Off、On	リミッターのオン／オフを設定します。 設定したレベルを超えないように出力音量を制限します。
Threshold	-40 ~ -6 ~ 0 dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。 スレッシュホルドを超えた音声に圧縮がかかります。出力される音声の音量は、スレッシュホルド以下に制限されます。
Delay	0.0 ~ 166.6 ms (0.0 ~ 9.9/8.3 frame) (*6)	音声の遅延時間を調節します。
EQ	Off、On	イコライザーのオン／オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	中域を増幅／減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ~ 500Hz ~ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5、1.0、2.0、4.0、8.0、16.0	中域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	低域を増幅／減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ~ 100Hz ~ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ~ 0.0 ~ +15.0 dB	高域を増幅／減衰させます。
Hi Freq	1.0 ~ 10.0 ~ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Monitor Bus		Monitor バスの音声を調整します。
Level	-INF、-80.0 ~ 0.0 ~ 10.0 dB	出力音量を調節します。
Mute	Off、On	ミュート機能のオン／オフを設定します。 「On」にすると、一時的に出力音声をミュートします。
Limiter	Off、On	リミッターのオン／オフを設定します。 設定したレベルを超えないように出力音量を制限します。
Threshold	-40 ~ -6 ~ 0 dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。 スレッシュホルドを超えた音声に圧縮がかかります。出力される音声の音量は、スレッシュホルド以下に制限されます。

(*6) カッコ内のフレーム数は、System メニューの「Frame Rate」設定によって変わります。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
EQ	Off , On	イコライザーのオン／オフを設定します。帯域ごとに音量を調節します。
Mid Gain	-15.0 ～ 0.0 ～ +15.0 dB	中域を増幅／減衰させます。
Mid Freq	20.0Hz ～ 500Hz ～ 20.0kHz	中域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Mid Q	0.5, 1.0 , 2.0, 4.0, 8.0, 16.0	中域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
Lo Gain	-15.0 ～ 0.0 ～ +15.0 dB	低域を増幅／減衰させます。
Lo Freq	20.0Hz ～ 100Hz ～ 2.0kHz	低域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Hi Gain	-15.0 ～ 0.0 ～ +15.0 dB	高域を増幅／減衰させます。
Hi Freq	1.0 ～ 10.0 ～ 20.0 kHz	高域の音質を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
Test Tone	テスト・トーンの設定をします。	
Test Tone	テスト・トーンの周波数を設定します。	
	Off	テスト・トーンは出力しません。
	L:1k+R:1k	L チャンネル：1kHz、R チャンネル：1kHz
	L:1k+R:2k	L チャンネル：1kHz、R チャンネル：2kHz
Level	-INF ～ -20.0 ～ 0.0 dB	テスト・トーンの音量を調節します。

Audio Follows Video

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Audio Follow SW	入力ごとに、オーディオ・フォロー機能のオン／オフを設定します。オーディオ・フォローは、映像の切り替えに連動させて、音声の出力を自動的に切り替える機能です。 ※ Auto Switching (P.59) の Type が [Video Follows Audio] のとき、オーディオ・フォローは無効になります。	
HDMI IN 1、2	Off	映像の切り替えに関係なく、常に音声を出力します。
STILL 1/SRT In、STILL 2	On	映像と音声と一緒に切り替わります。
Video Source Select	音声入力ごとに、オーディオ・フォローを使う入力映像を指定します。	
AUDIO IN 1 ～ 4	Off 、HDMI IN 1、HDMI IN 2、STILL 1/SRT In、STILL 2	指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。 [Off] にすると、入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
LINE IN		
HEADSET Mic		
HDMI IN 1、2		
USB AUDIO		
PLAYER/SRT In		

Auto Mixing

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SW	Off , On	オート・ミキシング機能のオン／オフを設定します。オート・ミキシングは、音量調整を自動的に制御する機能です。
AUDIO IN 1	Off, On	指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。 [Off] にすると、入力映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
AUDIO IN 2		
AUDIO IN 3		
AUDIO IN 4		
HEADSET Mic		
Weight	0 ～ 100%	ウェイト・レベル（音量配分の優先度）を設定します。 [0%] に設定すると、音声は出力されません。
AUDIO IN 1		
AUDIO IN 2		
AUDIO IN 3		
AUDIO IN 4		
HEADSET Mic		

Audio Function

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Audio Function 1 ～ 5		AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンの機能を設定します。 現在の設定が、画面右側に表示されます。
Assign	AUDIO FUNCTION [1] ～ [5]	ボタンの使いかたを設定します。
	None	機能を割り当てません。
	Auto Mixing	オート・ミキシング機能をオン／オフします。
	Audio Player	音声ファイルの再生／停止をします。
	Display Analog Gain	Analog Gain 画面を、パラメーター・エリアに表示します。
	Display Mute	Mute 画面を、パラメーター・エリアに表示します。
	Display Delay	Delay 画面を、パラメーター・エリアに表示します。
	Display Audio Setup	Audio Setup (LINE IN、USB AUDIO、PLAYER/SRT In、HEADSET Mic、MAIN Bus、Monitor Bus のいずれか) 画面を、パラメーター・エリアに表示します。
Assign = Auto Mixing、Display Analog Gain、Display Delay のとき		
LED Color	Red、Green、Blue、Cyan、Magenta、Yellow	AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンの点灯色を設定します。
Assign = Audio Player のとき		
LED Color	Red、Green、Blue、Cyan、Magenta、Yellow	AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンの点灯色を設定します。
SW Mode	AUDIO FUNCTION [1] ～ [5]	ボタンの動作を設定します。
	Momentary	ボタンを押している間だけオンになり、ボタンから指を離すとオフに戻ります。
	Latch	ボタンを押すたびに、オン／オフが切り替わります。
Audio Memory	1 ～ 8	再生するオーディオ・ファイルのメモリー番号を選びます。
Loop	Off、 On	ループ再生のオン／オフを設定します。
Level	-INF ～ 0.0 ～ 0.0 dB	オーディオ・ファイルの再生音量を調節します。
Fade In	Off 、0.1 ～ 10.0sec	オーディオ・ファイル再生時にフェード・インする時間を設定します。
Fade Out	Off、0.1 ～ 3.0 ～ 10.0sec	オーディオ・ファイル再生時にフェード・アウトする時間を設定します。
Assign = Display Mute のとき		
LED Color	Red、Green、Blue、Cyan、Magenta、Yellow	AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンの点灯色を設定します。
Display Target	パラメーター・エリアに表示させる Mute 画面を設定します。	
	Monitor Mute - AUDIO IN	AUDIO IN 1 ～ 4 の Mute 画面を表示します。
	Monitor Mute - HDMI IN	HDMI IN 1、2 の Mute 画面を表示します。
	Monitor Mute - LINE IN	LINE IN / USB AUDIO / PLAYER/SRT In / HEADSET Mic の Monitor Mute 画面を表示します。
	MAIN Mute - LINE IN	LINE IN / USB AUDIO / PLAYER/SRT In / HEADSET Mic の MAIN Mute 画面を表示します。
Assign = Display Audio Setup のとき		
LED Color	Red、Green、Blue、Cyan、Magenta、Yellow	AUDIO FUNCTION [1] ～ [5] ボタンの点灯色を設定します。
Display Target	LINE IN、USB AUDIO、PLAYER/SRT In、HEADSET Mic、 MAIN Bus 、Monitor Bus	Audio Setup 画面の表示内容を設定します。
Audio Function Copy		Audio Function の設定を、別の Audio Function にコピーします。
Source	Audio Function 1 ～ 5	コピー元の Audio Function を設定します。(初期値：1)
Destination		コピー先の Audio Function を設定します。(初期値：2)
Copy		[Exec]

Audio Function 1 ～ 5 の工場出荷時の設定

1

メニュー項目	設定値
Assign	Auto Mixing
LED Color	Magenta

2

メニュー項目	設定値
Assign	Display Analog Gain
LED Color	Red

3

メニュー項目	設定値
Assign	Display Mute
LED Color	Red
Display Target	Monitor Mute - AUDIO IN

4

メニュー項目	設定値
Assign	Display Delay
LED Color	Green

5

メニュー項目	設定値
Assign	Display Audio Setup
LED Color	Cyan
Display Target	MAIN Bus

Network

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Priority	LAN , Tethering	LAN とスマートフォンのテザリングのどちらを優先して配信に使用するか設定します。
LAN Setup	[Enter]	LAN の設定をします。
	メニュー項目	設定値 (太字は初期値) 説明
	Configure	IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、DNS サーバーの設定方法を選びます。
		Using DHCP DHCP サーバーからネットワーク接続に必要な情報を自動取得します。
		Manually 手動で設定します。
	Configure = Manually のとき	
	IP Address	IP アドレスを設定します。
	Subnet Mask	サブネット・マスクを設定します。
	Default Gateway	デフォルト・ゲートウェイを設定します。
	DNS Server	DNS サーバーを設定します。
Start Tethering/ Stop Tethering	[Exec]	スマートフォンのテザリングを、スタート/ストップします。
Network Information	[Enter]	ネットワークの状態を表示します。
	メニュー項目	設定値 (太字は初期値) 説明
	Link Status	ネットワークの接続状況を表示します。
	IP Address	IP アドレスを表示します。
	Subnet Mask	サブネット・マスクを表示します。
	Default Gateway	デフォルト・ゲートウェイを表示します。
	DNS Server	DNS サーバーを表示します。
MAC Address	--:--:--:--:--:--	SR-20HD の MAC アドレスを表示します。

Stream

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SRT Out = Disable のとき		
SRT Out	Disable 、Enable	Service RTMP1, 2 を使用するときは Disable にします。
Service RTMP 1, 2	ライブ配信に使うプラットフォームを設定します。	
Service RTMP	Off	配信しません。
	Custom	カスタム設定で配信します。
	YouTube Live	YouTube Live で配信します。
	Facebook Live	Facebook Live で配信します。
	Twitch	Twitch で配信します。
URL	配信サーバーの URL を設定、表示します。	
Stream Key	ストリーム・キーを設定、表示します。	
Use Web App	[Enter]	Web アプリを使用して、配信サーバーの URL、ストリーム・キーを設定します。
※ USB CONTROL 端子に接続した USB キーボードで、URL やストリーム・キーを入力することができます。		
SRT Out = Enable、Mode = Caller のとき		
SRT Out	Disable 、Enable	Service SRT を使用するときは Enable にします。
Service SRT		
Mode	Caller、 Listener	SRT のモードを Caller に設定します。
Remote IP Address	0.0.0.0	SRT 受信機器 (Listener) の IP アドレスを設定します。
Remote Port	0 ~ 2000 ~ 65535	SRT 受信機器 (Listener) のポート番号を設定します。
Latency	80 ~ 8000ms	SRT の再送用バッファの長さ (遅延時間) を設定します。 受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。
Stream ID	SRT 受信機器 (Listener) と同じストリーム ID を設定します。	
Encryption	None 、AES-128、AES-192、AES-256	映像を暗号化するときの暗号方式を設定します。 ※ 送信側と受信側で暗号方式を一致させる必要があります。
Passphrase	[Encryption] を [None] 以外に設定したときに、パスフレーズを設定します。 ※ 送信側と受信側でパスフレーズを一致させる必要があります。	
Use Web App	[Enter]	Web アプリを使用して、SRT の上記内容を設定することができます。
※ USB CONTROL 端子に接続した USB キーボードで、Passphrase や Stream ID を入力することができます。		
SRT Out = Enable、Mode = Listener のとき		
SRT Out	Disable 、Enable	Service SRT を使用するときは Enable にします。
Service SRT		
Mode	Caller、 Listener	SRT のモードを Listener に設定します。
Local Port	0 ~ 5000 ~ 65535	SRT 接続の待ち受けに使用するポート番号を設定します。
Latency	80 ~ 8000ms	SRT の再送用バッファの長さ (遅延時間) を設定します。 受信側と送信側で設定されたレイテンシーのうち、値の大きいほうが優先されます。
Encryption	None 、AES-128、AES-192、AES-256	映像を暗号化するときの暗号方式を設定します。 ※ 送信側と受信側で暗号方式を一致させる必要があります。
Passphrase	[Encryption] を [None] 以外に設定したときに、パスフレーズを設定します。 ※ 送信側と受信側でパスフレーズを一致させる必要があります。	
Use Web App	[Enter]	Web アプリを使用して、SRT の上記内容を設定することができます。
※ USB CONTROL 端子に接続した USB キーボードで、Passphrase を入力することができます。		
Encode Profile	High 、Main、Baseline	映像をエンコードするときの、プロファイルを設定します。
Encode Mode	映像に応じて最適なエンコード方法を設定します。	
	Resolution	プレゼンテーションなど、動きの少ない映像に適しています。
Motion	スポーツ番組やゲーム映像など、動きの多い映像に適しています。	
Video Bitrate	1,000 ~ 6,000 ~ 20,000kbps	映像をエンコードするときの、ターゲット・ビットレートを設定します。
Audio Bitrate	32、48、64、96、 128 、160、192、224、256、320、384	音声をエンコードするときの、ターゲット・ビットレートを設定します。
Stream Delay	Off 、5sec ~ 60sec (5 秒間隔)	セーフティー・ディレイ機能 (P.47) を使ったときの、配信ディレイ・タイムを設定します。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
STAND BY Setting		
Audio Player	None	Audio Player の再生／停止の状態を変えません。
	Start Audio Player AF1 ~ 5	Audio Function 1 ~ 5 に設定されている Audio Player を再生します。
	Stop Audio Player	Audio Player を停止します。
Video Player	None	Video Player の再生／停止の状態を変えません。
	Start Video Player VF A ~ E	Video Function A ~ E に設定されている Video Player を再生します。
	Stop Video Player	Video Player を停止します。
Video Input Select	None	ビデオ入力の選択状態を変えません。
	HDMI IN 1、2	HDMI IN 1、2 に切り替えます。
	STILL 1/SRT In、STILL 2	STILL 1/SRT In、STILL 2 に切り替えます。
Key	Scene A ~ E	シーン A ~ E に切り替えます。
	None	キー合成のオン／オフを変更しません。
	Off	キー合成をオフにします。
	On	キー合成をオンにします。
ON AIR Setting		
Audio Player	None	Audio Player の再生／停止の状態を変えません。
	Start Audio Player AF1 ~ 5	Audio Function 1 ~ 5 に設定されている Audio Player を再生します。
	Stop Audio Player	Audio Player を停止します。
Video Player	None	Video Player の再生／停止の状態を変えません。
	Start Video Player VF A ~ E	Video Function A ~ E に設定されている Video Player を再生します。
	Stop Video Player	Video Player を停止します。
Video Input Select	None	ビデオ入力の選択状態を変えません。
	HDMI IN 1、2	HDMI IN 1、2 に切り替えます。
	STILL 1/SRT In、STILL 2	STILL 1/SRT In、STILL 2 に切り替えます。
Key	Scene A ~ E	シーン A ~ E に切り替えます。
	None	キー合成のオン／オフを変更しません。
	Off	キー合成をオフにします。
	On	キー合成をオンにします。

Record

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
AUDIO REC (WAV)	Off 、On	WAV ファイルの録音をする (On) かしない (Off) かを設定します。
VIDEO REC (MP4)	Off 、On	MP4 ファイルの録画をする (On) かしない (Off) かを設定します。

SD Card/USB Memory

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
SD Card		
Access Type	A 、B	SD カードのアクセス方法を設定します。 SR-20HD が SD カードを認識しないときは、「Access Type」の設定を変更してください。 ※ 設定は起動時に反映されます。
Eject	[Exec]	SD カードを安全に取りはずします。
Format	[Exec]	SD カードをフォーマットします。
Speed Test	[Exec]	SD カードの書き込み速度を測定します。
USB Memory		
Eject	[Exec]	USB メモリーを安全に取りはずします。
Load Settings	[Enter]	SD カードに保存した設定ファイルを、本体に読み込みます。
Save Settings	[Enter]	SD カードに保存されている設定ファイルを、上書き保存します。
Save Settings as	[Enter]	本体設定を、名前を付けて SD カードに保存します。
Delete Settings	[Enter]	SD カードに保存されている設定ファイルを、削除します。

System

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Frame Rate	59.94Hz , 50Hz	フレーム・レートを設定します。
Stream/Rec Mode	配信／録画のモードを設定します。	
	Standard	最大 1080p29.97、1080p25、10,000 kbps の配信／録画をすることができます。 USB VIDEO 入力と動画再生機能を使用できます。
	High Quality	最大 1080p59.94、1080p/50、20,000 kbps の配信／録画をすることができます。 USB VIDEO 入力と動画再生機能は使用できません。
	SRT In Only	最大 1080p60、20,000 kbps の SRT を入力することができます。 配信、録画、USB VIDEO 入力と動画再生機能は使用できません。
Stream/Rec Format	配信／録画のフォーマットを設定します。	
	1080p59.94	Frame Rate : 59.94Hz Stream/Rec Mode : High Quality のみ
	1080p50	Frame Rate : 50Hz Stream/Rec Mode : High Quality のみ
	1080p29.97	Frame Rate : 59.94Hz
	720p59.94	Frame Rate : 59.94Hz
	720p29.97	Frame Rate : 59.94Hz
	1080p25	Frame Rate : 50Hz
	720p50	Frame Rate : 50Hz
USB VIDEO IN Mode	USB VIDEO IN 端子の動作モードを設定します。	
	Video Only	映像のみが入力されます。
	Audio Only	USB オーディオのみが入力されます。
Date & Time Settings	[Enter]	日付を設定します。
	メニュー項目	設定値 (太字は初期値) 説明
	(日付／時刻)	– 日付／時刻を表示します。
	Configure	時刻の合わせかたを選びます。
		Manual 手動で時刻を合わせます。
		Using NTP NTP サーバーに問い合わせ、時刻を合わせます。
	Time Zone	– タイム・ゾーンを設定します。
	Date Format	Month/Day/Year Day/Month/Year Year/Month/Day 日付の表示形式を設定します。
	NTP Server	– NTP サーバーを設定します。
	Manual	[ENTER] 手動で時刻を設定します。
Test Pattern	Off , 75% Color Bar, 100% Color Bar, Ramp, Step, Hatch	テスト・パターンを設定します。
Auto Input Detect	Off , On	オート・インプット・ディテクト機能のオン／オフを設定します。 「On」にすると、出力している映像の入力が途切れたとき、自動的に入力を検知して、映像を切り替えます。 ※ シーンが選ばれている場合は、オート・インプット・ディテクト機能が無効になります。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
Panel Lock	[Enter]	パネル・ロックの対象 (On) / 非対象 (Off) を設定します。
	メニュー項目	設定値 (太字は初期値) 説明
	All	Off、On Panel Lock メニューにあるすべての操作子
	MENU	Off、On [MENU] ボタン
	VALUE	Off、On [VALUE/CURSOR] つまみ
	F1-F4	Off、On [F1] ~ [F4] つまみ
	AUDIO REC/VIDEO REC/STREAM	Off、On [AUDIO REC]、[VIDEO REC]、[STREAM] ボタン
	REC/ON AIR	Off、On [REC/ON AIR] ボタン
	Video INPUT	Off、On [HDMI IN 1]、[HDMI IN 2]、[STILL 1]、[STILL 2] ボタン
	SCENE/VIDEO FUNCTION	Off、On SCENE/VIDEO FUNCTION [A] ~ [E] ボタン
	AUTO SW	Off、On [AUTO SW/TAKE] ボタン
	KEY	Off、On [KEY] ボタン
	AUDIO FUNCTION	Off、On AUDIO FUNCTION [1] ~ [5] ボタン
	Audio SETUP	Off、On [SETUP] ボタン
	Audio MUTE	Off、On [MUTE] ボタン
	Audio Knob	Off、On [LINE IN]、[USB AUDIO]、[PLAYER]、[MAIN] つまみ
	Audio Fader	Off、On AUDIO IN [1] ~ [4]、[HDMI IN 1]、[HDMI IN 2] フェーダー
<p>操作パネルのロック／ロック解除</p> <p>[VALUE/CURSOR] つまみを押しながら [MENU] ボタンを 3 秒以上長押しすると、操作パネルをロック／ロック解除します (P.50)。</p> <p>※ [PHONES] つまみは、パネル・ロックの対象外です。</p>		
LED Dimmer	1 ~ 8	ボタンやインジケーターが点灯したときの明るさを調節します。
LCD Dimmer	1 ~ 8	本体ディスプレイの明るさを調節します。
Auto Off	Off、On	<p>オート・オフ機能のオン／オフを設定します。</p> <p>「On」に設定したときは、以下の状態のまま 20 分経過すると、自動的に SR-20HD の電源が切れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> SR-20HD が何も操作されない 映像の入力がない HDMI OUT 端子に機器が接続されていない 配信、録画をしていない
Shut Down	[ENTER]	メニューから電源を切ります。
Factory Reset	[ENTER]	工場出荷時の状態に戻します。
Version	-	システム・プログラムのバージョンを表示します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、以下の点をチェックしてみてください。
 チェックしても問題が解決しない場合は、お買い上げ店、または当社サポート窓口にお問い合わせください。

症状	確認	対策	ページ
映像に関するトラブル			
配信／録画／録音ができない	SD カードは挿入されていますか？	SD カードが正しく挿入できているか確認してください。	P.7
	SD カードがロックされていませんか？	SD カードのロックは解除してお使いください。	-
	SD カードが正しくフォーマットされていますか？	SD カードは SR-20HD 本体で必ずフォーマットしてください。	P.7
	SD カードに十分な空き容量はありますか？	不要なファイルを削除するか、別の SD カードをお使いください。	P.49
映像が入力されない	著作権保護（HDCP）された映像を入力していませんか？	HDCP で保護された映像は入力できません。	-
パソコンから入力した動画が乱れる	パソコンから動画を入力した場合、画像にズレやちらつきが生じるなど、映像が乱れることがあります。	これはティアリングという現象で、故障ではありません。	-
映像が出力されない	ディスプレイを正しく接続していますか？	本体ディスプレイ（LCD）に映像は映っていますか？本体ディスプレイに映像が映っていれば、出力端子にも映像が出力されています。 ディスプレイの接続を確認してください。	-
静止画ファイルが再生できない	静止画ファイルが正しくインポートできていますか？	該当する静止画ファイルを再度インポートして、正しくインポートできているか確認してください。	P.19
音声に関するトラブル			
音声出力されない 音声小さい	SR-20HD の音量が下がっていませんか？	各入力を適正な音量に調節してください。また、出力音量を上げてください。	P.4 P.27
	ミュート（消音）されていませんか？	入力／出力音声のミュート（消音）を解除してください。	P.4
	コンデンサー・マイクを接続していますか？	コンデンサー・マイクなど、ファンタム電源を必要とする機器を接続する場合は、[MENU] ボタン→「Audio Input」→「AUDIO IN 1」～「AUDIO IN 4」→「Phantom +48 V」を「On」にします。	P.61
オーディオ・ファイルが再生できない	オーディオ・ファイルが正しくインポートできていますか？	該当するオーディオ・ファイルを再度インポートして、正しくインポートできているか確認してください。	P.35
その他のトラブル			
USB メモリーが使えない	USB メモリーが正しくフォーマットされていますか？	パソコンを使って、FAT32 でフォーマットしてください。	-

主な仕様

■ 映像		
映像処理	4:2:2 (Y / Pb / Pr)、8ビット	
映像チャンネル数	2チャンネル	
入力映像フォーマット	HDMI IN 1 ~ 2 端子	720/59.94p、720/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/59.94p、1080/50p SVGA (800×600/60Hz)、XGA (1024×768/60Hz)、 WXGA (1280×800/60Hz)、FWXGA (1366×768/60Hz)、 SXGA (1280×1024/60Hz)、SXGA+ (1400×1050/60Hz)、 UXGA (1600×1200/60Hz)、Full HD (1920×1080/60Hz)、 WUXGA (1920×1200/60Hz)
	※ リフレッシュ・レートは、各解像度の最大値です。 ※ CEA-861-E、VESA DMT Version 1.0 Revision 11 準拠 ※ 1920×1200/60Hz: Reduced blanking ※ インターレースで入力された映像は、本体内の処理でプログレッシブに変換されます。 ※ HDCP 非対応	
出力映像フォーマット	HDMI OUT MAIN 端子	1080/59.94p、1080/50p
	HDMI OUT PVW 端子	※ フレーム・レートは、SYSTEM メニューで選択します (59.94Hz または 50Hz) ※ HDCP 非対応
配信、録画	プロトコル	RTMP、RTMPS、SRT (Caller、Listener)
	コンテナ	FLV (RTMP、RTMPS)、MPEG2-TS (SRT)
	録画ファイル・フォーマット	MP4
	コーデック	H.264、プロファイル High/Main/Baseline 720/59.94p、720/50p、1080/59.94p、1080/50p ターゲット・ビットレート 最大 20,000kbps AAC-LC、16ビット、48kHz、ステレオ、ターゲット・ビットレート 最大 384kbps
	※ SRT In Only モードの場合、配信、録画機能は使用できません。	
録音	ファイル・フォーマット	WAV
	コーデック	リニア PCM、16ビット、48kHz、ステレオ
	※ SRT In Only モードの場合、録音機能は使用できません。	
ビデオ・プレーヤー	ファイル・フォーマット	MP4
	コーデック	H.264 最大 1080/29.97p、プログレッシブ 平均ビットレート 20,000kbps 以下 AAC-LC、16ビット、48kHz、ステレオ
	※ High Quality モード、SRT In Only モードの場合、ビデオ・プレーヤー機能は使用できません。	
SRT 入力	プロトコル	SRT (Caller、Listener)
	コンテナ	MPEG2-TS
	コーデック	H.264 最大 1080/60p、プログレッシブ 平均ビットレート 20,000kbps 以下 AAC-LC、16ビット、48kHz、ステレオ
	※ High Quality モードの場合、SRT 入力機能は使用できません。 ※ Standard モードの場合、SRT 入力は最大 1080/30p、平均ビットレート 10,000kbps 以下に制限されます。	
USB ビデオ、オーディオ	USB ビデオ	最大 720p29.97、非圧縮 (YUY2)
	USB オーディオ	リニア PCM、16ビット、48kHz、ステレオ
	※ USB ビデオまたは USB オーディオのいずれかを使用可能です。 ※ USB VIDEO IN Mode を SYSTEM メニューで選択します (Video Only または Audio Only) ※ 以下のローランド製品の USB STREAM 出力に対応しています。 VR-4HD、UVC-01	
	※ High Quality モード、SRT In Only モードの場合、USB ビデオ、オーディオ機能は使用できません。	
静止画インポート	PNG File (.png)	最大 1920×1080 ピクセル、24 ビットカラー (αチャンネル非対応)
	JPEG File (.jpg .jpeg)	最大 1920×1080 ピクセル、24 ビットカラー
静止画保存	JPEG File (.jpg)	1920×1080 ピクセル、24 ビットカラー
映像エフェクト	シーン	ピクチャー・イン・ピクチャー、スプリット、ピクチャー・バイ・ピクチャー
	切り替え	黒フェード、ミックス・フェード
	キー合成	ルミナンス・キー、クロマ・キー
	その他	アウトプット・フェード、テスト・パターン出力、配信ディレイ

■ 音声		
音声処理	24 ビット、48kHz	
音声チャンネル数	15 チャンネル	
オーディオ・フォーマット	HDMI IN/OUT 端子	リニア PCM、24 ビット、48kHz、ステレオ
オーディオ・エフェクト	ディレイ、ハイ・パス・フィルター、ゲート、コンプレッサー、イコライザー、リミッター、テスト・トーン出力	
オーディオ・プレーヤー	ファイル・フォーマット	WAV (リニア PCM、16 ビット、48kHz / 44.1kHz、ステレオ)

■ 共通部		
記録メディア	SDHC / SDXC カード (別売) ※ ビデオ録画には SDXC カードが必要です。 ※ SR-20HD を使うときには、常に SD カードが必要です。	
その他の機能	パネル・ロック機能 EDID エミュレーター	

■ 接続端子			
入力端子	HDMI IN 1 ~ 2 端子	HDMI タイプ A (マルチフォーマット対応)	
	AUDIO IN 1 ~ 4 端子	コンボ・タイプ	
		XLR タイプ	バランス、ファンタム電源 (DC 48V、10mA)、(1: GND、2: HOT、3: COLD)
		TRS 標準	バランス
出力端子	HDMI OUT MAIN 端子	HDMI タイプ A	
	HDMI OUT PVW 端子		
	LINE OUT 端子	RCA ピン・タイプ	
	PHONES 端子	ステレオ・ミニ・タイプ	
入出力端子	HEADSET 端子	ステレオ・ミニ・タイプ (3.5mm、TRRS 4 極、CTIA)	
その他の端子	USB VIDEO IN 端子	USB A (USB 3.0)	
	USB CONTROL 端子	USB A (USB 2.0)	
	LAN (DIRECT STREAM) 端子	RJ-45、1000BASE-T (配信、SRT 入出力用)	
	DC IN 端子		

■ オーディオ入出力規格		
規定入力レベル	AUDIO IN 1 ~ 4 端子	-52 ~ +4dBu (最大入力レベル: +24dBu)
	LINE IN 端子	-10dBu (最大入力レベル: +10dBu)
入力インピーダンス	AUDIO IN 1 ~ 4 端子	XLR タイプ、ファンタム電源オン: 5k Ω
		XLR タイプ、ファンタム電源オフ: 7k Ω
		TRS 標準タイプ: 7k Ω
	LINE IN 端子	18k Ω
オーディオ 規定出力レベル	AUDIO OUT 端子	-10dBu (最大出力レベル: +10dBu)
	PHONES 端子	72mW + 72mW (32 Ω 負荷時)
出力インピーダンス	AUDIO OUT 端子	1k Ω

■ その他	
ディスプレイ	4.3 インチ TFT カラー LCD: 480 × 272 ドット
電源	AC アダプター
消費電流	3.5A
消費電力	42W
外形寸法	300 (幅) × 215 (奥行) × 86 (高さ) mm
質量 (本体のみ)	2.4kg
動作温度	0 ~ +40℃
■ その他	
付属品	スタートアップ・ガイド、「安全上のご注意」チラシ、AC アダプター、電源コード、保証書

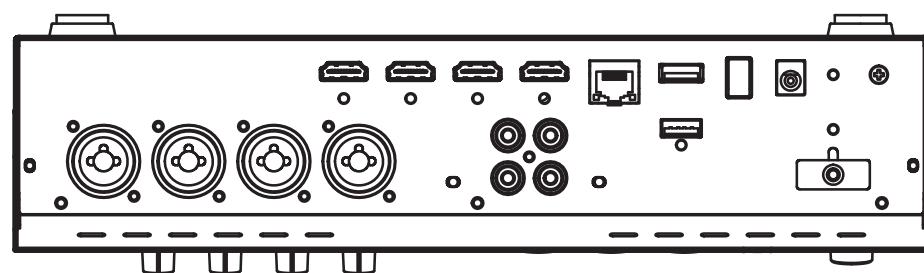
※ 0dBu = 0.775Vrms

※ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

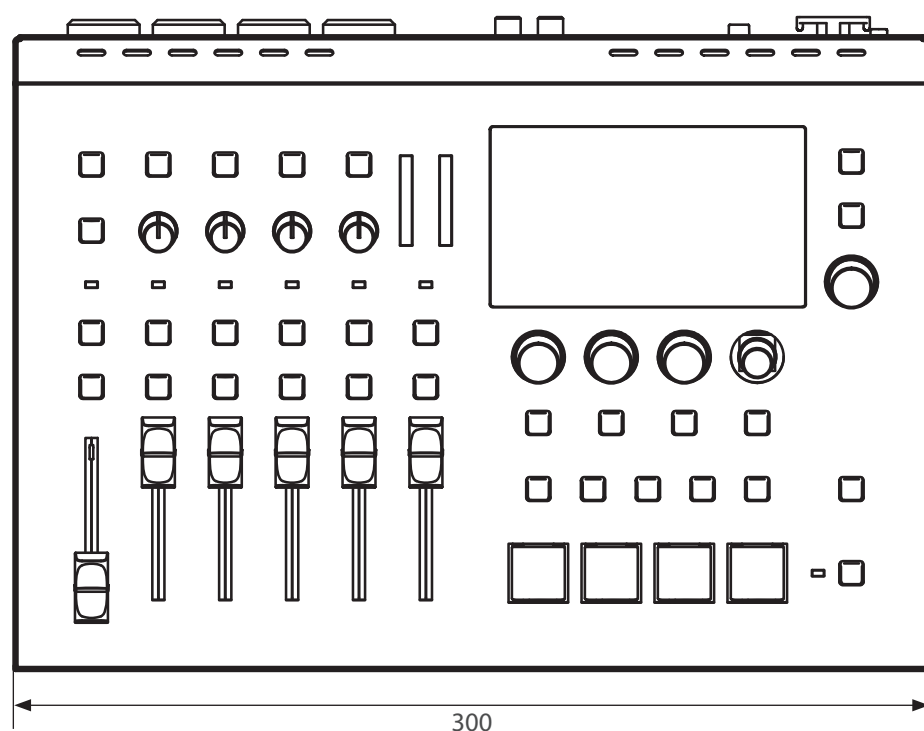
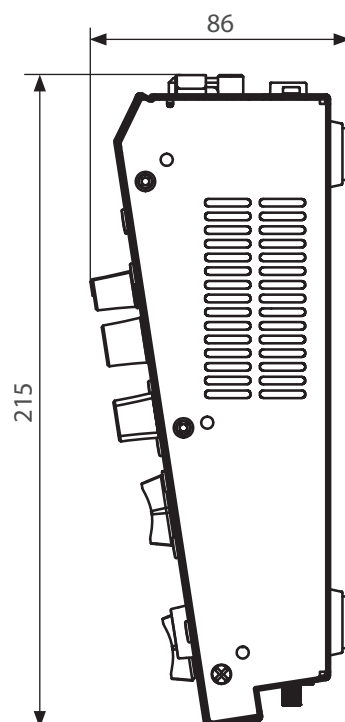
※ SRT (Secure Reliable Transport) は Haivision 社が開発したオープンソースの映像伝送プロトコルです。

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

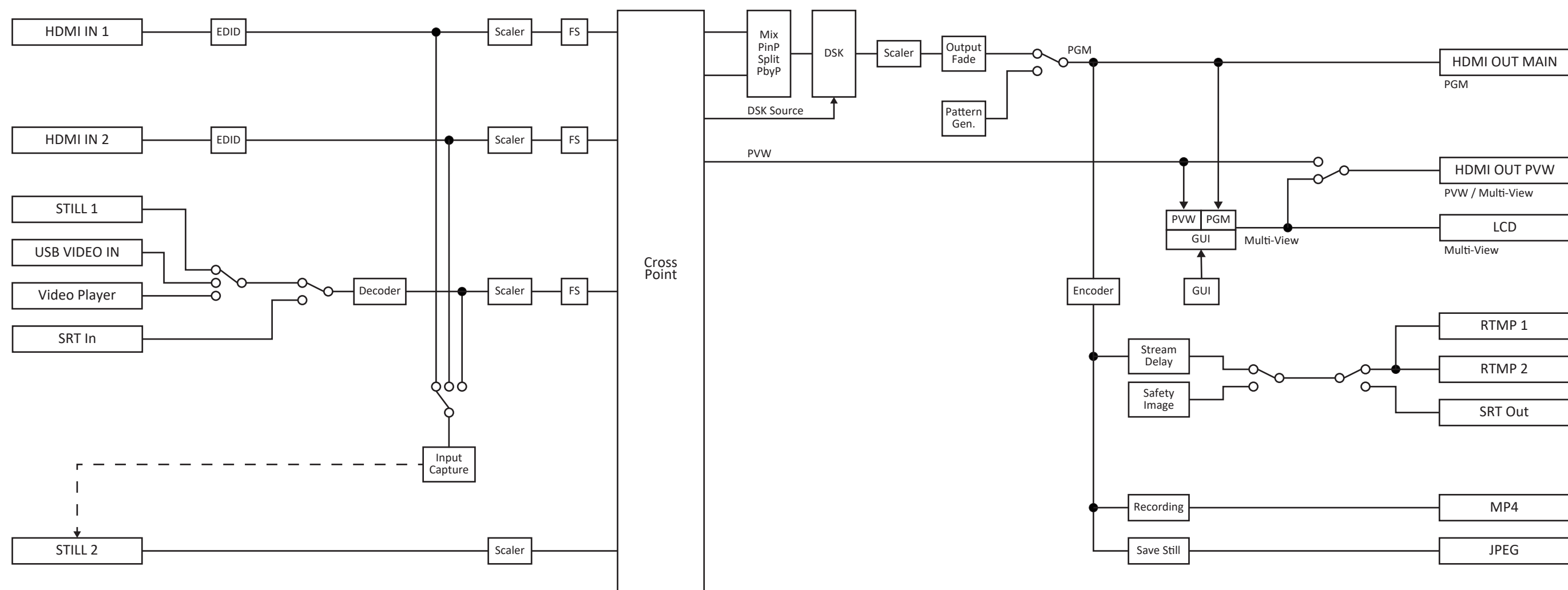
外形寸法図



単位：mm



ビデオ・ブロック・ダイアグラム



オーディオ・ブロック・ダイアグラム

